

# 目 次

|       |                                 |    |
|-------|---------------------------------|----|
| I.    | 教 育 課 程 に つ い て .....           | 2  |
|       | カリキュラムポリシー・ディプロマポリシー・アセスメントポリシー |    |
| II.   | 単 位 .....                       | 6  |
| III.  | 成 績 評 価 基 準 .....               | 6  |
| IV.   | 服飾学部服飾表現学科カリキュラム表 .....         | 7  |
| V.    | 履 修 の 方 法 .....                 | 13 |
| VI.   | 学 芸 員 に つ い て .....             | 17 |
| VII.  | 授 業 計 画 .....                   | 25 |
| VIII. | ゼ ミ ナ ー ル .....                 | 87 |

## I. 教育課程について

(2023 年度生用)

本学の教育課程は、学則第2条の目的にそって、構成されています。

教育課程（学則第25条）に述べられていますが、授業科目の履修方法を必修科目、選択科目、自由科目に分け、各年次に配当して編成してあります。

授業科目は、その内容により、専門科目、教養科目と教職課程の教職に関する科目、学芸員課程の博物館に関する科目に区分してあります。

本履修便覧 7 頁の服飾学部服飾表現学科カリキュラム表に授業科目の種類、単位数、授業の方法、履修方法、資格取得と履修との関係、配当年次、週時間数等について詳細を掲載してありますので参照してください。

### カリキュラムポリシー（教育方針）

本学科の教育の使命と目的を効果的に実現するための教育組織として、1 年次は一部服飾学科と共通のものも含めた学科独自の初年次教育課程を経て、2 年次後期、3、4 年次で 4 つの専攻に分かれた専門教育課程を設けています。初年次教育課程では、教養科目によって一般的教養を養い、服飾関係科目によって感性、技術力、表現力を育成します。その基礎の上に立って、専門教育課程で、創造力・表現力をもった服飾表現に関する専門職業人を養成することを目指しています。

教養科目は、幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養することを目的として、キャリア・一般・体育・総合・国際関係・外国語の科目を多数開講し、外国語は 8 単位以上、それ以外の科目で 26 単位以上の履修を要求しています。また 1 年次には初年次科目の「学習基礎」を必修として、大学で 4 年間学ぶためのスキルを修得させています。外国語については 3、4 年次での受講も可能にし、服飾表現業界での必要性に対応しています。

初年次教育課程では、服飾関係科目、服飾経済科目と服飾表現科目の共通必修科目と専門選択科目を設けています。服飾表現科目の共通必修科目の中核科目として服飾表現概論、プレゼンテーション論、グラフィックデザインⅠ、写真表現、身体表現Ⅰがあり、これらを全員に履修を義務付け、服飾表現に関する基礎的な技術や表現方法を全学生が修得することとしています。これが本学科の初年次教育課程の特徴です。

2 年次前期のオムニバス形式の「服飾表現演習」での学修をもとに、2 年次後期の専門教育課程では、「衣装表現」、「スタイリング」、「ビジュアルマーチャンダイジング」、「メディア表現（映像・ショープロデュース）」の 4 つの専攻に分かれます。専攻独自の必修科目は 19 単位を設定しています。各専攻の教育目的と目標を達成するために必要な必修科目を専攻ごとに 3 科目設定しています。初年次教育課程の科目、専門教育課程での選択科目と合わせて専門教育課程で専攻の必修科目を履修することによって、各専攻の目指す専門職業分野の人材育成を可能とする方針のもとにカリキュラムを編成しています。

本学科の履修科目の単位内訳は次の表の通りです。

## 履修科目単位内訳表

(2023年度生用)

杉野服飾大学 服飾学部 服飾表現学科

| 授業科目の区分と履修方法     |                    |      | 修 得 単 位 数 |
|------------------|--------------------|------|-----------|
| 専<br>門<br>科<br>目 | 必 修                |      | 59        |
|                  | 選択必修               |      | 10        |
|                  | 選 択                |      | 21        |
| 専門科目合計           |                    |      | 90 単位     |
| 教<br>養<br>科<br>目 | 初 年 次              | 必 修  | 10        |
|                  | 一 般<br>体 育<br>国際関係 | 選 択  | 16        |
|                  | 外 国 語              | 選択必修 | 8         |
| 教養科目合計           |                    |      | 34 単位     |
| 総 合 計            |                    |      | 124 単位    |

## ディプロマポリシー（学位授与の方針）

本学では下記の表に掲げる専門課程の専攻別の教育目的に従って、目標の欄に掲げている服飾表現関係の専門的職業で活躍できる人材の育成を目標としています。

1 年の間初年次教育課程の教育を受けますが、その間に一部服飾学科と共通のものも含めた学科独自の内容の 19 単位を必修科目として履修します。これによって、服飾を物として成立させる技術や服飾経済に関する知識を得た上で、視覚的な感性や表現力を持った服飾表現の専門教育に備えての基礎的な能力を培うこととしています。

2 年次後半から 4 年次までの専門教育課程では、専攻ごとに専門必修科目 19 単位の履修を求めています。さらに専攻ごとに 25 単位の専門選択科目の履修を求めています。

以上の専門基礎科目と専門科目を合わせて 90 単位を履修することで専攻別の教育目的と目標を達成することとしています。

また教養科目 34 単位の履修によって、社会人としての資質、能力を養い、幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養することをめざしています。

教養科目 34 単位と専門科目 90 単位の合計 124 単位を修得することで卒業を認定し、学士（服飾）の学位を授与することとしています。

専門教育課程 専攻別教育目的と目標

| 専攻名                   | 目 的                                                                                                                      | 目 標                                                                        |
|-----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 1) 衣装表現               | 衣装表現に必要とされる発想、デザイン・構想、エスキース、制作、プレゼンテーション等の創作のプロセスにウェイトを置いた実践能力の育成を目的とする。                                                 | 舞台や映画で美しく独創的な衣装を制作する衣装デザイナーなどの人材育成を目標とする。                                  |
| 2) スタイリング             | スタイリストの基礎力として、過去から現在までにおける服飾表現の流れ（或いは“流行”）を把握し、社会におけるファッションの役割の上に表現できる能力の育成を目的とする。                                       | TV や雑誌で、モデル、タレント、アーティストの魅力や個性を引き出すスタイリングをするスタイリストなどの人材の育成を目標とする。           |
| 3) ビジュアルマーチャンダイジング    | 魅力的な店舗や展示空間を想定し、視覚的に商品の世界観を伝えることができる能力の育成を目的とする。                                                                         | ショップやイベント会場で消費者に視覚的に訴える演出を行う VMD(ビジュアルマーチャンダイザー)などの人材の育成を目標とする。            |
| 4) ショープロデュース<br>(検討中) | 服飾表現における「ショー」に特化し、ステージ形態（舞台）、レイアウト等の造形プラン、音楽、ライティング、映像演出などの空間プラン、モデルのパフォーマンススケジュールなどの時間プランなどを総合したプロデュースとその運営能力の育成を目的とする。 | ショーやイベントのコンセプト立案から企画、制作、運営まで観衆を魅了する空間を創るイベントプロデューサーやショースタッフなどの人材の育成を目標とする。 |
| 5) 映像・メディア表現          | メディアにおける服飾のあり方を考え、視覚情報としてのそのイメージを伝えるために、映像の企画・構想、撮影、編集技術を修得し表現していく能力の育成を目的とする。                                           | TV やネット配信など多彩なメディアでクオリティの高い映像表現を行う映像ディレクター、映像作家などの人材の育成を目標とする。             |

## アセスメントポリシー（学修[教育]成果測定の指標）

### 1. 初年次教育課程の学修成果測定

- ・初年次教育課程の学修成果は、入学者数と入学後2年目に専門教育課程への進級者比率を指標として行う。
- ・服飾学科はテクノロジー分野とビジネス分野ごとの指標によって行う。
- ・表現学科は4つの専攻によって指標を行う。
- ・初年次前期での中退率を服飾学科、服飾表現学科、服飾文化学科ごとに行う。

### 2. 服飾学科の各コース、服飾表現学科、服飾文化学科の期待される能力の水準

各学科（服飾学科は各コース、服飾表現学科は各専攻）の期待される能力の水準（学修成果の指標）は、卒業制作、卒業論文にもとめられる能力であり、その具体的な要件は、4年次の卒業制作又は卒業論文の科目が要求している達成度である。

### 3. 各授業科目の目標達成度（学修成果）

各授業科目の目標達成度はシラバスに記載した到達目標によって測定する。

測定の指標は、履修学生の作品提出やプレゼン、小テスト、期末試験、シラバスに記載した準備及び復習学修時間の履行状況（学修行動調査によって別途検証）、授業評価アンケート調査とコメントへの対応とする。

シラバスに記載した到達目標については、服飾学科の各コース、服飾表現学科の各専攻、服飾文化学科の必修科目において期待される能力水準（学修成果測定の指標）との関係が適切か、準備学修時間と合わせて別途シラバス作成時に審査する。

### 4. 卒業者数による学修成果測定

服飾学部服飾学科、服飾表現学科、服飾文化学科全体としての卒業者数による学習成果の測定は次の指標によって行う。

- ・標準卒業年次4年前入学者数に対する標準卒業年次での卒業者の比率

服飾学科の各コース、服飾表現学科の各専攻、服飾文化学科ごとの卒業者数による学修成果の測定は次の指標によって行う。

- ・卒業年次の3年前の服飾学科の各コース、服飾表現学科の各専攻、服飾文化学科の2年次進級者数又は服飾学科、服飾表現学科、服飾文化学科2年次への進級者数に対する標準卒業年次での卒業者の比率

### 5. 就職者数による学修成果測定

服飾学部全体としての成果測定は次の指標によって行う。

- ・標準卒業年次での卒業者に対する就職者数の比率
  - ・標準卒業年次での卒業者数に対する服飾企業の専門的職業への就職者の比率
  - ・標準卒業年次での卒業者のうち就職希望者に対する就職者数の比率
  - ・標準卒業年次での卒業者のうち就職希望者に対する専門的職業への就職者数の比率
- \*専門的職業は服飾学科の各コース、服飾表現学科の各専攻、服飾文化学科での学修成果目標による職種を言う。

## Ⅱ. 単 位

各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。

授業の方法に応じて、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準より単位数を計算するものとします。

平常授業は、前期15週、後期15週、年間30週を原則とします。

時間割表の1時限は正味45分ですがこれを1時間と計算します。従って1コマ（2時限続き）は90分としています。

### 1. 講義と演習

15時間から30時間までの範囲で大学で定めた時間の授業を1単位とします。

### 2. 実験、実習及び実技

30時間から45時間までの範囲で大学が定めた時間の授業を1単位とします。

上記は学則第28条の（単位）の条項にそって、授業時間との関連を解説したものです。

## Ⅲ. 成績評価基準

学習の評価については学則第32条に述べられていますが、成績評価基準は以下の通りです。

| 区分  | 評価 | 成績評価基準  | 評価内容                  |
|-----|----|---------|-----------------------|
| 合格  | S  | 100～90点 | 特に優れた成績               |
|     | A  | 89～80点  | 優れた成績                 |
|     | B  | 79～70点  | 妥当と認められる成績            |
|     | C  | 69～60点  | 合格と認められる最低限の成績        |
|     | 合  | —       | 合格と認められる成績            |
| 不合格 | D  | 59点以下   | 合格と認められる最低限の成績に達していない |

### ◆GPA(グレートポイント・アベレージ)制度

履修した科目の成績の平均を数値で表したものです。成績評価をS→4、A→3、B→2、C→1、D→0と点数に置換えて算出するのがGPAです。

$$GPA = (\text{科目の点数} \times \text{科目の単位数}) \text{の総和} \div \text{履修した科目の総単位数}$$

# Ⅳ. 服飾学部服飾表現学科カリキュラム表

(2023年度生) 大ー1

| 専 門 科 目                           |                                 | 授業科目名 | 単位数 |     |                     | 履修方法 |   |   | 目 黒<br>キ<br>ヤ<br>ン<br>パ<br>ス | 日 野<br>キ<br>ヤ<br>ン<br>パ<br>ス | 資格<br>取得を<br>目的と<br>するもの<br>学 芸<br>員 課<br>程 | 配<br>当<br>年<br>次 | 週時間数     |          |  |
|-----------------------------------|---------------------------------|-------|-----|-----|---------------------|------|---|---|------------------------------|------------------------------|---------------------------------------------|------------------|----------|----------|--|
|                                   |                                 |       | 講   | 演   | 実<br><br>験<br><br>実 | 必    | 選 | 自 |                              |                              |                                             |                  | 前<br>期   | 後<br>期   |  |
|                                   |                                 |       |     |     |                     |      |   |   |                              |                              |                                             |                  |          |          |  |
|                                   |                                 |       |     |     |                     |      |   |   |                              |                              |                                             |                  |          |          |  |
| 服飾関係                              | 服飾造形基礎Ⅰ                         |       | 3   |     | ○                   |      |   | ○ |                              |                              | 1                                           | 6                |          |          |  |
|                                   | 服飾表現概論                          | 1     |     |     | ○                   |      |   | ○ |                              |                              | 1                                           | 1                |          |          |  |
|                                   | 色彩演習                            | 2     |     |     | ○                   |      |   | ○ |                              |                              | 1                                           | 2                |          |          |  |
|                                   | 衣服材料学                           | 2     |     |     | ○                   |      |   | ○ |                              |                              | 1                                           | 2                |          |          |  |
|                                   | ドローイングⅠa                        |       | 2   |     | ○                   |      |   | ○ |                              |                              | 1                                           | 4                |          |          |  |
|                                   | 西洋服飾文化史                         | 2     |     |     | ○                   |      |   | ○ |                              |                              | 1                                           | 2                |          |          |  |
|                                   | 服飾造形基礎Ⅱ                         |       | 3   |     | ○                   |      |   | ○ |                              |                              | 1                                           |                  | 6        |          |  |
|                                   | グラフィックデザインⅠ                     |       | 1   |     | ○                   |      |   | ○ |                              |                              | 1                                           |                  | 2        |          |  |
|                                   | 身体表現Ⅰー基本の動きー                    |       | 1   |     | ○                   |      |   | ○ |                              |                              | 1                                           |                  | 2        |          |  |
|                                   | 写真表現                            |       | 1   |     | ○                   |      |   | ○ |                              |                              | 1                                           |                  | 2        |          |  |
|                                   | ファッション・フィールド・リサーチ               |       | 1   |     | ○                   |      |   | ○ |                              |                              | 1                                           |                  | 2        |          |  |
|                                   | プレゼンテーション論                      | 2     |     |     | ○                   |      |   | ○ |                              |                              | 1                                           |                  | 2        |          |  |
|                                   | 現代ファッション論                       | 2     |     |     | ○                   |      |   | ○ |                              |                              | 2                                           | 2                |          |          |  |
|                                   | 日本服飾文化史                         | 2     |     |     | ○                   |      |   | ○ |                              |                              | 2                                           | 2                |          |          |  |
|                                   | 表現心理学ー魅力の発見、魅力の伝達ー              | 2     |     |     | ○                   |      |   | ○ |                              |                              | 2                                           | 2                |          |          |  |
|                                   | 身体表現Ⅱーパフォーマンスー                  |       | 1   |     | ○                   |      |   | ○ |                              |                              | 2                                           | 2                |          |          |  |
|                                   | 空間構成Ⅰ                           |       | 1   |     | ○                   |      |   |   | ○                            |                              | 2                                           | 2                |          |          |  |
|                                   | 画像表現                            |       | 1   |     | ○                   |      |   | ○ |                              |                              | 2                                           | 2                |          |          |  |
|                                   | ドローイング・構想                       |       | 1   |     | ○                   |      |   | ○ |                              |                              | 2                                           | 2                |          |          |  |
|                                   | グラフィックデザインⅡ                     |       | 1   |     | ○                   |      |   | ○ |                              |                              | 2                                           | 2                |          |          |  |
|                                   | 服飾表現演習                          |       | 2   |     | ○                   |      |   |   | ○                            |                              | 2                                           | 4                |          |          |  |
|                                   | 色材演習                            |       | 1   |     | ○                   |      |   | ○ |                              |                              | 2                                           |                  | 2        |          |  |
|                                   | 服飾表現史                           | 2     |     |     | ○                   |      |   | ○ |                              |                              | 2                                           |                  | 2        |          |  |
|                                   | 空間構成Ⅱ                           |       | 2   |     | ○                   |      |   |   | ○                            |                              | 2                                           |                  | 4        |          |  |
|                                   | 立体造形構想                          |       | 1   |     | ○                   |      |   | ○ |                              |                              | 2                                           |                  | 2        |          |  |
|                                   | 近代日本モード史                        |       | 2   |     | ○                   |      |   | ○ |                              |                              | 2                                           |                  | 2        |          |  |
|                                   | マーケティング・データサイエンス論               | 2     |     |     | ○                   |      |   |   |                              |                              | 2                                           | 2又               | は2       |          |  |
|                                   | マネキン学                           | 2     |     |     | ○                   |      |   |   | ○                            |                              | 3                                           | 2                |          |          |  |
|                                   | プレゼンテーション技法                     |       | 2   |     | ○                   |      |   |   | ○                            |                              | 3                                           | 4                |          |          |  |
|                                   | ポートフォリオ演習                       |       | 2   |     | ○                   |      |   |   | ○                            |                              | 3                                           | 4                |          |          |  |
|                                   | 卒業制作企画                          |       | 3   |     | ○                   |      |   |   | ○                            |                              | 4                                           | 6                |          |          |  |
|                                   | 卒業制作                            |       | 6   |     | ○                   |      |   |   | ○                            |                              | 4                                           |                  | 12       |          |  |
|                                   | 計                               | 21    | 38  | 0   |                     |      |   |   |                              |                              |                                             |                  |          |          |  |
|                                   | 専門科目(服飾関係)必修科目については、59単位を修得すること |       |     |     |                     |      |   |   |                              |                              |                                             |                  |          |          |  |
| 係                                 | 衣装デザイン・制作Ⅰ                      |       |     | 2   | (○)                 |      |   |   | ○                            |                              | 2                                           |                  | 6        |          |  |
|                                   | スタイリング演習Ⅰ                       |       | 2   |     | (○)                 |      |   |   | ○                            |                              | 2                                           |                  | 4        |          |  |
|                                   | ビジュアルマーチャンダイジング演習Ⅰ              |       | 2   |     | (○)                 |      |   |   | ○                            |                              | 2                                           |                  | 4        |          |  |
|                                   | ショープロデュースⅠ                      |       | 2   |     | (○)                 |      |   |   | ○                            |                              | 2                                           |                  | 4        | 2024未開講  |  |
|                                   | メディア表現Ⅰ(映像・ショープロデュース)           |       | 2   |     | (○)                 |      |   |   | ○                            |                              | 2                                           |                  | 4        | 2024名称変更 |  |
|                                   | 衣装デザイン・制作Ⅱ                      |       |     | 2   | (○)                 |      |   |   | ○                            |                              | 3                                           | 6                |          |          |  |
|                                   | スタイリング演習Ⅱ                       |       | 2   |     | (○)                 |      |   |   | ○                            |                              | 3                                           | 4                |          |          |  |
|                                   | ビジュアルマーチャンダイジング演習Ⅱ              |       | 2   |     | (○)                 |      |   |   | ○                            |                              | 3                                           | 4                |          |          |  |
|                                   | ショープロデュースⅡ                      |       | 2   |     | (○)                 |      |   |   | ○                            |                              | 3                                           | 4                |          | 2024未開講  |  |
|                                   | メディア表現Ⅱ(映像・ショープロデュース)           |       | 2   |     | (○)                 |      |   |   | ○                            |                              | 3                                           | 4                |          | 2024名称変更 |  |
|                                   | 衣装デザイン・制作Ⅲ                      |       | 6   |     | (○)                 |      |   |   | ○                            |                              | 3                                           |                  | 12       |          |  |
|                                   | スタイリング演習Ⅲ                       |       | 6   |     | (○)                 |      |   |   | ○                            |                              | 3                                           |                  | 12       |          |  |
|                                   | ビジュアルマーチャンダイジング演習Ⅲ              |       | 6   |     | (○)                 |      |   |   | ○                            |                              | 3                                           |                  | 12       |          |  |
| ショープロデュースⅢ                        |                                 | 6     |     | (○) |                     |      |   | ○ |                              | 3                            |                                             | 12               | 2024未開講  |          |  |
| メディア表現Ⅲ(映像・ショープロデュース)             |                                 | 6     |     | (○) |                     |      |   | ○ |                              | 3                            |                                             | 12               | 2024名称変更 |          |  |
| 専門選択必修合計                          | 0                               | 46    | 4   |     |                     |      |   |   |                              |                              |                                             |                  |          |          |  |
| 専門科目(服飾関係)選択必修科目については、10単位を修得すること |                                 |       |     |     |                     |      |   |   |                              |                              |                                             |                  |          |          |  |

門



|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |  |  | 授業科目名 | 単位数    |        |        | 履修方法       |        |        | 目<br>黒<br>キ<br>ヤ<br>ン<br>パ<br>ス | 日<br>野<br>キ<br>ヤ<br>ン<br>パ<br>ス | 資格<br>取得を<br>目的と<br>するもの<br>学<br>芸<br>員<br>課<br>程 | 配<br>当<br>年<br>次 | 週時間数   |        | 備考 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|-------|--------|--------|--------|------------|--------|--------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------------------------|------------------|--------|--------|----|
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |  |  |       |        |        |        | 卒業を目的とするもの |        |        |                                 |                                 |                                                   |                  | 前<br>期 | 後<br>期 |    |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |  |  |       | 講<br>義 | 演<br>習 | 実<br>習 | 必<br>修     | 選<br>択 | 自<br>由 |                                 |                                 |                                                   |                  |        |        |    |
| 教<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br> |  |  |       |        |        |        |            |        |        |                                 |                                 |                                                   |                  |        |        |    |

| 授業科目名                                                                                                                                                                                                                                                                    |             | 単位数        |     |                      | 履修方法       |        |        | 資格<br>取得を<br>目的と<br>するもの | 配<br>当<br>年<br>次 | 週時間数 |     | 備考 |                  |                                 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|------------|-----|----------------------|------------|--------|--------|--------------------------|------------------|------|-----|----|------------------|---------------------------------|
|                                                                                                                                                                                                                                                                          |             |            |     |                      | 卒業を目的とするもの |        |        |                          |                  | 前    | 後   |    |                  |                                 |
|                                                                                                                                                                                                                                                                          |             | 講          | 演   | 実<br>験<br><br>実<br>習 | 必<br>修     | 選<br>択 | 自<br>由 |                          |                  |      |     |    | 目<br>録<br>ス<br>ス | 日<br>野<br>キ<br>ャ<br>ン<br>パ<br>ス |
| 教<br><br><br>養<br><br><br>科<br><br><br>目                                                                                                                                                                                                                                 | 外<br>国<br>語 | 英語(総合)Ⅰ    | 2   |                      |            |        | ○      |                          | ○                |      | 1   | 2  |                  |                                 |
|                                                                                                                                                                                                                                                                          |             | 英語(総合)Ⅱ    | 2   |                      |            |        | ○      |                          | ○                |      | 1   |    | 2                |                                 |
|                                                                                                                                                                                                                                                                          |             | 基礎英会話Ⅰ     | 2   |                      |            |        | ○      |                          | ○                |      | 1   | 2  |                  |                                 |
|                                                                                                                                                                                                                                                                          |             | 基礎英会話Ⅱ     | 2   |                      |            |        | ○      |                          | ○                |      | 1   |    | 2                |                                 |
|                                                                                                                                                                                                                                                                          |             | フランス語(総合)Ⅰ | 2   |                      |            |        | ○      |                          | ○                |      | 1   | 2  |                  |                                 |
|                                                                                                                                                                                                                                                                          |             | フランス語(総合)Ⅱ | 2   |                      |            |        | ○      |                          | ○                |      | 1   |    | 2                |                                 |
|                                                                                                                                                                                                                                                                          |             | フランス語(会話)Ⅰ | 2   |                      |            |        | ○      |                          | ○                |      | 1   | 2  |                  |                                 |
|                                                                                                                                                                                                                                                                          |             | フランス語(会話)Ⅱ | 2   |                      |            |        | ○      |                          | ○                |      | 1   |    | 2                |                                 |
|                                                                                                                                                                                                                                                                          |             | 中国語(総合)Ⅰ   | 2   |                      |            |        | ○      |                          | ○                |      | 1   | 2  |                  |                                 |
|                                                                                                                                                                                                                                                                          |             | 中国語(総合)Ⅱ   | 2   |                      |            |        | ○      |                          | ○                |      | 1   |    | 2                |                                 |
|                                                                                                                                                                                                                                                                          |             | 中国語(会話)Ⅰ   | 2   |                      |            |        | ○      |                          | ○                |      | 1   | 2  |                  |                                 |
|                                                                                                                                                                                                                                                                          |             | 中国語(会話)Ⅱ   | 2   |                      |            |        | ○      |                          | ○                |      | 1   |    | 2                |                                 |
|                                                                                                                                                                                                                                                                          |             | 日本語Ⅰ       | 4   |                      |            |        | ○      |                          | ○                |      | 1・3 | 4  |                  | *外国人留学生は下記の欄を参照                 |
|                                                                                                                                                                                                                                                                          |             | 日本語Ⅱ       | 4   |                      |            |        | ○      |                          | ○                |      | 1・3 |    | 4                | *外国人留学生は下記の欄を参照                 |
|                                                                                                                                                                                                                                                                          | 教養科目小計      |            | 102 | 4                    | 0          |        |        |                          |                  |      |     |    |                  |                                 |
| 教養科目総合計                                                                                                                                                                                                                                                                  |             | 106        |     |                      |            |        |        |                          |                  |      |     |    |                  |                                 |
| 服飾表現学科「専攻」、「インターンシップ」に関して                                                                                                                                                                                                                                                |             |            |     |                      |            |        |        |                          |                  |      |     |    |                  |                                 |
| ■「専攻」に関して<br>服飾表現に関する豊かな知識・技術を修得して、服飾表現の専門職業人として活躍できる能力の育成のために、以下のように専攻科目を履修することとする。<br>1)一つを選んで「主専攻」とする。<br>2)主専攻科目以外の専攻科目の履修による単位取得を可能とする。                                                                                                                             |             |            |     |                      |            |        |        |                          |                  |      |     |    |                  |                                 |
| ■「インターンシップ」に関して<br>服飾表現に関する豊かな知識・技術を修得して、服飾表現の専門職業人として活躍できる能力の育成のためには、実際の職場における体験でなければ得られないことが多い。それを実践するためには「長期インターンシップ」が不可欠である。<br>専攻科目の授業の一環として、以下のように「長期インターンシップ」を実施する。<br>・「長期インターンシップ」は単位化する。<br>・実施は「3年次前期」から「4年次前期」までの期間内とする。<br>・上記期間中に「集中」若しくは「分割」して実施する。       |             |            |     |                      |            |        |        |                          |                  |      |     |    |                  |                                 |
| ※―「長期インターンシップ」に関連する科目                                                                                                                                                                                                                                                    |             |            |     |                      |            |        |        |                          |                  |      |     |    |                  |                                 |
| 3年前期<br>・「衣装デザイン・制作Ⅱ(長期インターンシップを含む)」(3年前期、実験実習2単位)<br>・「スタイリング演習Ⅱ(長期インターンシップを含む)」(3年前期、演習2単位)<br>・「ビジュアルマーチャンダイジング演習Ⅱ(長期インターンシップを含む)」(長期インターンシップを含む)」(3年前期、演習2単位)<br>・「ショープロデュースⅡ(長期インターンシップを含む)」(3年前期、演習2単位)<br>・「メディア表現Ⅱ(映像・ショープロデュース)(長期インターンシップを含む)」(3年前期、演習2単位)     |             |            |     |                      |            |        |        |                          |                  |      |     |    |                  |                                 |
| 3年後期<br>・「衣装デザイン・制作Ⅲ(長期インターンシップを含む)」(3年後期、演習6単位)<br>・「スタイリング演習Ⅲ(長期インターンシップを含む)」(3年後期、演習6単位)<br>・「ビジュアルマーチャンダイジング演習Ⅲ(長期インターンシップを含む)」(3年後期、演習6単位)」<br>・「ショープロデュースⅢ(長期インターンシップを含む)」(3年後期、演習6単位)<br>・「メディア表現Ⅲ(映像・ショープロデュース)(長期インターンシップを含む)」(3年前期、演習6単位)                      |             |            |     |                      |            |        |        |                          |                  |      |     |    |                  |                                 |
| 4年前期<br>・「衣装デザイン・制作卒業制作企画(長期インターンシップを含む)」(4年前期、演習3単位)<br>・「スタイリング卒業制作企画(長期インターンシップを含む)」(4年後期、演習3単位)<br>・「ビジュアルマーチャンダイジング卒業制作企画(長期インターンシップを含む)」(4年後期、演習3単位)」<br>・「ショープロデュース卒業制作企画(長期インターンシップを含む)」(4年後期、演習3単位)<br>・「メディア表現(映像・ショープロデュース)卒業制作企画(長期インターンシップを含む)」(4年前期、演習3単位) |             |            |     |                      |            |        |        |                          |                  |      |     |    |                  |                                 |
| ・教養科目については初年次の「学修基礎」2単位(必修)と、キャリアの「文章表現」「情報演習Ⅰ」「情報演習Ⅱ」「キャリアプランニング」8単位(必修)と、一般・体育・総合・国際関係より16単位以上を修得すること。                                                                                                                                                                 |             |            |     |                      |            |        |        |                          |                  |      |     |    |                  |                                 |
| ・外国語は、英語・フランス語・中国語のいずれかⅠ～Ⅱまで8単位を修得すること。(母国語を除く)                                                                                                                                                                                                                          |             |            |     |                      |            |        |        |                          |                  |      |     |    |                  |                                 |
| ※外国人留学生全員(編入生を含む)に対し、「学内日本語実力テスト」を実施し、その結果に応じて履修指導を行う。<br>具体的には実力テストの結果に応じて ①「日本語Ⅰ(4単位)」「日本語Ⅱ(4単位)」を履修する<br>②「日本文化・日本事情(2単位)」は教養科目として留学生は履修する。<br>但し、実力試験の結果、「日本語」を履修する必要のない者も「日本語Ⅰ(4単位)」「日本語Ⅱ(4単位)」を履修することができる。                                                         |             |            |     |                      |            |        |        |                          |                  |      |     |    |                  |                                 |
| 学芸員課程履修者は学芸員課程の欄の○印の科目の単位を修得すること。                                                                                                                                                                                                                                        |             |            |     |                      |            |        |        |                          |                  |      |     |    |                  |                                 |

| 授業科目名                                                                                                                  |             | 単位数 |   |   | 履修方法       |   |   | 目 | 日 | 学 | 資格<br>取得を<br>目的と<br>するもの | 配<br>当<br>年<br>次 | 週時間数 |          | 備<br>考                 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-----|---|---|------------|---|---|---|---|---|--------------------------|------------------|------|----------|------------------------|
|                                                                                                                        |             |     |   |   | 卒業を目的とするもの |   |   |   |   |   |                          |                  | 前    | 後        |                        |
|                                                                                                                        |             | 講   | 演 | 実 | 必          | 選 | 自 |   |   |   |                          |                  |      |          |                        |
|                                                                                                                        |             | 義   | 習 | 習 | 修          | 択 | 由 | ス | ス | 程 |                          |                  |      |          |                        |
| 博<br>物<br>館<br>に<br>関<br>す<br>る<br>科<br>目                                                                              | 生涯学習概論      | 2   |   |   |            |   |   | ○ |   | ○ |                          | 1                |      | 2        |                        |
|                                                                                                                        | 博物館概論       | 2   |   |   |            |   |   | ○ |   | ○ |                          | 1                |      | 2        |                        |
|                                                                                                                        | 博物館経営論      | 2   |   |   |            |   |   | ○ |   | ○ |                          | 2                | 2    |          |                        |
|                                                                                                                        | 博物館資料論      | 2   |   |   |            |   |   | ○ |   | ○ |                          | 2                | 2    |          |                        |
|                                                                                                                        | 博物館資料保存論    | 2   |   |   |            |   |   | ○ |   | ○ |                          | 2                |      | 2        |                        |
|                                                                                                                        | 博物館展示論      | 2   |   |   |            |   |   | ○ |   | ○ |                          | 3                |      | 2        |                        |
|                                                                                                                        | 博物館教育論      | 2   |   |   |            |   |   | ○ |   | ○ |                          | 3                | 2    |          |                        |
|                                                                                                                        | 博物館情報・メディア論 | 2   |   |   |            |   |   | ○ |   | ○ |                          | 3                |      | 2        |                        |
|                                                                                                                        | 博物館実習       |     |   | 3 |            |   |   | ○ |   | ○ |                          | 4                | 3    | 3及<br>集中 | 博物館概論修得者のみ履修可<br>博物館見学 |
|                                                                                                                        | 計           | 16  |   | 3 |            |   |   |   |   |   |                          |                  |      |          |                        |
| 学芸員課程履修者は、博物館に関する科目19単位を修得すること。                                                                                        |             |     |   |   |            |   |   |   |   |   |                          |                  |      |          |                        |
| カリキュラムは、授業科目の段階的履修や体系的な履修を考慮して編成してあります。従って再履修の必要がある場合の履修順序は、下記の通りとします。<br>1) 原則として開講学年順とします。<br>2) 個々の履修状況に応じて審議決定します。 |             |     |   |   |            |   |   |   |   |   |                          |                  |      |          |                        |

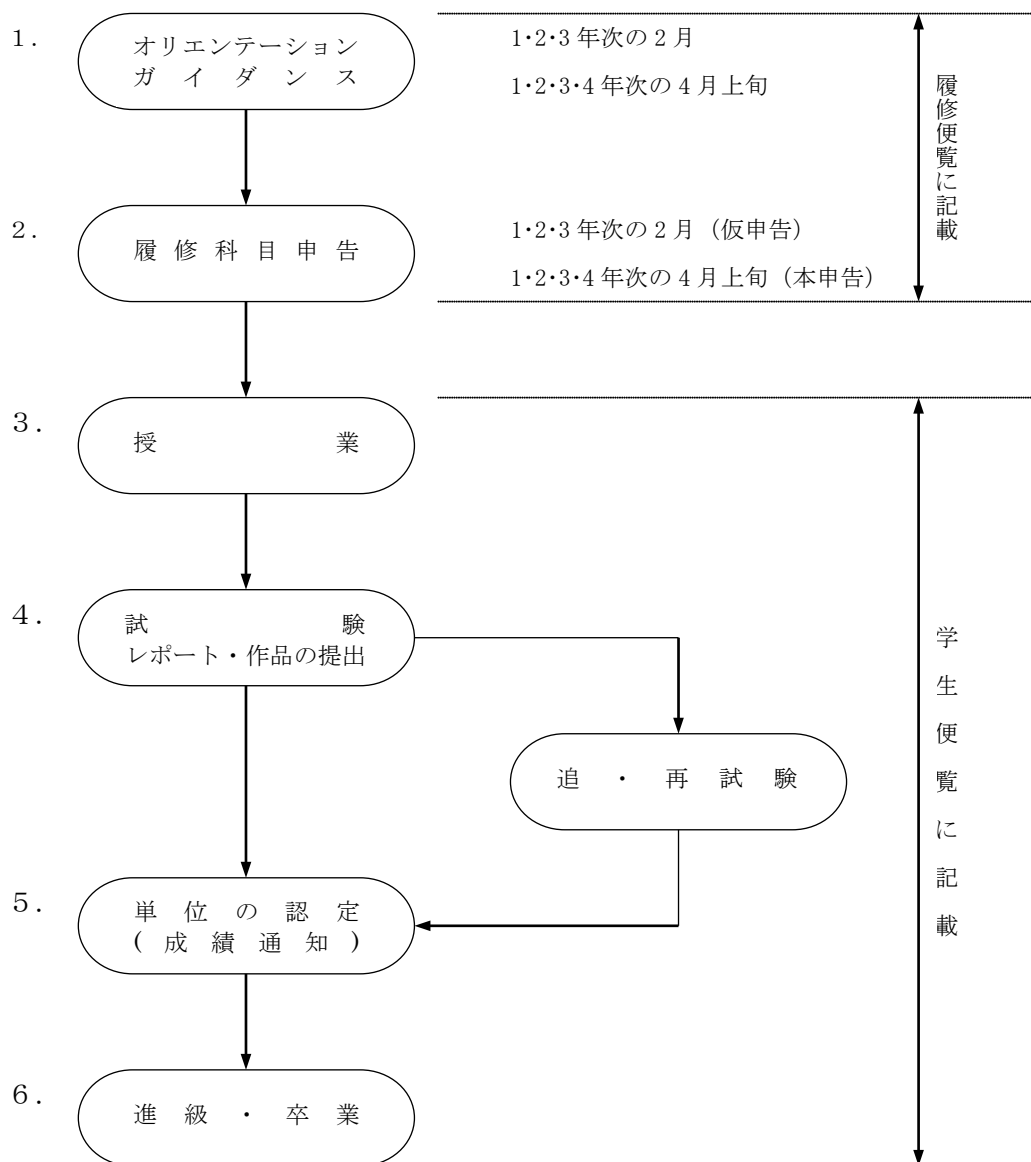


## V. 履修の方法（履修科目申告から単位認定まで）

大学での学修生活は、自らが履修しようとする授業科目の履修申告からはじまり、学修結果の評価により単位認定がなされることで終わると言ってもいいでしょう。

このパターンが4年間各年度始めに展開されるわけですが、これを図示すると次の通りとなります。

以下の順序に従ってその内容・手続きについて解説します。



## 1. オリエンテーション・ガイダンス

履修ガイダンスやその他学修生活を送る上での必要な事項についてのオリエンテーションが各年度当初の4月に実施されます。(2年次以上は前年度の2月にも次年度オリエンテーションを実施)

履修計画を立てる上で極めて重要なものですので、出席を義務づけております。

## 2. 履修科目申告

開講科目を履修するには、必ず事前に履修申告をしなければなりません。この履修申告は在学中に各年度学期の開始時に実施されます。この履修申告に際して、学生は事後一ヵ年の学習計画を立て、履修することにより名簿・成績原簿等を作成されます。従って卒業要件単位修得等に重要な手続きですから下記事項を熟読し、あやまりのないようにしてください。

### 1) 《履修申告にあたっての注意事項》

- ① 同一時限には1科目しか申告できません。すなわち重複受講(申告)は禁止されています。
- ② 申告した科目以外は試験(レポート、作品等の提出を含む)を受験できません。万一受験しても単位は与えられません。
- ③ 一度本申告したものの追加、変更は原則として認められません。
- ④ 申告期限を過ぎたものは受け付けませんので、必ず期日を厳守しなければなりません。
- ⑤ 2・3・4 年次は各々過年度開講の科目を申告することができますが、上級年次の開講科目を申告することはできません。

### 2) 《年間履修単位制限(CAP 制度)》

本学では、各学年で年間に履修できる単位数に上限を定めます。これを「キャップ制度」と言います。学修すべき授業科目を精選することで十分な学修時間を確保し、授業内容を深く身につけることを目的とします。学生の皆さんは、履修科目として1年間に登録することができる単位数の上限を定めることで、適切にバランスよく授業科目を履修することが出来る制度です。大学は、各学年年間 50 単位 です。

※資格関係科目(教職課程、学芸員課程など卒業要件単位に含まれない科目)は履修制限科目から除外されます。

### 3) 《履修申告の方法》

履修申告は「学生ポータル」に登録することにより行います。履修の登録はすべてコンピュータ入力します。定められた入力期間内に入力します。入力期間内であれば削除・追加が可能です。

ただし、入力期間内であっても、必修科目、外国語科目及びコース別必修科目のキャンセルは、原則として認めません。

#### ① 1 年次の年度始め

1 年次前期に受講する科目をすべて申告してください。

#### ② 1・2・3 年次の年度末(次年度の受講予定科目の申告のための準備)

これまでの履修状況に応じて、次年度における受講科目の計画をたててください。

#### ③ 2・3・4 年次の年度始め(2 年次以降の受講科目を入力)

※ 一部の科目については、人数調整をする場合があります。

#### ④ 1・2・3・4 年次 後期開始前(9 月上旬)

後期開講科目について、申告入力期間に入力してください。

#### 4) 《履修科目申告上の注意事項》

下記の注意事項をよく読んで誤りのないよう記入してください。

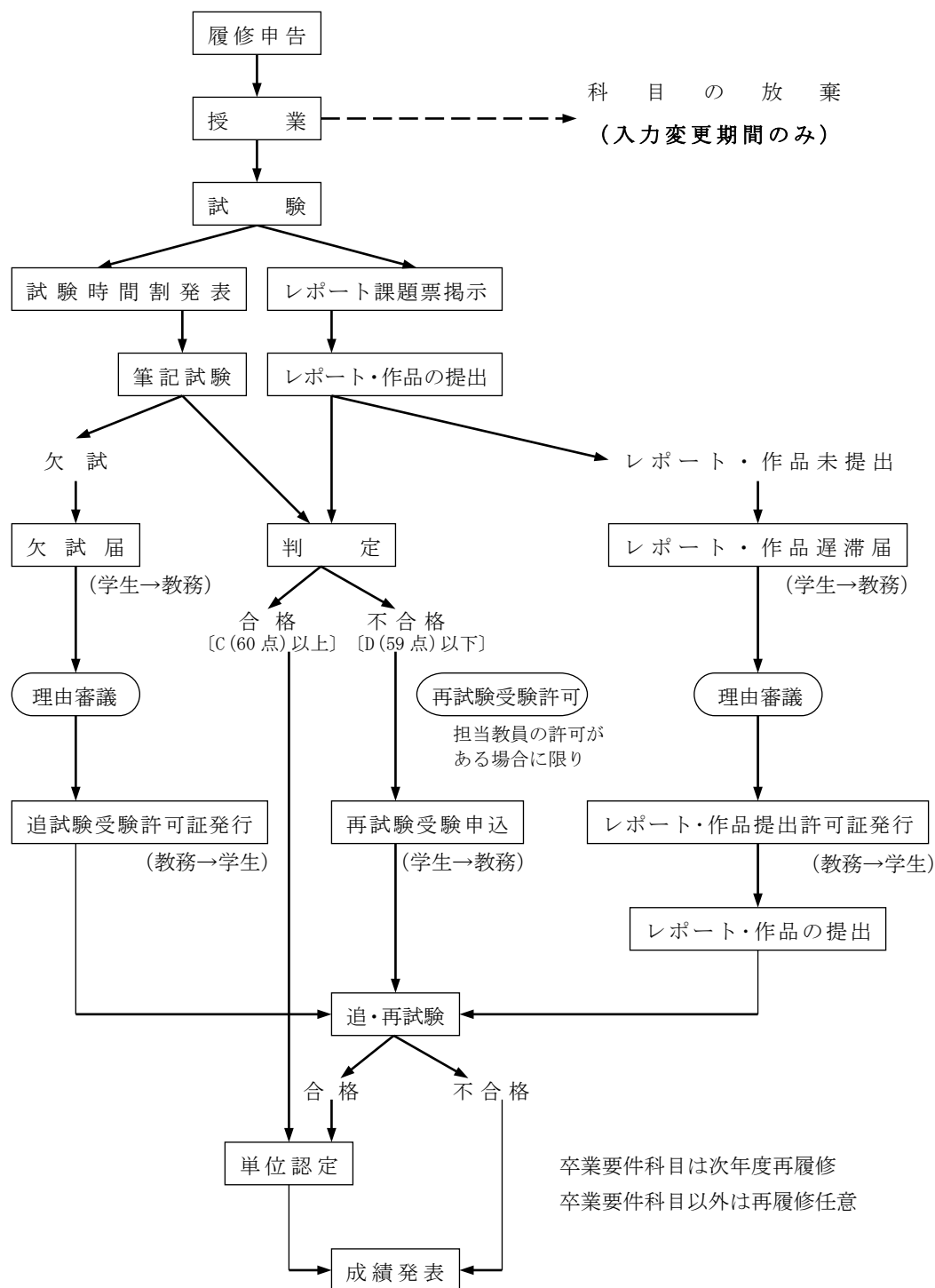
##### ◆入力について

1. 履修科目を確認して入力してください。
2. 教職課程・学芸員課程を履修する場合は、課程科目も入力してください。
3. 自主ゼミの受講希望者は教務課に申し出てください。
4. 履修単位の表の数字を確認してください。
5. 他学年開講科目(再履修科目等)は各自検索をして入力してください。

#### 《履修科目の放棄について》

- ① 学期初めに本申告をした科目は、一定の入力申告変更期間を設けているため、学期途中で放棄することはできません。 キャンセルをしないまま欠席すると当該科目の成績は不合格となります。  
また、集中授業の科目については定められた期間に限り放棄を認めます。

# 履修科目申告から単位認定まで





### 博物館とは

日本で博物館といわれているものは、歴史博物館、民俗（族）博物館、考古博物館、美術館、郷土館、記念館のようなものから自然を対象とする自然史博物館、科学館、天文博物館、水族館、動植物園のようなものまでひろく包含されます。

これらの博物館は、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料の収集、保管、調査研究、展示、教育普及活動等を通して社会に対し様々な情報提供サービスをすると共に、我が国の教育、学術及び文化の発展に大きく寄与してきました。

近年、所得水準の向上や自由時間の増大などの社会の成熟化に伴い、心の豊かさや生きがいなどを求めて人々の学習ニーズは増大し、かつ多様化、高度化してきています。また一方で、科学技術の高度化、情報・通信技術の進展や、教育、学術、文化などの各分野にわたる広域・国際的な交流の活発化、さらには地域文化への関心の高まりなど、博物館を取り巻く環境には様々な変化が生じています。こうした中で、博物館は社会の進展に的確に対応し、人々の知的関心にこたえる施設として一層発展することが期待されています。また、情報化の進展の中で実物資料に身近に触れることができる博物館の意義が改めて認識されています。

特に、今後は地域における生涯学習推進のための中核的な拠点としての機能を充実するとともに、地域文化の創造・継承・発展を促進する機能や、様々な情報を発信する機能を高めていく必要があります。また、博物館は青少年にとって実物資料等による魅力ある体験学習ができる場であり、学校教育以外の活動あるいは学校教育と連携した学習のために一層重要な役割を発揮することが期待されています。

### 学芸員とは

学芸員は博物館法に基づき博物館におかれる専門的職員であり、資料の収集、保管、調査研究、展示、教育普及活動などの多様な博物館活動の推進のために重要な役割を担っています。また、学芸員は拡大する生涯学習社会において社会教育を推進する上で重要な役割を担うところから、一層の資質の向上と高い専門性を養成することが望まれています。人類や地域にとって重要な資料や文化遺産等を取り扱い、人々の新しい知識の創造と普及のために役立てるという業務の特性から、学芸員には極めて高い職業倫理が必要とされています。

こういった近年の需要を受けて、平成 21 年に博物館施行規則が改正され、平成 24 年 4 月 1 日より養成科目の改善・充実を図った制度が施行されました。

(平. 8. 4. 24 生涯学習審議会社会教育分科審議会報告の「学芸員の養成・研修の改善方策について」の主旨より一部抜粋)

#### 学芸員養成について

学芸員の養成は、博物館法及び同法施行規則に基づき、基本的に大学で行われています。

前述のように、博物館において大切な意味を持っている学芸員の養成は、各大学に委託されており、杉野服飾大学もその一つです。1973 年より大学に学芸員課程をおき、履修者は国家資格の「学芸員」が取得できるようになっています。

現在、日本の博物館法で認められた博物館は 1,286 館（平成 30 年度文部省「社会教育調査」）あり、本学園の衣裳博物館はこの博物館法で定められた「博物館」の一つです。

大学等における博物館の養成内容については、昭和 30 年に博物館施行規則が制定されてから、大幅な見直しは行われていませんでした。しかし近年、拡大する生涯学習と多様化する社会に対応できる、より高度で専門的な学芸員の養成が唱えられました。平成 24 年 4 月 1 日以降、学芸員養成内容に大幅な見直しが反映されています。（平成 8 年 4 月 24 日生涯学習審議会社会教育分科審議会報告の「社会教育主事、学芸員及び司書の養成、研修等の改善方策について」参考）

## 博物館法（平成 26 年 6 月 4 日最終改正より一部抜粋）

### （この法律の目的）

**第 1 条** この法律は、社会教育法に基づき、博物館の設置及び運営に関して必要な事項を定め、その健全な発達を図り、もって国民の教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的とする。

### （定義）

**第 2 条** この法律において「博物館」とは、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集し、保管（育成を含む。以下同じ。）し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、あわせてこれらの資料に関する調査研究をすることを目的とする機関（社会教育法による公民館及び図書館法による図書館を除く。）のうち、地方公共団体、一般社団法人若しくは一般財団法人、宗教法人又は政令で定めるその他の法人が設置するもので第 2 章の規定による登録を受けたものをいう。

2. この法律において、「公立博物館」とは、地方公共団体の設置する博物館をいい、「私立博物館」とは、一般社団法人若しくは一般財団法人、宗教法人又は前項の政令で定める法人の設置する博物館をいう。

3. この法律において「博物館資料」とは、博物館が収集し、保管し、又は展示する資料（電磁的記録を含む）をいう。

### （博物館の事業）

**第 3 条** 博物館は、前条第 1 項に規定する目的を達成するため、おおむね次に掲げる事業を行う。

- 1) 実物、標本、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム、レコード等の博物館資料を豊富に収集し、保管し、及び展示すること。
  - 2) 分館を設置し、又は博物館資料を当該博物館外で展示すること。
  - 3) 一般公衆に対して、博物館資料の利用に関し必要な説明、助言、指導等を行い、又は研究室、実験室、工作室、図書室等を設置してこれを利用させること。
  - 4) 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
  - 5) 博物館資料の保管及び展示等に関する技術的研究を行うこと。
  - 6) 博物館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
  - 7) 博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
  - 8) 当該博物館の所在地又はその周辺にある文化財保護法の適用を受ける文化財について、解説書又は目録を作成する等一般公衆の当該文化財の利用の便を図ること。
  - 9) 社会教育における学習の機会を利用して行った学習の成果を活用して行う教育活動その他の活動の機会を提供し、及びその提供を奨励すること。
  - 10) 他の博物館、博物館と同一の目的を有する国の施設等と緊密に連絡し、協力し、刊行物及び情報の交換、博物館資料の相互貸借等を行うこと。
  - 11) 学校、図書館、研究所、公民館等の教育、学術又は文化に関する諸施設と協力し、その活動を援助すること。
2. 博物館は、その事業を行うに当たっては、土地の事情を考慮し、国民の実生活の向上に資し、更に学校教育を援助し得るようにも留意しなければならない。

### （館長、学芸員、その他の職員）

**第 4 条** 博物館に、館長を置く。

2. 館長は館務を掌理し、所属職員を監督して、博物館の任務の達成に努める。
3. 博物館に、専門的職員として学芸員を置く。

4. 学芸員は、博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業についての専門的事項をつかさどる。
5. 博物館に館長及び学芸員のほか、学芸員補その他の職員を置くことができる。
6. 学芸員補は、学芸員の職務を助ける。

**(学芸員の資格)**

**第5条** 次の各号のいずれかに該当する者は、学芸員となる資格を有する。

- 1) 学士の学位を有する者で、大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得したもの
  - 2) 大学に2年以上在学し、前号の博物館に関する科目の単位を含めて62単位以上を修得した者で、3年以上学芸員補の職にあったもの
  - 3) 文部科学大臣が、文部科学省令で定めるところにより、前2号に掲げる者と同等以上の学力及び経験を有する者と認めた者
2. 前項第2号の学芸員補の職には、官公署、学校又は社会教育施設（博物館の事業に類する事業を行う施設を含む。）における職で、社会教育主事、司書その他の学芸員補の職と同等以上の職として文部科学大臣が指定するものを含むものとする。

**I. 大学における資格取得のための基礎条件**

上記、博物館法第5条（1）に規程されている通りです。

**II. 学芸員資格取得に必要な履修科目と単位数**

1. 博物館に関する科目とその単位については、博物館法施行規則の第1条に次のように規定されています。（平成27年10月2日最終改正）

| 科 目 名  | 単位数 | ね ら い                                                          | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|--------|-----|----------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 生涯学習概論 | 2   | 生涯学習及び社会教育の意義を理解し、学習活動を効果的に援助する方法等の理解を図る。                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習の意義</li> <li>・生涯学習と家庭教育、学校教育、社会教育</li> <li>・生涯学習関連施策の動向</li> <li>・社会教育の意義</li> <li>・社会教育の内容・方法・形態</li> <li>・社会教育指導者</li> <li>・社会教育施設の概要</li> <li>・学習情報提供と学習相談の意義</li> </ul>                                                                                                                                                   |
| 博物館概論  | 2   | 博物館に関する基礎的知識の習得を図る。                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館の定義</li> <li>・博物館の歴史</li> <li>・博物館の目的と機能<br/>(社会的存在意義・政治性)</li> <li>・博物館の現状</li> <li>・学芸員の役割</li> <li>・博物館の館種・設置者</li> <li>・博物館関係法規</li> </ul>                                                                                                                                                                                 |
| 博物館経営論 | 2   | 博物館経営について理解を図る。                                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミュージアム・マネジメントの必要性</li> <li>・博物館倫理</li> <li>・博物館の行財政制度</li> <li>・博物館の施設・設備</li> <li>・博物館の組織</li> <li>・博物館の職員</li> <li>・博物館の管理・運営方式<br/>(直営、財団、指定管理者、PFI等)</li> <li>・博物館の財務、資金調達</li> <li>・マーケティング、広報・宣伝</li> <li>・博物館利用者の把握</li> <li>・博物館の危機管理<br/>(リスクマネジメント)</li> <li>・博物館とユニバーサル化<br/>(バリアフリー等)</li> <li>・博物館のネットワーク</li> </ul> |
| 博物館資料論 | 2   | 博物館資料の収集、整理保管、展示等に関する理論や方法に関する知識・技術の修得を図り、併せて博物館の調査研究活動について学ぶ。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館資料の収集</li> <li>・博物館資料の整理保管</li> <li>・博物館資料の保存</li> <li>・博物館資料の展示</li> <li>・博物館における調査研究活動の意義と方法</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                      |

| 科 目 名    | 単位数 | ね ら い                                                                          | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|----------|-----|--------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 博物館資料保存論 | 2   | 博物館資料及び、その保存・展示環境を科学的に捉え、展示と保存という本来矛盾した博物館業務を円滑に行い、貴重な資料を良好な状態で保存していくための基礎を学ぶ。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館保存科学の意義</li> <li>・資料保存の諸条件とその影響(温湿度・光・振動・大気など)</li> <li>・収蔵庫と展示室の保存環境</li> <li>・伝統的保存方法とIPM</li> <li>・生物被害の防除と対策</li> <li>・資料と環境の点検と記録(機器に対する知識を含む)</li> <li>・災害の防止と対策(火災・地震・水害・盗難など)</li> <li>・資料の現状の調査と把握</li> <li>・資料の修復</li> <li>・資料の移動(梱包と輸送の方法と知識)</li> </ul>   |
| 博物館展示論   | 2   | 展示の歴史、展示メディア、教育、諸形態等に関する理論及び方法に関する知識・技術の習得を図る。                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・展示の意義</li> <li>・展示の歴史</li> <li>・展示の諸形態、展示の企画、デザイン、製作</li> <li>・業者の評価・効果の検証及び改善方法</li> <li>・展示の技術と効果</li> <li>・博物館展示の情報伝達機器</li> <li>・展示解説書の製作(展示図録・パンフレット等)</li> <li>・展示活動と情報</li> </ul>                                                                                 |
| 博物館教育論   | 2   | 博物館における教育活動の基盤となる理論や方法に関する知識・技術の習得をはかる。                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育の本質及び目標</li> <li>・生涯発達と教育</li> <li>・博物館教育の意義と方法</li> <li>・博物館教育の理念と理論(コミュニケーション、構成主義等)</li> <li>・教育活動の企画と実施</li> <li>・博物館教育の諸形態(展示、体験学習、講演会、アウトリーチ活動、レファレンスサービス等)</li> <li>・教育普及とコミュニケーション</li> <li>・博物館と学校との連携</li> <li>・生涯学習と博物館</li> <li>・博物館教育の評価の目標と方法</li> </ul> |

| 科 目 名           | 単位数 | ね ら い                                        | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-----------------|-----|----------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 博物館情報・<br>メディア論 | 2   | 博物館における情報の意義と活用<br>方法及び情報公開課題等について<br>理解を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館における情報の意義</li> <li>・資料収集保管活動と情報</li> <li>・研究活動と情報</li> <li>・博物館における情報の提供と活用の<br/>方法</li> <li>・博物館における情報機器</li> <li>・博物館における著作権</li> <li>・資料公開の理念(アクセス権)と方法<br/>(IT技術等を用いた広報発信等を含<br/>む)</li> <li>・博物館における情報管理と情報公開</li> <li>・ICT社会の中の博物館</li> <li>・博物館における情報化の現状と課題</li> <li>・博物館のホームページ</li> <li>・コレクション情報のデータベース化と<br/>ネットワーク化</li> </ul> |
| 博物館実習           | 3   | 博物館における実習を通じ、多様館<br>種の実態や学芸員の業務の理解を<br>図る。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館資料の取扱い、展示、博物館<br/>の運営等についての学内(見学を含<br/>む)及び博物館における実習。事前・<br/>事後の指導を含む。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                           |

- 1) 博物館実習は、博物館法第2条第1項に規定する博物館又は、第29条の規定に基づき文部科学大臣又は都道府県の教育委員会の指定した博物館に相当する施設(大学においてこれに準ずると認められた施設を含む)における実習により修得するものとする。
  - 2) 「博物館実習」の単位数には、大学における博物館実習に係る事前及び事後の指導を含むものとする。
2. 選択科目については博物館法施行規則第6条3項に次の様に規定されています。

| 授 業 科 目 名                                                                     |               |
|-------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| 文 化 史<br>美 術 史<br>考 古 学<br>民 俗 学<br>自 然 科 学 史<br>物 理 学<br>化 学<br>生 物 学<br>地 学 | 左記のうちから2科目を選択 |

本学では文化史関係と美術史関係を学べるよう開講しています。

本学の学芸員課程の履修科目の詳細は、「カリキュラム表」の「資格取得を目的とするもの」の欄「学芸員課程」に示すとおりです。

## 学芸員課程に関する科目

2009年度生より適用

| (博物館法施行規則第1条による) |             |     | 本学の該当科目     | 単位数 | 備 考 |
|------------------|-------------|-----|-------------|-----|-----|
| 規 定 科 目          |             | 単位数 |             |     |     |
| 必修               | 生涯学習概論      | 2   | 生涯学習概論      | 2   |     |
|                  | 博物館概論       | 2   | 博物館概論       | 2   |     |
|                  | 博物館経営論      | 2   | 博物館経営論      | 2   |     |
|                  | 博物館資料論      | 2   | 博物館資料論      | 2   |     |
|                  | 博物館資料保存論    | 2   | 博物館資料保存論    | 2   |     |
|                  | 博物館展示論      | 2   | 博物館展示論      | 2   |     |
|                  | 博物館教育論      | 2   | 博物館教育論      | 2   |     |
|                  | 博物館情報・メディア論 | 2   | 博物館情報・メディア論 | 2   |     |
|                  | 博物館実習       | 3   | 博物館実習       | 3   |     |

2009年度生より適用

| (博物館法施行規則第6条による)<br>系      |       |                      | 本 学 の 該 当 科 目          | 単<br>位<br>数 | 備 考 |
|----------------------------|-------|----------------------|------------------------|-------------|-----|
| 選<br><br><br><br><br><br>択 | 文 化 史 | 2 履修すること<br>系列以上にわたり | 現 代 デ ザ イ ン 論          | 2           |     |
|                            |       |                      | 西 洋 服 飾 文 化 史          | 2           |     |
|                            |       |                      | 日 本 服 飾 文 化 史          | 2           |     |
|                            |       |                      | 染 織 史                  | 2           |     |
|                            |       |                      | ファッションプレゼンテーション<br>演 習 | 2           |     |
|                            | 美 術 史 |                      | 西 洋 美 術 史              | 2           |     |
|                            |       |                      | 日 本 美 術 史              | 2           |     |



## VII. 授業計画

### 【整理番号】

#### ■専門科目■

- 【1】 現代ファッション論
- 【2】 日本服飾文化史
- 【3】 表現心理学
- 【4】 身体表現Ⅱ
- 【5】 空間構成Ⅰ
- 【6】 画像表現
- 【7】 ドローイング・構想
- 【8】 グラフィックデザインⅡ
- 【9】 服飾表現演習
- 【10】 色材演習
- 【11】 服飾表現史
- 【12】 空間構成Ⅱ
- 【13】 立体造形構想
- 【14】 近代日本モード史
- 【15】 マーケティング・データサイエンス論
- 【16】 衣装デザイン・制作Ⅰ
- 【17】 スタイリング演習Ⅰ
- 【18】 ビジュアルマーチャンダイジング演習Ⅰ
- 【19】 メディア表現Ⅰ(映像・ショープロデュース)
- 【20】 アパレル素材論
- 【21】 画像設計演習
- 【22】 ドローイングⅡ
- 【23】 和服構成論・実習Ⅰ
- 【24】 和服構成論・実習Ⅱ
- 【25】 衣服管理
- 【26】 染色化学
- 【27】 ファッション史
- 【28】 ブライダルファッションプランニングゼミ
- 【29】 インターンシップ
- 【30】 色彩論
- 【31】 家庭経営学
- 【32】 家庭電気・機械
- 【33】 食物学(実践栄養学)
- 【34】 家庭情報処理

#### ■キャリア■

- 【35】 キャリアプランニング

#### ■教養科目■

- 【36】 心理学A
- 【37】 心理学B
- 【38】 憲法
- 【39】 化学A
- 【40】 化学B
- 【41】 体育B

#### ■教養科目〔外国語〕■

- 【42】 英語(総合)A
- 【43】 英語(総合)B
- 【44】 ワールド・カルチャーA
- 【45】 ワールド・カルチャーB
- 【46】 実用英語 A
- 【47】 実用英語 B
- 【48】 ファッション英語 A
- 【49】 ファッション英語 B
- 【50】 フランス語(総合) A
- 【51】 フランス語(総合) B
- 【52】 ファッションフランス語 A
- 【53】 ファッションフランス語 B
- 【54】 中国語(総合) A
- 【55】 中国語(総合) B
- 【56】 中国語(会話) A
- 【57】 中国語(会話) B

#### ■学芸員■

- 【58】 博物館経営論
- 【59】 博物館資料論
- 【60】 博物館資料保存論

#### <2024年度未開講>

ショープロデュースⅠ  
繊維ファッション産業構造論  
社会福祉学A  
社会福祉学B

# 現代ファッション論

鈴木 桜子

2年 前期 必修 (2単位 講義)

## ■授業の方針・概要

「ファッションとは何か？」この問いに答えるのは容易ではありません。ファッションは私たちにとって最も身近な存在でありながら、個人と社会、歴史、文化、思想等のあらゆる領域と複雑に絡み合いながら現在に至っています。

本授業では、衣服と直接的な身体との関係、社会現象としての流行とメディアとの関係、様々な視点からファッションの現在の意味を問う展覧会に焦点をあて、「ファッション」について深く考えて行くことを方針としています。本授業は、ディスカッション、学生同士の相互評価、プレゼンテーションによるアクティブラーニングを重視します。

## ■到達目標（学修成果）

「ファッション」について、ディスカッションを通して自らのファッション論を導き出すことを目標とします。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は服飾表現学科2年次の必修科目であり、卒業要件科目です。ファッションに関する多角的な視点を持ちながら専門性を高めていくための科目です。

## ■授業計画

| 回数  | 授業内容                         | 準備学修               |      |
|-----|------------------------------|--------------------|------|
|     |                              | 具体的内容（予習・復習等）      | 必要時間 |
| 1回  | 「ファッション」を考える なぜ衣服を着るのか       | 予習：シラバスの確認         | 10分  |
| 2回  | I. ファッションと身体 ①コルセット          | 復習：授業ノート確認＋関連事項の調査 | 40分  |
| 3回  | ②化粧                          | 復習：授業ノート確認＋関連事項の調査 | 40分  |
| 4回  | ③女性の服・男性の服                   | 復習：授業ノートの確認＋α      | 40分  |
| 5回  | ④ディスカッション                    | 予習：ディスカッションの準備     | 100分 |
| 6回  | ⑤レポートの評価                     | 復習：レポート評価の振り返り     | 20分  |
| 7回  | II. ファッションとメディア ①ファッション写真    | 復習：授業ノート確認＋関連事項の調査 | 40分  |
| 8回  | ②ファッション雑誌                    | 復習：授業ノート確認＋関連事項の調査 | 40分  |
| 9回  | ③かわいい世界                      | 復習：授業ノート確認＋関連事項の調査 | 40分  |
| 10回 | ④ディスカッション                    | 予習：ディスカッションの準備     | 100分 |
| 11回 | ⑤レポートの評価                     | 復習：レポート評価の振り返り     | 20分  |
| 12回 | III. ファッションと展覧会①「ファッションと色彩」展 | 復習：授業ノート確認＋関連事項の調査 | 40分  |
| 13回 | ②「ラグジュアリー」展                  | 復習：授業ノート確認＋関連事項の調査 | 40分  |
| 14回 | ③「○○○○○」展                    | 復習：授業ノート確認＋関連事項の調査 | 40分  |
| 15回 | プレゼンテーションと評価                 | 予習：プレゼンテーションの準備    | 100分 |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

ディスカッション時のレポート、プレゼンテーションは、受講者同士で評価をし、フィードバックしていきます。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 授業態度・姿勢               | 30% |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 70% |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 0%  |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |

※ディスカッション&授業内レポート2回＋プレゼンテーション1回  
※上記に関する受講生同士の相互評価

## ■教科書

毎回プリントを配布します。

## ■参考文献

授業内で紹介します。

## ■オフィスアワー・研究室

初回の授業でお知らせします。

## ■備考

沢山の服飾関連の授業を受講している皆さんにとって大事なことは、時に立ち止まり、物事を深く考える時間を持つことです。現在、ファッションについて社会学や哲学の立場から論じられている書物が数多く出版されています。それらをヒントに日頃からファッションについて深く考えてみましょう。

# 日本服飾文化史

梅谷 知世

2年 前期 必修 学芸員課程必修 (2単位 講義)

## ■授業の方針・概要

アジアの東端に位置する日本は、古くから中国をはじめとする諸外国の影響をうけながら、独自の美意識に基づく豊かな服飾文化を作りだし成熟させてきました。この講義では、服飾・染織品の実物資料、文献資料、図像資料などを用いて原始・古代から近世にいたる日本服飾の移り変わりを概説します。さらに、各時代の服飾の特質を政治や社会との関係、造形性、美意識、同時代の演劇・美術・文芸との関連性、外国文化の影響などさまざまな視点から捉え、服飾の多様なあり方について考えます。講義形式で進めますが、適宜、教員からの質問についてグループ内でのディスカッションを行います。

## ■到達目標（学修成果）

- 1、原始・古代から近世までの日本服飾の移り変わりを理解し、説明することができる。
- 2、各時代の服飾の特質について、同時代の資料に基づいて理解し説明することができる。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門必修科目の卒業要件科目です。学芸員課程必修科目です。

## ■授業計画

| 回数  | 授業内容                       | 準備学修                         |      |
|-----|----------------------------|------------------------------|------|
|     |                            | 具体的内容（予習・復習等）                | 必要時間 |
| 1回  | 日本服飾文化史の視点                 | 予習：シラバスを読み授業概要を理解する。         | 30分  |
| 2回  | 縄文・弥生時代の服飾                 | 復習：授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。      | 90分  |
| 3回  | 古墳時代の服飾                    | 復習：授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。      | 90分  |
| 4回  | 飛鳥時代の服飾：服制のはじまりと唐風摂取       | 復習：授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。      | 90分  |
| 5回  | 奈良時代の服飾：衣服令と唐風服飾           | 復習：授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。      | 90分  |
| 6回  | 正倉院の服飾・染織                  | 復習：授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。      | 90分  |
| 7回  | 平安時代の服飾（1）：和様の開花           | 復習：授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。      | 90分  |
| 8回  | 平安時代の服飾（2）：重ね色目            | 復習：授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。      | 90分  |
| 9回  | 鎌倉・室町時代の服飾（1）武家服飾の成立       | 復習：授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。      | 90分  |
| 10回 | 鎌倉・室町時代の服飾（2）：武家服飾の発展      | 復習：授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。      | 90分  |
| 11回 | 小袖服飾の成立                    | 復習：授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。      | 90分  |
| 12回 | 安土桃山時代の服飾：武家服飾の変容と南蛮服飾     | 復習：授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。      | 90分  |
| 13回 | 江戸時代の服飾（1）：武家服制の確立と町人服飾の充実 | 復習：授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。      | 90分  |
| 14回 | 江戸時代の服飾（2）：小袖の開花           | 復習：授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。      | 90分  |
| 15回 | まとめ                        | 復習：これまでの授業内容の振り返りを行い、十分理解する。 | 150分 |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回の課題（授業内容の復習）について、次回授業時にフィードバックを行います。質問は随時受け付けます。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 授業態度・姿勢               | 20% |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 30% |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 50% |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |

■教科書 使用しません。授業の進行にあわせてプリントを配布します。

## ■参考文献

増田美子編『図説日本服飾史事典』（東京堂出版） 増田美子監修『ビジュアル日本の服装の歴史①②③』（ゆまに書房）  
その他の参考文献は授業中に紹介します。

## ■オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは初回の授業でお知らせします。 研究室：研究棟4階6042A

## ■備考

博物館や美術館に積極的に足を運び、服飾・染織の実物遺品や絵画作品などの図像資料を見学する機会を持つよう心がけて下さい。

# 表現心理学—魅力の発見、魅力の伝達—

手島 陽介

2 年 前期 必修 ( 2 単位 講義 )

## ■授業の方針・概要

本講義では、自己表現や他者理解に目を向け、その基礎・基本を、実践を含めて学習する。自分の持てる魅力や力を存分に発揮できるように表現能力を高める理論と技術を身につけることが目的である。なお、本講義は次の3点から構成している。

第Ⅰ部 表現の歴史的考察(社会心理学) 第1～3回

第Ⅱ部 表現の場面に臨んでの振る舞い(パフォーマンス心理学、ポジティブ心理学) 第4～9回

第Ⅲ部 日常生活の中での自己表現(アドラー心理学、健康心理学) 第10～13回

## ■到達目標(学修成果)

1. 表現を構成している要素が理解できる。
2. 自分自身の魅力や良さの発見、また他者理解が出来るようになる。
3. 集団の前にて自己表現ができるようになる。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件に必要な専門必須科目である。表現心理学の知識を実践的に身につけ、社会人としての基礎力・自己表現を培います。

## ■授業計画

| 回数  | 授業内容                                                                 | 準備学修                                  |      |
|-----|----------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|------|
|     |                                                                      | 具体的内容(予習・復習等)                         | 必要時間 |
| 1回  | ＜実践＞構成的グループエンカウンター(場面に応じた行動や感情を考える)[アクティブ・ラーニング]                     | 復習:グループエンカウンターの自己の気づきをプリントに書き込む。      | 30分  |
| 2回  | ＜講義＞表現の心理学とは何か、表現の歴史的考察(社会環境・人格・感情)[アクティブ・ラーニング]                     | 復習:プリントと教科書を振り返り、表現の歴史についてプリントに纏める。   | 60分  |
| 3回  | ＜実践＞テーマについてグループ毎に話し合い、「個」とは何か、「魅力」とは何かを考える[アクティブ・ラーニング]              | 予習:グループワークのテーマを考え、授業の準備をする。           | 60分  |
| 4回  | ＜講義＞自己表現を支える考え方(日本文化と自己表現、適応的無意識)[アクティブ・ラーニング]                       | 復習:12の権利と表現の定義について振り返り、ノートに纏める        | 60分  |
| 5回  | ＜講義＞自己開示と自己呈示①(自己表現と成長、自己一致と不一致)[アクティブ・ラーニング]                        | 復習:自己表現と羞恥性について日常の体験からワークを纏める         | 60分  |
| 6回  | ＜講義＞自己開示と自己呈示②(社会的な自己と他者、自己概念)[アクティブ・ラーニング]                          | 復習:社会的な自己と他者について日常の体験からワークを纏める        | 60分  |
| 7回  | ＜講義＞コミュニケーションの要素(対人コミュニケーション)[アクティブ・ラーニング]                           | 復習:コミュニケーションの要素について、日常と照らし合わせ例を考える    | 30分  |
| 8回  | ＜講義＞非言語的メッセージを考える(ボディランゲージ・フェイスランゲージ)[アクティブ・ラーニング]                   | 復習:日常場面で、非言語的メッセージでのやりとりを実践する         | 30分  |
| 9回  | ＜実践＞グループ毎にてテーマを決めて心理劇にて表現する[アクティブ・ラーニング]                             | 予習:グループワークのための、テーマや内容、構成を考え授業の準備をする   | 60分  |
| 10回 | ＜講義＞魅力とは何か(アドラー心理学、自己決定性、劣等感、コンプレックス)[アクティブ・ラーニング]                   | 復習:本日の内容を復習し、ワークを纏める                  | 60分  |
| 11回 | ＜講義＞不安・ストレスなどの感情への対処について考える(アドラー心理学、目的論、認知論、共同体感覚、勇気づけ)[アクティブ・ラーニング] | 復習:不安やストレス体験について、日常と照らし合わせワークを纏める     | 30分  |
| 12回 | ＜講義＞アサーション技法(自己主張、アサーションについての考え方を理解する)[アクティブ・ラーニング]                  | 復習:アサーション技法について実践をし、気づきをプリントに纏める      | 30分  |
| 13回 | ＜実践＞ディベートを通して、アサーション技法を取り入れ実践する(アサーティブな感情表現を考える)[アクティブ・ラーニング]        | 予習:ディベートの内容について、情報を収集し授業に取り組む         | 90分  |
| 14回 | 本授業でのまとめ課題と小テスト                                                      | 予習:これまでの授業プリント、教科書、ワークを振り返り、テストの準備をする | 90分  |
| 15回 | まとめ 課題や小テストのフィードバックを行う                                               | 復習:返却された課題、テストを振り返り、全15回の授業内容を振り返る    | 60分  |

## ■フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

15回目に課題についての解説とテストの返却をし、本授業のまとめをする。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 授業態度・姿勢               | 30% |
| 授業内試験・課題(プレゼンテーション含む) | 70% |
| 期末試験・課題(プレゼンテーション含む)  | 0%  |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |

## ■教科書

進行に合わせてプリントを配布する。

## ■参考文献

平木典子『アサーション入門—自分も相手も大切にする自己表現法』講談社

佐藤綾子『非言語的パフォーマンス—人間関係をつくる表情・しぐさ』東信堂

その他、必要に応じて授業時に文献を紹介する。

## ■オフィスアワー・研究室

前期:水曜日(12:00-15:00)研究室 後期:水曜日(12:00-15:00)研究室

【連絡研究室】心理学研究室(研究棟1階 6015)

## ■備考 毎時間、プリントと教科書を準備してください

## 身体表現Ⅱーパフォーマンスー

中村 蓉

2年 前期 必修 ( 1単位 演習 )

## ■授業の方針・概要

1. 前半は主に「身体と感情・言葉・環境の関係性」を探究し、J ポップ・歌謡曲・洋楽の歌詞、小説の一節、映画のワンシーンなどをヒントに、自分だけが持つユニークな身体感覚と身体への意識を起し、身体を自由にコントロールする楽しさを知る為のワークショップを実施する。
  2. 後半は前半で培った身体表現への理解を基に、創作と発表を実施する。
- この授業では身体表現Ⅰをふまえ、授業担当のダンサー・振付家・演出家としての実務経験を活かし、あらゆるパフォーマンスの軸となる上記二点の経験を通し、身体表現の知識を深める。

## ■到達目標（学修成果）

1. 身体への感覚を培うと共に身体機能への知識を深め、自分の身体や感情に対する興味の幅を広げる。また身体の機能にイメージを加えることにより身体表現の幅が広がることを実感し、最終的に「身体への知識」と「想像力」を融合させダンス作品創作に挑戦し、観る側に提示することをできるようにする。
2. 身体を作品の素材として捉え「コンセプト」「言葉」「身体」を繋げることで小作品の創作を行い、発表を通し作品のコンセプトを観る側に伝えることを目標とする。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目であり、必修科目である。服飾の根幹である「身体」について実際に身体を動かすことにより得る体感的知識は、全専攻の礎として、表現物の支持体となり活かされていく。

## ■授業計画

| 回数  | 授業内容                                            | 準備学修                                                  |           |
|-----|-------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|-----------|
|     |                                                 | 具体的内容（予習・復習等）                                         | 必要時間      |
| 1回  | 身体感覚と意識を起こすワークショップ①<br>～見たことのない自分の「背中」を認識する～中村  | 予習:知っているダンスのジャンルを挙げる。好きな振付（CMやMVなど）があれば列挙する。          | 20分       |
| 2回  | 身体感覚と意識を起こすワークショップ②<br>～歌詞をヒントに身体にイメージを加えて動く～中村 | 予習:好きな音楽（歌詞ありなし問わず）を挙げる。心に残っている印象的な歌詞を列挙する。           | 20分       |
| 3回  | 身体感覚と意識を起こすワークショップ③<br>～他者の身体を使い身体への意識を深める～中村   | 予習:生活の中で前を歩く人と同じリズムで歩いてみる。場所による人との距離の違いを意識。（ex. 満員電車） | 20分       |
| 4回  | 身体と動きのメカニクスを学ぶレッスン①<br>～分解し組み立て直して立つ～平田         | 予習:自分の靴底の減り方をチェックする。<br>復習:授業で行った身体分割のワークを実習。         | 5分<br>15分 |
| 5回  | 身体と動きのメカニクスを学ぶレッスン②<br>～四肢の動きはどこから始まるか～平田       | 復習:授業で行った身体分割のワーク、および重心認識のワークを実習。                     | 20分       |
| 6回  | ダンスムーブメントの基礎レッスン①<br>～曲げる、捻る、放る、回る、跳ぶ～平田        | 復習:授業で行った身体分割のワーク、重心認識のワーク、および四肢コントロールのワークを実習。        | 20分       |
| 7回  | ダンスムーブメントの基礎レッスン②<br>～リズムを打つ～平田                 | 復習:授業で行った身体分割のワーク、重心認識のワーク、および四肢コントロールのワークを実習。        | 20分       |
| 8回  | ダンスムーブメントの基礎レッスン③<br>～空間に位置と方向を描く～平田            | 復習:授業で行った身体分割のワーク、重心認識のワーク、および四肢コントロールのワークを実習。        | 20分       |
| 9回  | 身体感覚と意識を起こすワークショップ④<br>～世界の振付家の作品を観る～中村         | 予習:これまでに観たことのある舞台作品を列挙する。                             | 20分       |
| 10回 | 身体感覚と意識を起こすワークショップ⑤<br>～日本の振付家の作品を観る～中村         | 予習:前々回の授業で紹介した振付家の中で、気になった振付家や作品についてさらに調べる。           | 20分       |
| 11回 | 身体感覚と意識を起こすワークショップ⑥<br>～創作瞬発力チャレンジ・コンセプトを伝える～中村 | 予習:生活の中の「出会いと別れ」を探す。                                  | 20分       |
| 12回 | 小作品創作のグループ分け<br>作品内容の共有と創作方法の話し合い               | 予習:興味のあるテーマを考える。                                      | 20分       |
| 13回 | 創作                                              | 予習:コンセプトを表現する為に必要な言葉や動きを考える。                          | 30分       |
| 14回 | 創作仕上げ発表                                         | 予習:本番前の身体のケア（ストレッチなど）・作品の練習                           | 30分       |
| 15回 | 発表つづき/講評                                        | 予習:作品を踊り切った感触・感想を言葉にまとめる                              | 30分       |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

身体の動きについては都度その場でフィードバックを行う。コンセプトシートについてはシートを回収しフィードバックを記して返却する。創作の小作品については中間発表と14、15回目の講評にて発表後に口頭で行う。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |                                                                                 |
|-----------------------|-----|---------------------------------------------------------------------------------|
| 授業態度・姿勢               | 30% | 身体機能への理解度・コントロール力<br>全体の授業を通し身体の動きを見て判断する。<br>創作力・発想力<br>即興の動きとコンセプトシートにより評価する。 |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 70% |                                                                                 |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 0%  |                                                                                 |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |                                                                                 |

■教科書 必要に応じて、資料を配布する。

■参考文献 必要に応じて、資料を配布する。

■オフィスアワー・研究室 初回授業で伝える。

■備考 動きやすい服装（スカート不可）での参加。ジャージを持参し着替えること推奨。

## 空間構成Ⅰ

千代崎 寛

2年 前期 必修 (1単位 演習)

## ■授業の方針・概要

服飾表現学科の専門分野それぞれに共通するテーマである「空間」についての実験と考察を繰り返し行う。理論的な知識にとどまらず自らの五感を使い身体感覚としての空間意識を獲得していく。メモやスケッチ、画像・映像撮影の記録を各自まとめた「ノート」を課題の軸とする。この授業では特に舞台や店舗における空間構成を主なモチーフとして取り上げていく。日野校舎の環境を最大限に活用し他の科目と横断しながら表現の基礎となる造形力や発想力を養成していく。

## ■到達目標（学修成果）

- 1.各専門分野に共通する課題である「空間」について基礎的な考え方やアプローチを行う力を身に付けることが可能となる
- 2.実験・演習とノートによる記録を通して「空間」の重要性について考察や理解ができる
- 3.スタジオ設備とデジタル制作環境の活用によって「空間」を多角的にとらえることができる

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門必修科目で卒業要件科目の単位となります。ディプロマポリシー（学位授与の方針）については「空間構成Ⅰ」は服飾表現の分野で企画・提案や実際の現場において活躍できる専門力向上に資する科目です。

## ■授業計画

| 回数  | 授業内容                                                      | 準備学修                             |      |
|-----|-----------------------------------------------------------|----------------------------------|------|
|     |                                                           | 具体的内容（予習・復習等）                    | 必要時間 |
| 1回  | オリエンテーション・授業概説と導入<br>服飾表現と空間の関係について～ 課題「ノート」について          | 復習：配布資料（授業概要、授業計画など）の内容を熟読しておく。  | 30分  |
| 2回  | 演習①_1「身体スケールからの考察」<br>課題① フィールドワーク①「身体・視点」                | 予習：「ノート」準備<br>復習：フィールドワーク①画像撮影   | 60分  |
| 3回  | 演習①_2「単位（ものさし）についての考察」<br>自身の身体スケールから身の回りの空間の関係をはかる       | 復習：フィールドワーク①画像撮影・プレゼンテーション用ボード準備 | 60分  |
| 4回  | 課題①プレゼンテーションとディスカッション・講評<br>「ノート」提出                       | 予習：演習②へむけてのリサーチ                  | 90分  |
| 5回  | 演習②_1「光と影の演出①」（スタジオ・ライティング演習）<br>課題② フィールドワーク②「街・視点」      | 復習：フィールドワーク②画像撮影                 | 60分  |
| 6回  | 演習②_2「光と影の演出②」（スタジオ・ライティング演習）                             | 復習：フィールドワーク②画像撮影・プレゼンテーションボード準備  | 90分  |
| 7回  | 課題②プレゼンテーションとディスカッション・講評<br>「ノート」提出                       | 予習：演習③へむけて舞台・店舗のリサーチ             | 60分  |
| 8回  | 演習③「舞台・店舗空間」（平面から立体へ・背景から）<br>課題③_1 グループワーク「撮影背景のための美術制作」 | 予習：美術制作（素材）のリサーチ<br>復習：課題③の制作・記録 | 90分  |
| 9回  | 課題③_2 グループワーク「撮影背景のための美術制作」                               | 予習：美術制作（技術）のリサーチ<br>復習：課題③の制作・記録 | 90分  |
| 10回 | 課題③_3 グループワーク「撮影背景のための美術制作」<br>スタジオでの撮影                   | 復習：課題③の制作・記録・プレゼンテーションボード準備      | 60分  |
| 11回 | 課題③プレゼンテーションとディスカッション・講評<br>「ノート」提出                       | 予習：演習④へむけて街のリサーチ                 | 60分  |
| 12回 | 演習④「空間プランニング」（仮設空間を使った提案）<br>課題④_1 グループワーク「マケット制作」        | 復習：課題④の制作・記録                     | 60分  |
| 13回 | 課題④_2 グループワーク「マケット制作」                                     | 復習：課題④の制作・記録                     | 60分  |
| 14回 | 課題④_3 グループワーク「マケット制作」<br>スタジオでの撮影                         | 復習：課題④の制作・記録・プレゼンテーションボード準備      | 90分  |
| 15回 | まとめ・展開 課題④プレゼンテーションとディスカッション・講評<br>「ノート」提出                | 予習：プレゼンテーション準備<br>復習：夏期課題・空間構成Ⅱへ | 60分  |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

ディスカッションと研究ノート・課題返却のコメント、プレゼンテーションの講評などで授業内にて随時フィードバックを行う。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 授業態度・姿勢               | 10% |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 45% |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 45% |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |

## ■教科書

なし

## ■参考文献

授業の進行にあわせて、プリントなどで適宜配布する。

## ■オフィスアワー・研究室

空間構成研究室（日野校舎）基本的には授業実施時間の前後に設ける。目黒校舎でのオフィスアワーは別途掲示する。

## ■備考

表出されるイメージは過去にみた「もの・こと」からのみ産み出される。イメージを Output し続けるためには常に Input し続ける必要がある。その円環する環境・システムを自分の中に構築して欲しい。

# 画像表現

中野 希大

2年 前期 必修 (1単位 演習)

## ■授業の方針・概要

服飾表現における「ファッション写真」について考え、その表現に取り組みます。プライベートフォト、ストリートスナップ、ルックブック、コマーシャルフォト、ビジュアルブックなど、順を追って実践し、それぞれのイメージ構築を行っていきます。また、各自のテーマに沿ったコンテンツ収集と編集を通して、今日の様々なメディア表現を探ります。

## ■到達目標（学修成果）

- ①カメラを熟知し、目的に合わせてコントロールして撮影できるようになる。
- ②写真（画像）を様々なメディアの表現形式に合わせて活用できるようになる。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、必修科目の卒業要件科目となります。服飾文化において、イメージ発信者の基礎知識として活きる科目です。

## ■授業計画

| 回数  | 授業内容                                               | 準備学修                                 |      |
|-----|----------------------------------------------------|--------------------------------------|------|
|     |                                                    | 具体的内容（予習・復習等）                        | 必要時間 |
| 1回  | Theme1 プライベートフォト 課題提示                              | 復習：課題の内容を考え、身近な撮影対象を決める。制作準備を進める。    | 60分  |
| 2回  | Theme1 プライベートフォト アクティブ・ラーニング（編集・制作）                | 制作：プライベートフォトの撮影、セレクトに取り組む。           | 60分  |
| 3回  | Theme1 プライベートフォト 提出 アクティブ・ラーニング（プレゼンテーション）         | 制作：プライベートフォトの編集、レタッチに取り組む。           | 30分  |
| 4回  | Theme2 ストリートスナップ 課題提示                              | 復習：課題の内容を考え、学内外の撮影対象を決める。制作準備を進める。   | 60分  |
| 5回  | Theme2 ストリートスナップ アクティブ・ラーニング（編集・制作）                | 制作：ストリートスナップの撮影、セレクトに取り組む。           | 60分  |
| 6回  | Theme2 ストリートスナップ 提出 アクティブ・ラーニング（プレゼンテーション）         | 制作：ストリートスナップの編集に取り組む。                | 30分  |
| 7回  | Theme3 ルックブック 課題提示                                 | 復習：ブランドを想定し、服、モデルなど撮影対象、ページ構成を決める。   | 60分  |
| 8回  | Theme3 ルックブック アクティブ・ラーニング（編集・制作）                   | 制作：モデルの撮影、セレクトに取り組む。                 | 60分  |
| 9回  | Theme3 ルックブック 提出 アクティブ・ラーニング（プレゼンテーション）            | 制作：ルックブックのレイアウトに取り組む。                | 30分  |
| 10回 | Theme4 コマーシャルフォト 課題提示                              | 復習：広告の内容を考え、学内外の撮影対象を決める。制作準備を進める。   | 60分  |
| 11回 | Theme4 コマーシャルフォト アクティブ・ラーニング（制作）                   | 制作：コマーシャルフォトの撮影、セレクトに取り組む。           | 60分  |
| 12回 | Theme4 コマーシャルフォト 提出 アクティブ・ラーニング（プレゼンテーション）         | 制作：コマーシャルフォトのレタッチ、構成に取り組む。           | 30分  |
| 13回 | Theme5 各自のテーマによるビジュアルブック 課題提示                      | 復習：各自のテーマに沿って、撮影によるコンテンツ収集など制作準備をする。 | 60分  |
| 14回 | Theme5 各自のテーマによるビジュアルブック アクティブ・ラーニング（編集・制作）        | 制作：各メディア表現に合わせた撮影、編集作業などに取り組む。       | 60分  |
| 15回 | Theme5 各自のテーマによるビジュアルブック 提出 アクティブ・ラーニング（プレゼンテーション） | 復習：各メディア表現に合わせた仕上げ作業に取り組む。           | 30分  |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

提出課題については、授業内講評あるいは返却時にコメントを添付する。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |                            |
|-----------------------|-----|----------------------------|
| 授業態度・姿勢               | 30% |                            |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 70% | ポートフォリオ作品 50%、メディア表現作品 20% |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 0%  |                            |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |                            |

## ■教科書 特に指定しない。

## ■参考文献

写真の教科書、Photoshop、Illustrator の入門書など、各自のスキルに合わせて持っているといよい。

## ■オフィスアワー・研究室

前期：月・火曜日（12時10分～12時50分）表現演習研究室（第3校舎1階） または本校舎1階教務課

後期：木曜日（12時10分～12時50分）表現演習研究室（第3校舎1階） または本校舎1階教務課

## ■備考

- ・ カメラを各自で用意すること。デジタル一眼レフやミラーレス一眼を推奨する。ただし、課題や制作内容に合わせてフィルムカメラを含め様々なカメラを使い分けることは構わない。
- ・ 教室のプリンタ使用は原則として授業時間内に行うこと。

# ドローイング・構想

瀬古 徹

2年 前期 必修 (1単位 演習)

## ■授業の方針・概要

1. 「図発想」の能力を養う →図を描くことにより発想をし、又、発想を具体化するために図を描く。  
「描かなければ、思いつかない！」
2. 「図表現」の能力を養う →図を言語のように、或いは、それ以上にあつかうために。  
「描いたものは、伝わらなくてはならない！」

ものごとを表現する人にとって、「描く」ことが、生活の中で日常化していなくてはならない。描画を通して“思い描く”能力を鍛えて行く。具体的には、絵コンテ、デザイン画、プランニングなどを通して“描くこと”をコミュニケーションの道具に変えていく過程を学んでいく。

## ■到達目標（学修成果）

1. 「観察力」もとづく「発想力」を喚起させる能力を身に付けことを可能とする。
2. 「イラストによる企画書作成(デザインイメージを含む)」の能力を身に付けることを可能とする

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目であり、必修科目である。服飾表現の根幹である「描くこと⇔思い描くこと」の体感的知識は、全専攻の礎として、表現におけるツールとして活かされていく。

## ■授業計画

| 回数  | 授業内容                                                                                      | 準備学修                                                      |      |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|------|
|     |                                                                                           | 具体的内容（予習・復習等）                                             | 必要時間 |
| 1回  | オリエンテーション 日常の、ものに対する視点（ものの見方、見え方）について、創作者倫理について                                           | 復習；シラバス内容の確認                                              | 30分  |
| 2回  | ・「人物」ー簡素な形態表現（出題）→幾何形態の構成による（20点描いて1点を選ぶ） [アクティブラーニング(A.L)]<br>・専攻による『それぞれの企画書』①説明、導入（出題） | 予習；スケッチブック、ペンの準備<br>復習；ピクトグラム、参考作品確認<br>復習；「企画書」作成開始、リサーチ | 60分  |
| 3回  | ・絵コンテ①（コマーシャルの逆絵コンテ）10コマ（出題）<br>・「人物」（提出）プレゼンテーション、講評 [A.L]                               | 予習；「人物」の作成<br>復習；TVCMの分析、絵コンテの作成                          | 45分  |
| 4回  | ・スタイリング①（出題）言語によるデザイン画（3点）、感性の言語化、言語の感性化 [A.L]<br>・専攻による『それぞれの企画書』②途中、プランニング              | 予習；自分の希望専攻による専門の将来プランニング<br>復習；言語によるデザイン画作成               | 45分  |
| 5回  | ・絵コンテ②（提出）プレゼンテーション、講評 [A.L]<br>・空間把握ー1①（出題）「自分の部屋の見取り図」                                  | 予習；絵コンテの完成<br>復習；自分の部屋の測量、見取り図作成                          | 45分  |
| 6回  | ・スタイリング②（提出）プレゼンテーション、講評 [A.L]<br>・衣装表現ー触覚①（出題）フロッターージュで発想（3点）                            | 予習；スタイリングの完成<br>復習；フロッターージュドローイング作成                       | 45分  |
| 7回  | ・空間把握ー1②（提出）プレゼンテーション、講評 [A.L]<br>・空間把握ー2①（出題）自分の部屋の舞台装置化                                 | 予習；空間把握ー1の完成<br>復習；自分の部屋の空間カテゴライズ                         | 45分  |
| 8回  | ・衣装表現ー触覚②（提出）プレゼンテーション、講評 [A.L]<br>・プレゼンイラスト①（出題）「親しい人の逆デザイン」                             | 予習；フロッターージュドローイング完成<br>復習；モチーフ選出、視点の提案、作成                 | 45分  |
| 9回  | ・空間把握ー2②（提出）→プレゼンテーション、講評 [A.L]<br>・専攻による『それぞれの企画書』③途中、プランニング                             | 予習；空間把握ー2の完成<br>復習；「企画書」、素材の質検討                           | 45分  |
| 10回 | ・専攻による『それぞれの企画書』④ブラッシュアップ [A.L]                                                           | 予習；「企画書」、素材の質検討<br>復習；「企画書」、素材の質、ページ構成                    | 45分  |
| 11回 | ・専攻による『それぞれの企画書』⑤ブラッシュアップ<br>・プレゼンイラスト②（検証） [A.L]                                         | 予習；プレゼンテーションイラスト完成<br>復習；モチーフ選出、視点の提案、作成                  | 45分  |
| 12回 | ・専攻による『それぞれの企画書』⑥ブラッシュアップ [A.L]                                                           | 予習；「企画書」、レイアウトの考察                                         | 45分  |
| 13回 | ・専攻による『それぞれの企画書』⑦ブラッシュアップ [A.L]                                                           | 予習；「企画書」、視点の強化の考察<br>復習；「企画書」、視点の強化の再確認                   | 45分  |
| 14回 | ・プレゼンイラスト「親しい人の逆デザイン」③ →プレゼンテーション、講評 [A.L]                                                | 予習；プレゼンテーションイラスト完成<br>復習；「企画書」、最終確認                       | 45分  |
| 15回 | ・『それぞれの企画書』⑧プレゼンテーション、講評<br>・まとめ→「発想」、「構想」、「企て」について [A.L]                                 | 予習；「企画書」の完成、プレゼン準備                                        | 45分  |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回の作品をプレゼンテーション時に授業内で講評、解説する。また、必用に応じて作品の全体的な評価点、問題点等を優秀作品の抜粋等により解説する。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |                 |
|-----------------------|-----|-----------------|
| 授業態度・姿勢               | 30% | 出席状況、取り組みの姿勢等   |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 70% | 通常作品、プレゼンテーション等 |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 0%  |                 |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |                 |

■教科書 授業の進行に合わせて、必要な場合プリントを配付する

■参考文献 必要に応じて授業時に指示

■オフィスアワー・研究室 オフィスアワーの曜日、時間は授業内で指示。連絡研究室：大学表現演習研究室(第3校舎1階)

■備考 なし



# グラフィックデザインⅡ

土屋 純一

2年 前期 必修 (1単位 演習)

## ■授業の方針・概要

現在、グラフィックデザインの領域は紙媒体から Web を中心とした電子媒体へ移行しつつある。紙媒体と Web などでは使用するアプリケーションや画像の形式、形態なども異なり違ったスキルが要求されるが、グラフィックデザインⅡではⅠで身につけた知識と Photoshop や Illustrator のスキルをもとに Web ページのデザインにも対応できる力を身につけてゆく。具体的には基本的な構造や html、css などの知識を理解し、Dreamweaver を使用して Web ページのフレームワークから動的なプロトタイプまでを制作することで、視覚的のみならず構造的なデザインについても理解を深める。

## ■到達目標（学修成果）

単にアプリケーションが使えるようになるのではなく、Web ページの仕組みを理解し、UI/UX だけでなくコーディングも意識したデザインができる基本的な力を身に付けることを目標とする。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業認定に必要な科目である。全専攻において、現在増えつつある電子媒体を使ったプレゼンテーションなどの情報発信に必要なデザイン能力を身につける為の授業である。

## ■授業計画

| 回数  | 授業内容                                                          | 準備学修                                           |       |
|-----|---------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|-------|
|     |                                                               | 具体的内容（予習・復習等）                                  | 必要時間  |
| 1回  | Web ページについて／仕組みや構造の基本、画像形式、画像処理、解像度、色について。                    | 復習：Web 上で使用される画像形式やその特徴、制作方法などについて。            | 60 分  |
| 2回  | Web ページについて／既成のページ解析を通してファイル構造等を理解する。                         | 復習：Web ページの仕組みの再確認。<br>予習：html について。           | 60 分  |
| 3回  | html について／タグの基本。使い方。ページ構築。                                    | 復習：タグの確認。<br>予習：css について。                      | 60 分  |
| 4回  | css について(1)/基本。使い方。                                           | 復習：html の完成。<br>予習：css の応用について。                | 60 分  |
| 5回  | css について(2)/応用。アクティブ・ラーニング                                    | 復習：css の意味と機能の確認。<br>予習：html と css の関係について。    | 60 分  |
| 6回  | css について(3)/css によるページデザイン。アクティブ・ラーニング                        | 復習：課題ページの完成。<br>予習：web ページに使用する素材準備。           | 180 分 |
| 7回  | Web デザイン(1)／自己作品をもとにした web ページの制作。確認テスト。アクティブ・ラーニング           | 復習：基本ページのレイアウトの完成。<br>予習：レスポンス対応について。          | 60 分  |
| 8回  | Web デザイン(2)／自己作品をもとにした web ページの制作。レスポンス対応。アクティブ・ラーニング         | 復習：レスポンス対応処理。<br>予習：各種リンクについて。                 | 60 分  |
| 9回  | Web デザイン(3)／自己作品をもとにした web ページの制作。リンクの設定。アクティブ・ラーニング          | 復習：自己作品の Web ページを完成させる。<br>予習：Dreamweave について。 | 60 分  |
| 10回 | Web デザイン(4)／Dreamweaver について。                                 | 復習：Dreamweaver のツールについて。<br>予習：必要な素材を準備する。     | 60 分  |
| 11回 | Web デザイン(5)／Dreamweaver によるページ制作。プロフィールページの制作。アクティブ・ラーニング     | 復習：Dreamweave の基本操作について。<br>予習：プロフィールページの準備。   | 60 分  |
| 12回 | Web デザイン(6)／Dreamweaver によるページ制作。CSS デザイナーパネルの活用法。アクティブ・ラーニング | 復習：プロフィールページを完成させる。<br>予習：Dreamweave の機能について   | 60 分  |
| 13回 | Web デザイン(7)／Dreamweaver によるレスポンスページの制作。アクティブ・ラーニング            | 復習：レスポンス対応処理。<br>予習：最終評価課題の対策。                 | 60 分  |
| 14回 | Web デザイン最終評価課題。アクティブ・ラーニング                                    | 復習：不具合を確認、修正。課題の完成。<br>予習：ファイルのまとめ。            | 60 分  |
| 15回 | Web ページ公開、全作品の鑑賞、講評。ファイル提出                                    | 復習：Web ページの分析。                                 | 60 分  |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題ごとに個別講評を行う。作品はすべてデータで提出されたものを採点する。提出作品は学内システム内で公開。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |                |
|-----------------------|-----|----------------|
| 授業態度・姿勢               | 30% | 出席状況、取り組みの姿勢   |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 70% | 理解度、通常作品、ファイル等 |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 0%  |                |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |                |

■教科書 特に指定しないが授業ごとに紹介し、プリントを配布する。

## ■参考文献

世界一わかりやすい Dreamweaver 操作とサイト制作の教科書 CC 対応（技術評論社）、  
デザインの学校／これからはじめる HTML & CSS の本（技術評論社）

## ■オフィスアワー・研究室

月曜日、火曜日（12 時 10 分～12 時 50 分） 連絡研究室 大学表現演習研究室（第三校舎 1 階）

## ■備考

授業に必要な教材はプリント等で配布するが、さらに高度な内容を解説書などで参照して自主的に学習すること。プリント類はすべてファイリングし、授業に毎回持参すること。

# 服飾表現演習

大町 志津子・角倉 典彦・中島 ゆう子・中村 のん

2年 前期 必修 (2単位 演習)

## ■授業の方針・概要

自分の専門の系を2年後期に選択するための全系オムニバス授業です。各業界で実務をしている4名の担当者による授業です。

角倉：「メディア表現」の入門編として映像制作の基本を、現役のTVディレクターとカメラマンの解説・指導による演習授業として学ぶ。

大町：「衣装表現」に必要な知識と表現力とは何かを、写真や映像などで学び実際に形にしていける基礎力を養う。

中村：スタイリストとは具体的にどのような仕事か。その概要と、プロになるために必要なものは何かについて学ぶ。

中島：VMDの基本を学び、店作りの重要性を理解する。授業担当者の経験に基づき、世界、国内のVMDのあり方を修得できるようにする。

## ■到達目標（学修成果）

角倉：映像制作のプロセスの基本を理解し、企画、撮影、編集の実践的基本ワークの基礎修得を目標とする。

大町：衣装デザイナーに必要な基本的な知識を得て、各時代のスタイルを理解しデザインできるようにする。

中村：スタイリストに必要な基本的な知識を得て、プロとしての仕事に繋げていけるようにする。

中島：ビジュアルマーチャンダイジングの基本を学ぶことで最低限度の用語、知識を学び店作りが分かるようになる。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目で必修科目。2年後期の専門の系を選ぶためにこの授業を受けることにより、全ての系の授業内容を把握します。

## ■授業計画

| 回数  | 授業内容                                                         | 準備学修                                       |      |
|-----|--------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|------|
|     |                                                              | 具体的内容（予習・復習等）                              | 必要時間 |
| 1回  | 4専攻合同でのオリエンテーション・ガイダンス、質疑応答                                  | 復習：授業内で指示する                                | 30分  |
| 2回  | 中村：スタイリストとは。その歴史、仕事内容について。質疑応答あり。人の魅力を見つけるワークショップ            | 復習：感想レポートを提出                               | 30分  |
| 3回  | 角倉：ファッション映像の実例の提示と映像制作の基本1 企画立案と撮影絵コンテ、簡単な撮影の演習。             | 予習：自分のカメラの動画撮影マニュアルの確認<br>復習：撮影技術復習        | 60分  |
| 4回  | 中島：ビジュアルマーチャンダイジングの基本を解説。視覚に訴える店づくりとマーチャンダイジングの必要性を学ぶ。       | 復習：分かりやすいVMDのコピーを配布する基本を覚える                | 45分  |
| 5回  | 大町：衣装デザイン・衣装表現について写真や動画などで観ていく。次回制作予定の帽子についての説明。レポート作成       | 復習：レポート作成<br>予習：帽子制作に向けての準備                | 30分  |
| 6回  | 専攻を横断した合同演習                                                  | 予習：適宜指示する<br>復習：適宜指示する                     | 30分  |
| 7回  | 中村：映像から学ぶファッションの世界についての講義。参考映画（予定）「ココ・シャネル」                  | 復習：関連映画を観る。感想レポートを提出                       | 120分 |
| 8回  | 角倉：映像制作の基本2 /課題のグループ制作 デジタル編集入門 プレミアの初歩演習 課題編集               | 予習：パソコン操作の基本<br>復習：取込み素材の課題編集              | 180分 |
| 9回  | 中島：嫌いなスタイリング、好きなスタイリングのイメージ画像を集める。コーディネートさせ、ファッション雑貨も含め提出する。 | 予習：Pinterestをネットで開き、VMD、ディスプレイに関連する写真を見ておく | 45分  |
| 10回 | 大町：帽子制作に向けてのイメージ作り。デザイン画を描き制作。デザイン相談                         | 予習：帽子のデザイン画を描く<br>復習：帽子を完成させる              | 30分  |
| 11回 | 専攻を横断した合同演習                                                  | 予習：適宜指示する<br>復習：適宜指示する                     | 30分  |
| 12回 | 中村：スタイリング実践。担当教員による実践と講義のあと、学生が実践し、その場でフィードバック               | 準備：上下ともに黒の服を着用。服と小物を持参<br>復習：感想レポートを提出     | 60分  |
| 13回 | 角倉：映像制作の基本3 スタジオでの特撮と機材の使い方。課題作品講評                           | 予習：取込み素材の課題編集<br>復習：自作ビデオの制作               | 60分  |
| 14回 | 中島：温度差による着こなしの違いをマップで提出。夏向け30℃のコーディネート、冬場5℃のコーディネートをマップに作成。  | 予習：雑誌の切り抜き。<br>復習：PCを使って作成。                | 45分  |
| 15回 | 大町：プレゼンテーション・ディスカッション・講評 帽子の変化やスタイルについての講義 レポート作成。           | 予習：帽子の完成<br>復習：レポート作成                      | 30分  |

※授業スケジュールの日程と内容については変更がある可能性があります。

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

大町・中村：授業の終わりに小レポートを作成し提出後添削して返却します。提出方法は授業内で指示します。

中島：小テストの添削、返却は授業内で指示します。角倉：課題に対しては授業内で講評します。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 授業態度・姿勢               | 30% |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 70% |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 0%  |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |

## ■教科書 大町・角倉・中村：特に指定しないが紹介または紹介またはプリント配布する。

中島：中島ゆう子著書の教科書のコピーを使いVMD用語を覚える。

## ■参考文献 大町：三省堂図解ライブラリー ファッションの歴史 ピエロ・ヴェントゥーラ/文・画・徳井淑子「図説ヨーロッパ服飾史」

中島：店づくり&ディスプレイ 商業界発刊 掛川幸代氏著書の本を使い具体的な手法を学ぶ

中村：DVD「ココ・シャネル」

## ■オフィスアワー・研究室

それぞれ担当者の第1回目の授業に指示する。

## ■備考 大町・角倉・中島・中村：予習・復習の時間は各自必要に応じて増減すること

## 色材演習

土屋 純一

2年 後期 必修 (1単位 演習)

## ■授業の方針・概要

素材の色彩と材質感についての観察、発見、収集、分類、検証、構成を行う。具体的には布素材のみならず、ひろく身の回りの「モノ・コト」に眼を向けたフィールドワークから「オリジナルな色と質の資料」を制作し、平面、立体デザインへと応用する。そして将来「素材からのデザインの提案～展開」が出来る視点や可能性を準備する。

## ■到達目標（学修成果）

造形を行う際の素材の選択や、その特徴を生かした表現方法など色彩と質の構造について理解し、今後の服飾造形表現に応用する素材活用ができるようになる力を養う。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業認定に必要な科目である。造形表現における素材の色彩と材質に対する知識と発想力を高める為の授業である。

## ■授業計画

| 回数  | 授業内容                                                              | 準備学修                                  |      |
|-----|-------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|------|
|     |                                                                   | 具体的内容（予習・復習等）                         | 必要時間 |
| 1回  | 導入／授業概要。「フィールドワーク」の目的、方法。イメージと素材との関係。                             | 復習：ファイル準備。<br>予習：フィールドワークによる素材調査。     | 60分  |
| 2回  | 講義／「視覚と触覚／色材と表現方法」、フィールドワークの状況確認。                                 | 復習：色材、作品、作家研究。<br>予習：フィールドワークによる素材収集。 | 90分  |
| 3回  | 演習①「サンプリング～資料制作」／収集、分類。アクティブ・ラーニング                                | 復習：色彩と質感のリサーチ。<br>予習：素材収集と分類。         | 60分  |
| 4回  | 〃／色と材質感。アクティブ・ラーニング                                               | 復習：色彩と質感のリサーチ。<br>予習：素材と言葉の収集。        | 60分  |
| 5回  | 〃／素材の分類。アクティブ・ラーニング                                               | 復習：色彩と質感と言葉のリサーチ。<br>予習：素材と言葉の収集。     | 60分  |
| 6回  | 〃／色とイメージの分類。色や質を表す言葉。アクティブ・ラーニング                                  | 復習：色彩と質感と言葉のリサーチ。<br>予習：素材収集と分類。      | 60分  |
| 7回  | 講義／「集積した色と質」演習②「サンプリング&リミックス～イメージからの展開」／導入～構造と構成。※演習①講評。          | 復習：作家研究。色彩と質感のリサーチ。<br>予習：素材収集と分類。    | 90分  |
| 8回  | 〃／イメージからの素材の選択、色の分析。色彩表現と質感表現の技法。アクティブ・ラーニング                      | 復習：色彩と材質の再考察。<br>予習：素材収集と分類。          | 60分  |
| 9回  | 〃／織りによる平面構成。アクティブ・ラーニング                                           | 復習：構造と構成の再考察。<br>予習：素材収集と分類。          | 60分  |
| 10回 | 演習③「サンプリング&リミックス～立体への展開」／色の立体構成・質の変化。※演習②講評。アクティブ・ラーニング           | 復習：準備課題「質の変化」完成。<br>予習：素材と画像の収集。      | 60分  |
| 11回 | 〃／重層構造による立体表現。アクティブ・ラーニング                                         | 復習：立体表現としての材料の選択。<br>予習：素材と画像の収集。     | 60分  |
| 12回 | 〃／立体的な視点からのデザイン構成。アクティブ・ラーニング                                     | 復習：立体的な視点からの自己作品の分析。<br>予習：素材と画像の収集。  | 60分  |
| 13回 | 演習④「サンプリング&リミックス～質のデザイン」／色と材質感のプレゼンテーション。オノマトペ。※演習③講評。アクティブ・ラーニング | 復習：画像スクラップの作成。<br>予習：素材と画像の収集。        | 60分  |
| 14回 | 〃／デザインのトリミング。アクティブ・ラーニング                                          | 復習：画像スクラップの作成。<br>予習：素材と画像の収集。        | 60分  |
| 15回 | まとめ「イメージファイル」／色と質感イメージ。総合講評。                                      | 予習：色彩と質感に関するイメージファイルの完成。              | 120分 |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

各課題終了後に講評を行う。最終作品ファイルは個別講評、採点后に返却する。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |                |
|-----------------------|-----|----------------|
| 授業態度・姿勢               | 30% | 出席状況、取り組みの姿勢   |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 70% | 理解度、通常作品、ファイル等 |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 0%  |                |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |                |

## ■教科書

なし

## ■参考文献

進行に合わせて授業内で紹介し、プリントを配布する。

## ■オフィスアワー・研究室

月曜日、火曜日（12時10分～12時50分） 連絡研究室 大学表現演習研究室（第三校舎1階）

## ■備考

毎回、授業で説明する「フィールドワーク」を通して、日頃から素材に対する幅広い考察を行うこと。授業準備を怠ると課題演習ができない。すべての配布プリント及び作品はファイルにまとめて毎回授業に持参すること。

## 服飾表現史

鈴木 桜子

2年 後期 必修 (2単位 講義)

## ■授業の方針・概要

これまで時代の装いはどのように表現され伝えられてきたのでしょうか。1年次の「西洋服飾文化史」で学んだ基礎知識をベースに、授業の前半では絵画を中心に、そこに描かれた時代服飾の意味を読み解き、後半ではストーリーを伴う服飾表現について漫画や絵本の世界を取り上げ考察していきます。授業の方針として、授業の前半・後半共に受講者自ら服飾表現を読み解く題材を取り上げ調査し発表するアクティブラーニングを重視します。調査をする上では、海外の大学や博物館のアーカイブを利用し、調査方法の一つとして海外のHPにも触れていく機会を設けていきます。

## ■到達目標（学修成果）

受講生は本科目を履修することによって、絵画、絵本、漫画等を資料に、時代と共に発展していった表現技術について学ぶことができ、「服飾」という新たな視点からその表現内容を理解することができるようになります。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

服飾表現学科の卒業認定に必要な必修科目です。2年次以降の各専攻において、より専門性を高めて学修していく上での基礎科目になります。

## ■授業計画

| 回数  | 授業内容                        | 準備学修                |      |
|-----|-----------------------------|---------------------|------|
|     |                             | 具体的内容（予習・復習等）       | 必要時間 |
| 1回  | ガイダンス                       | 予習：シラバスを確認する        | 10分  |
| 2回  | 絵画にみる服飾表現 ～西洋絵画篇～<br>①資料の選定 | 予習：図書館で絵画資料を探す      | 40分  |
| 3回  | ②調査の方法その1                   | 復習：図書館で関連資料を調査する    | 40分  |
| 4回  | ③調査の方法その2                   | 復習：図書館・HPで関連資料を調査する | 40分  |
| 5回  | ④服飾表現を読み解く 事例1              | 復習：図書館・HPで関連資料を調査する | 40分  |
| 6回  | ⑤服飾表現を読み解く 事例2              | 復習：図書館・HPで関連資料を調査する | 40分  |
| 7回  | プレゼンテーションと評価（1）             | 発表の準備               | 100分 |
| 8回  | プレゼンテーションと評価（2）             | 発表の準備               | 100分 |
| 9回  | 漫画・絵本にみる服飾表現<br>①資料の選定      | 予習：漫画・絵本資料を探す       | 40分  |
| 10回 | ②調査の方法その1                   | 復習：図書館で関連資料を調査する    | 40分  |
| 11回 | ③調査の方法その2                   | 復習：図書館・HPで関連資料を調査する | 40分  |
| 12回 | ④服飾表現を読み解く 事例1              | 予習：図書館・HPで関連資料を調査する | 40分  |
| 13回 | ⑤服飾表現を読み解く 事例2              | 復習：図書館・HPで関連資料を調査する | 40分  |
| 14回 | プレゼンテーションと評価（1）             | 発表の準備               | 100分 |
| 15回 | プレゼンテーションと評価（2）             | 発表の準備               | 100分 |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

2回行われる発表について、受講生同士で相互評価を行いフィードバックしていきます。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 授業態度・姿勢               | 30% |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 70% |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 0%  |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |

※プレゼンテーション（2回）

※上記についての受講生同士の相互評価

## ■教科書 なし

## ■参考資料

The Museum at Fashion Institute of Technology <https://www.fitnyc.edu/museum/>

The Metropolitan Museum of Art <https://www.metmuseum.org>

Victorian & Albert Museum <https://www.vam.ac.uk/> 他

## ■オフィスアワー・研究室

初回の授業でお知らせします。

## ■備考 なし

## 空間構成Ⅱ

千代崎 寛

2年 後期 必修 (2単位 演習)

## ■授業の方針・概要

前期「空間構成Ⅰ」をベースにスケールを拡張した3次元空間での応用・展開を図る。時間の変化や音響、照明などの要素を加えさらに五感を使った身体感覚としての空間意識を獲得していく。メモやスケッチ、画像・映像撮影の記録を各自まとめた「ノート」を課題の軸とする。空間意識を持つことで舞台や衣装表現、映像・ショーのディレクションや被写体のスタイリング、ビジュアルマーチャンダイジングへと展開していく。

## ■到達目標（学修成果）

- 1.各専門分野に共通する課題である「空間」について基礎的な考え方やアプローチを行う力を身に付けることが可能となる
- 2.実験・演習とノートによる記録を通して「空間」の重要性について考察や理解ができる
- 3.スタジオ設備とデジタル制作環境の活用によって「空間」を多角的にとらえることができる

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門必修科目で卒業要件科目の単位となります。ディプロマポリシー（学位授与の方針）については「空間構成Ⅰ」は服飾表現の分野で企画・提案や実際の現場において活躍できる専門力向上に資する科目です。

## ■授業計画

| 回数  | 授業内容                                                    | 準備学修                             |      |
|-----|---------------------------------------------------------|----------------------------------|------|
|     |                                                         | 具体的内容（予習・復習等）                    | 必要時間 |
| 1回  | オリエンテーション・授業概説と導入<br>服飾表現と空間の関係について～ 課題「ノート」について        | 復習：配布資料（授業概要、授業計画など）の内容を熟読しておく。  | 30分  |
| 2回  | 演習①_1「音空間からの考察」<br>課題① フィールドワーク①「街の音を聴く」                | 予習：「ノート」準備<br>復習：フィールドワーク①音の収集   | 60分  |
| 3回  | 演習①_2「音響のための道具・素材」                                      | 復習：フィールドワーク①音の収集・プレゼンテーション用ボード準備 | 60分  |
| 4回  | 課題①プレゼンテーションとディスカッション・講評<br>「ノート」提出                     | 予習：演習②へむけてのリサーチ                  | 90分  |
| 5回  | 演習②_1「光の演出①」（舞台・ライティング演習）<br>課題② フィールドワーク②「商業空間の光のリサーチ」 | 復習：フィールドワーク②画像撮影                 | 60分  |
| 6回  | 演習②_2「光の演出②」（舞台・ライティング演習）                               | 復習：フィールドワーク②画像撮影・プレゼンテーションボード準備  | 90分  |
| 7回  | 課題②プレゼンテーションとディスカッション・講評<br>「ノート」提出                     | 予習：演習③へむけて映像のリサーチ                | 60分  |
| 8回  | 演習③「映像空間」（多層な空間を考察する）<br>課題③_1 グループワーク「映像のための美術制作」      | 復習：課題③の制作・記録                     | 90分  |
| 9回  | 課題③_2 グループワーク「映像のための美術制作」                               | 復習：課題③の制作・記録                     | 90分  |
| 10回 | 課題③_3 グループワーク「映像のための美術制作」<br>スタジオでの撮影                   | 復習：課題③の制作・記録・プレゼンテーションボード準備      | 60分  |
| 11回 | 課題③プレゼンテーションとディスカッション・講評<br>「ノート」提出                     | 予習：演習④へむけてディスプレイ空間のリサーチ          | 60分  |
| 12回 | 演習④「空間プランニング」（仮設空間を使った提案）<br>課題④_1 グループワーク「ディスプレイ空間の提案」 | 復習：課題④の制作・記録                     | 60分  |
| 13回 | 課題④_2 グループワーク「ディスプレイ空間の提案」                              | 復習：課題④の制作・記録                     | 60分  |
| 14回 | 課題④_3 グループワーク「ディスプレイ空間の提案」<br>スタジオでの撮影                  | 復習：課題④の制作・記録・プレゼンテーションボード準備      | 90分  |
| 15回 | まとめ・展開 課題④プレゼンテーションとディスカッション・講評<br>「ノート」提出              | 予習：プレゼンテーション準備<br>復習：夏期課題・空間構成Ⅱへ | 60分  |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

ディスカッションと研究ノート・課題返却のコメント、プレゼンテーションの講評などで授業内にて随時フィードバックを行う。15回目提出された「ノート」の添削、返却方法は授業内に指示します。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 授業態度・姿勢               | 10% |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 45% |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 45% |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |

## ■教科書 なし

## ■参考文献

授業の進行にあわせて、プリントなどで適宜配布する。

## ■オフィスアワー・研究室

空間構成研究室（日野校舎）基本的には授業実施時間の前後に設ける。目黒校舎でのオフィスアワーは別途掲示する。

## ■備考

イメージを具体的に示すための方法・技術は専門の枠内ではなく他の分野への興味や好奇心・経験から得る場合が多いことを体験して知ってほしい。

# 立体造形構想

桐山 征士

2年 後期 必修 (1単位 演習)

## ■授業の方針・概要

服のコンセプトを立案し、思考の密度を高め、独自の視点とその表現を行い、オリジナリティーのあるドローイングを描く。

デザインは学習することで、ある程度習得が可能である。ただし、短期間では習得できない。

デザインとは、「かっこいいカタチを考える」ことではない。「カタチ」を考える前にやらなければならないことはたくさんある。「かっこいいカタチ」は素人でも考えつく。本来のデザインや造形はもっと高いレベルで存在している。デザインはスタイリング(見た目)ではなく、もっと大所高所から考えなければならない。「思考の密度を上げる」ことと、「独自の視点とその表現」が重要である。デザインは目的に応じて様々な進め方がある。一般的には、ターゲットの設定・調査・分析・整理をした後、ターゲットを設定し目標を掲げ、コンセプトの立案をする。この段階は非常に重要である。それなりの経験値を積み別だが、いきなり絵を描く(カタチを考える)などありえない。カタチはターゲットもしくは独自の発想や独自の表現方法と、コンセプトが導いてくれる。そこでこの授業では、美術家兼デザイナーの担当教員が「デザイン(造形)の構築法」を指導する。実際にデザインや造形を生業としている者とディスカッションしながら構築法を学ぶ。デザインや造形を独学で習得するのは極めて困難だからである。プロダクトアウトの姿勢でデザインを進める。エスキースでは、まず量のエスキースを行う。量を出すことで「思いつき」を「デザイン」に昇華させる。このトレーニングは形状の考察を繰り返し行うことで、造形的感覚と美的感覚を育む。デザインや造形においてとても重要なトレーニングである。質のエスキースでは、たくさんエスキースの中からコンセプトに見合うものを選別し、ブラッシュアップを行う。造形において必須能力である「疎密のバランス」や「明度バランス」を育む。

ドローイングでは、独自の表現方法の確立を目指す。描き方(テクニック)ではなく、イメージ力を育む。デザインにおいて正確な比率での表現は必須である。コンセプトに合った姿勢の人体写真(なるべく体のシルエットが現れている下着姿や水着姿など)をトレースし、骨格・面の向き・パースなどを確認しながら、人の存在を意識して描く。表現方法は無限にあり、絵画やデザイン画などから参考になる資料を探すことから始める。コンセプトに合わせたポーズと表現方法は、イメージを伝えるための大切な要素である。

各自が様々な素材・表現方法を模索する中で、過去絵の指導をしていた担当教員がアドバイスを行いながら、オリジナリティーとリアリティーを兼ね備えた「絵」を描く能力を育てる。また、仕事量と完成度がイコールの関係でないことも理解できるように目と感覚を身につける。

## ■到達目標(学修成果)

デザインプロセスやコンセプトの構想法を学習することで、様々なデザインに応用が効くようになる。コミュニケーション能力が養える。積極的にディスカッションすることが、今社会で求められている積極性と忍耐力を育むという現実を知る。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目。全ての造形に関わる授業に必要な構想力・ディスカッション・プレゼンテーション、ドローイングの基礎力を身につける。

## ■授業計画

| 回数  | 授業内容                                                 | 準備学修                                  |      |
|-----|------------------------------------------------------|---------------------------------------|------|
|     |                                                      | 具体的内容(予習・復習等)                         | 必要時間 |
| 1回  | 美術家兼デザイナーの担当教員による、デザインとアートの違い・デザインプロセスの講義 ブランドテーマの分析 | 復習:講義内容に関して考察する。質問等を用意する。             | 60分  |
| 2回  | 各自、ブランドを選んで、テーマの分析・資料作成・提出                           | 予習:コンセプト立案のための情報収集                    | 60分  |
| 3回  | コンセプトの立案・思考の密度を上げるための情報収集及び分析                        | 予習:コンセプト立案のための情報収集                    | 60分  |
| 4回  | コンセプトの設定① ベースとなる思想の構築<br>担当教員と個別ディスカッション             | 復習:思想のバリエーションを出す。<br>予習:ドローイングの参考資料収集 | 60分  |
| 5回  | コンセプトの設定② ベースとなる思想の決定<br>担当教員と個別ディスカッション             | 復習:思想のバリエーションを出す。<br>予習:ドローイングの参考資料収集 | 60分  |
| 6回  | コンセプトの設定③ ベースとなる思想の決定<br>担当教員と個別ディスカッション             | 復習:思想のバリエーションを出す。<br>予習:ドローイングの参考資料収集 | 60分  |
| 7回  | エスキース① 量のエスキース<br>担当教員と個別ディスカッション                    | 予習復習:エスキースのバリエーションを出す。コンセプトとの整合性の確認   | 60分  |
| 8回  | エスキース② 量のエスキース<br>担当教員と個別ディスカッション                    | 予習復習:エスキースのバリエーションを出す。コンセプトとの整合性の確認   | 60分  |
| 9回  | エスキース③ 量のエスキース<br>担当教員と個別ディスカッション                    | 予習復習:エスキースのバリエーションを出す。コンセプトとの整合性の確認   | 60分  |
| 10回 | エスキース③ 質のエスキース<br>担当教員と個別ディスカッション                    | 復習:エスキースのブラッシュアップ<br>コンセプトとの整合性の確認    | 60分  |
| 11回 | ドローイング①表現方法の考察 技法の選択 担当教員による指導                       | 復習:表現の考察 技法研究                         | 60分  |
| 12回 | ドローイング②表現方法の考察 技法の選択 担当教員による指導                       | 復習:表現の考察 技法研究                         | 60分  |
| 13回 | ドローイング③ ドローイング制作① 担当教員による指導                          | 復習:ドローイング                             | 60分  |
| 14回 | ドローイング④ ドローイング制作② 担当教員による指導                          | 復習:ドローイング                             | 60分  |
| 15回 | ドローイング⑤ ドローイング制作③ 完成                                 | 復習:学習した内容を整理し、今後のデザイン活動用の資料をまとめる。     | 60分  |

## ■フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

常時(授業外も含む)、質問等を受け付ける。授業で足りなかった部分はmanabaを用いてディスカッションを行う。また、今後さまざまなデザインや造形についての質問に対処する。課題のフィードバックは15回目の提出後も含め、制作中常に行う。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 授業態度・姿勢               | 30% |
| 授業内試験・課題(プレゼンテーション含む) | 70% |
| 期末試験・課題(プレゼンテーション含む)  | 0%  |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |

■教科書 適宜プリントをデータで配布(留学生が簡単に翻訳できるようにするため・紙資源の削減)

■参考文献 プロダクトデザイン 商品開発に関わるすべての人へ/JIDA「プロダクトデザイン」編集委員会(著)

■オフィスアワー・研究室 オフィスアワーの時間は初回の授業で指示する。研究室:4006 工芸室

■備考 初回はパソコン教室で授業を行う。

## 近代日本モード史

梅谷 知世

2年 後期 必修 (2単位 演習)

## ■授業の方針・概要

日本では明治時代以降、西洋文化の影響を受けて近代化が進められました。服飾をはじめとする生活文化についても、現代の生活に直接結びつくような諸相が見られるようになります。ただし、洋服はすぐに普及したのではなく、少しずつ段階を踏んで浸透していきました。欧米各国との対等な外交関係を目指し、明治初期から男性の公的な装いに洋装が採用される一方、多くの人びとはまず、和装に西洋風を取り入れるという形で自然な和洋折衷形式を作り上げました。大正時代後期以降は生活改善運動や職業婦人の増加等を背景に積極的に洋装となる女性も現われ、洋裁学校が相次いで創設されます。戦後、これらの洋裁学校は洋装の普及に大きな役割を果たすことになりました。

本授業では、このような近代日本の服飾文化について、背景にある社会や文化の状況とともに解説します。

講義形式で進めますが、適宜、教員からの質問についてグループ内でのディスカッションを行います。

## ■到達目標（学修成果）

- 1、日本人の衣生活に洋服がどのような経緯で取り入れられ、浸透していったかを理解する。
- 2、伝統的な美意識と西洋趣味の融合した近代の和装の展開について理解する。
- 3、服飾を通して、近代日本社会のあり様や人々の精神性を理解する。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門必修科目の卒業要件科目です。

## ■授業計画

| 回数  | 授業内容                   | 準備学修                         |      |
|-----|------------------------|------------------------------|------|
|     |                        | 具体的内容（予習・復習等）                | 必要時間 |
| 1回  | ガイダンス                  | 予習：シラバスを確認し授業概要を理解する。        | 30分  |
| 2回  | 明治時代の洋装① 幕末・文明開化期の洋風摂取 | 復習：授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。      | 90分  |
| 3回  | 明治時代の洋装② 近代国家建設と洋服導入   | 復習：授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。      | 90分  |
| 4回  | 明治時代の洋装③ フロックコートとハイカラ  | 復習：授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。      | 90分  |
| 5回  | 明治時代の洋装④ 鹿鳴館時代の女性の洋装   | 復習：授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。      | 90分  |
| 6回  | 和装の近代化① 束髪の広がり         | 復習：授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。      | 90分  |
| 7回  | 和装の近代化② 洋装品をとり入れた和装    | 復習：授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。      | 90分  |
| 8回  | 和装の近代化③ 女学生の袴姿         | 復習：授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。      | 90分  |
| 9回  | 和装の近代化④ 明治・大正・昭和の着物文様  | 復習：授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。      | 90分  |
| 10回 | 和装の近代化⑤ 百貨店による流行の創出    | 復習：授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。      | 90分  |
| 11回 | 大正時代の洋装 女性の洋装の広がり      | 復習：授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。      | 90分  |
| 12回 | モダン都市文化とモダンガールの装い      | 復習：授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。      | 90分  |
| 13回 | 戦時中の衣生活と戦後の洋裁文化        | 復習：授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。      | 90分  |
| 14回 | 1960年代以降のファッションと社会     | 復習：授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。      | 90分  |
| 15回 | まとめ                    | 復習：これまでの授業内容の振り返りを行い、理解を深める。 | 150分 |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内課題や期末レポートについて、フィードバックを次回授業時、または manaba で行います。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 授業態度・姿勢               | 20% |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 30% |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 50% |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |

■教科書 使用しません。授業の進行にあわせてプリントを配布します。

■参考文献 授業時に紹介します。

## ■オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは初回の授業でお知らせします。研究室：研究棟 6042A

■備考 近代日本の文学作品を読んだり、近代日本の絵画や工芸作品に触れたりする機会を持つよう心がけてください。

# マーケティング・データサイエンス論

田中 康寛

2年 前期又は後期 必修 (2単位 講義)

## ■授業の方針・概要

今や企業においては必須であるデータサイエンスとは何かを理解し、ビジネスにおける重要性を理解していきます。企業へのアドバイス経験から、DXと関連づけながら事例も、また企業データを使い説明、研究します。特にマーケティング活動を中心に学んでいけるようにします。

- ・データサイエンスとは、そして必要性の背景そして生み出されるビジネス価値と活用事例
- ・統計学とAI、生成AI/深層学習（ディープラーニング）
- ・データサイエンスの倫理的留意
- ・発展的課題と今後の方向性

## ■到達目標（学修成果）

データサイエンスとは何かを理解し、企業が、どのように活用していくかを検討できるようにします

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、必修科目であり、また卒業要件科目の単位となります。

## ■授業計画

| 回数  | 授業内容(前期)                                                                                              | 準備学修                                                    |      |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|------|
|     |                                                                                                       | 具体的内容(予習・復習等)                                           | 必要時間 |
| 1回  | データサイエンスとは何か。DXとは何か。それらがなぜ必要か(含:事例)を、コンサルティングを企業に実施した経験からも話します                                        | 復習:データサイエンスとは何か、DXとは何かを自分の言葉で説明できるようにします                | 60分  |
| 2回  | データサイエンスによるビジネス価値と活用事例<br>DXとデータサイエンスの関連を含みます                                                         | 復習:データサイエンスをどのように生かせるか。説明できるように復習を行います                  | 60分  |
| 3回  | データサイエンティストとはどのような役割や業務を遂行しているかを理解<br>そして第15回で出てくる組織論も、より理解できることを目指します                                | 復習:データサイエンティストの役割業務を理解することで、データサイエンスにおける実行内容を理解します      | 90分  |
| 4回  | 統計基礎 統計の必要性、データとは？さらに見える化などを理解します。併せて多様なデータが発生していることも理解します                                            | 復習:統計の基本を理解します。また、自分の周りでも様々なデータが発生していることを確認します          | 90分  |
| 5回  | AIとは何か 生成AIとは何か(以降両方を総称してAIと表記します)                                                                    | 復習:AIとは何かを説明できるようにします。AIが身近であることも整理します                  | 45分  |
| 6回  | AI事例 小売業、アパレル業界などでいかにAIが使われているか。なぜ今AIを活用されているのかを説明します<br>まとめ1                                         | 復習:対象業種でのAIの利用状況を復習するとともに、なぜ必要かも自分の言葉で説明できるようにします。      | 90分  |
| 7回  | 統計概論1 Excelを使用して学びます マナバで、メーカーのデータをやり取りし使用します。平均、確率、分散 標準偏差 回帰分析<br>生成AIを使用して、分析する場合の方法もイメージするようになります | 復習:それぞれの分析の意味と必要性を整理します。また生成AIを使用する場合のイメージも整理します        | 40分  |
| 8回  | 統計概論2 Excelを使用して学びます。<br>正規分布 相関分析 定性データの定量化分析                                                        | 復習:それぞれの意味を再度整理します。そしてなぜその分析が必要かを考えます                   | 60分  |
| 9回  | BIツールとは何か Tableauを中心に説明します                                                                            | 復習:Excel BIツールの位置付けを理解、整理し、さらにビジネス界での使い方の基本を説明できるようにします | 45分  |
| 10回 | Tableauを使った実習                                                                                         | 復習:体感したことから、Excel、Tableauの違いを整理します                      | 45分  |
| 11回 | BIツールと生成AIの融合（実技予定）<br>AIを使用するとどのようなことができるかなどをお話します                                                   | 復習 AIへの理解を深め AIを使ったとするとどのようなことが可能かを考えます                 | 60分  |
| 12回 | データ収集の現状 IOT、顔認証など 現状と将来像を説明します                                                                       | 復習:企業内にどのようなデータがあるのか、どのようなデータがあるといいのか整理します              | 60分  |
| 13回 | アパレルメーカーのデータをもとに討論と発表<br>どのようなデータが経営に役立つかなどを中心に討論します                                                  | 復習:グループの発表から、さらにデータに対する視点を整理します                         | 45分  |
| 14回 | まとめ2<br>データサイエンスの倫理                                                                                   | 復習:個人情報保護法などデータに関するセキュリティを整理します                         | 60分  |
| 15回 | データサイエンスとDX、実現していくための組織論を理解していきます。<br>その中で、自分ごと化をしていきます                                               | 復習:データサイエンス、DX、AIなどを総括して復習します                           | 100分 |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

まとめを2回実施します。提出用紙に、評価と課題を記述し返却、同時に返却した回の初めにフィードバックします。

## ■成績評価の方法・基準

|             |     |
|-------------|-----|
| 授業態度・姿勢     | 30% |
| 授業内試験・課題    | 70% |
| 期末試験・課題     | 0%  |
| 外部評価・検定試験結果 | 0%  |

## ■教科書

指定教科書 データ思考が未来を変える（織研新聞社） 加えて①補足資料配布

## ■参考文献 なし

## ■オフィスアワー・研究室

講師控え室または教室に在籍

## ■備考 企業の上層部の方から、その業界、企業ならではの視点で話をいただく予定（V I D E O）です



# 衣装デザイン・制作Ⅰ

大町 志津子・瀧川 美佐子

2年 後期 選択 (2単位 実習)

## ■授業の方針・概要

この授業の目的は衣装表現に必要な知識と表現力を学び、造形技術の基礎力・応用力を身に付けることにある。担当教員の欧米におけるオペラ、バレエ、映画等の衣装デザイナーのキャリアを活かした実践的なデザイン指導や、アパレルメーカーでのモデリスト、パタンナーとしての実務経験に基づく技術指導により各自の衣装に対する表現力を養う。衣装表現に必要な知識と表現力を写真や映像などで学び、造形していくための基礎力、応用力、技術力を養う。

■目標（学修成果）西洋服飾史の知識を得て時代衣装を把握し、イメージを作りデザイン画を描き実際に制作することができるようになる。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は服飾表現学科の衣装デザイン専攻の学生にとって必修であり、衣装表現者としての知識と技術を学ぶ科目です。

## ■授業計画

| 回数  | 授業内容                                                                    | 準備学修                             |      |
|-----|-------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|------|
|     |                                                                         | 具体的内容（予習・復習等）                    | 必要時間 |
| 1回  | 大町、瀧川：オリエンテーション<br>ロココ時代の時代背景とスタイルについて講義<br>デザイン考案（人物像の考察、デザイン画）        | 予習：シラバスを確認する<br>復習：時代のリサーチ       | 30分  |
| 2回  | 大町：日々見たもの・感じたものを描きプレゼンテーション<br>時代衣装と現代服との関連性について、個別デザイン相談1<br>瀧川：原型制作1  | 予習：デザイン画レポート作成<br>復習：デザイン画レポート修正 | 30分  |
| 3回  | 大町：日々見たもの・感じたものを描きプレゼンテーション、デザイン画の描き方（模写1）、デザインに適した生地や素材の説明<br>瀧川：原型制作2 | 予習：参考文献を見ておく<br>復習：制作を進める        | 30分  |
| 4回  | 大町：日々見たもの・感じたものを描きプレゼンテーション、デザイン相談2<br>瀧川：トワル制作                         | 予習：課題を進める<br>復習：レポート、デザイン画修正     | 30分  |
| 5回  | 大町：映画動画を観て衣装表現を学ぶ、デザイン相談3<br>瀧川：トワル制作・補正                                | 予習：製図完成<br>復習：制作を進める             | 30分  |
| 6回  | 大町：日々見たもの・感じたものを描きプレゼンテーション、デザイン画の描き方（模写2）<br>瀧川：コルセット製図                | 予習：制作を進める<br>復習：制作を進める           | 30分  |
| 7回  | 大町：日々見たもの・感じたものを描きプレゼンテーション、デザイン相談4<br>瀧川：コルセットトワル制作・補正                 | 予習：制作を進める<br>復習：制作を進める           | 30分  |
| 8回  | 大町、瀧川：校外研修（舞台、映画、展覧会鑑賞など）で衣装を立体的に学びレポート提出                               | 予習：題材について知識を得る<br>復習：レポート作成      | 30分  |
| 9回  | 大町：8回目に対するフィードバック、レポート提出<br>瀧川：コルセット生地制作                                | 予習：制作を進める<br>復習：制作を進める           | 30分  |
| 10回 | 大町：日々見たもの・感じたものを描きプレゼンテーション、イメージトレーニング・デザイン画作成、帽子についての説明<br>瀧川：コルセット制作  | 予習：制作を進める<br>復習：制作を進める           | 30分  |
| 11回 | 大町：映画動画を観てイメージトレーニング、デザイン相談5<br>瀧川：ストマッカー制作                             | 予習：制作を進める<br>復習：制作を進める           | 30分  |
| 12回 | 大町：音楽からのイメージトレーニング・デザイン画作成、デザイン相談6<br>瀧川：帽子制作                           | 予習：制作を進める<br>復習：制作を進める           | 30分  |
| 13回 | 大町、瀧川：トータルイメージに向けての考察、ポートフォリオ作成における研究倫理について、作品点検                        | 予習：制作を進める<br>復習：ポートフォリオ作成        | 30分  |
| 14回 | 大町、瀧川：作品プレゼンテーション、ポートフォリオ提出、撮影・撮影のフィードバック                               | 予習：プレゼンテーションの準備<br>復習：作品の修正      | 30分  |
| 15回 | 大町、瀧川：ディスカッション・講評・撮影                                                    | 予習：撮影準備                          | 30分  |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内に提出した課題について随時解説と講評を行う

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 授業態度・姿勢               | 30% |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 70% |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 0%  |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |

■教科書 必要に応じて資料を配布する。

■参考文献 西洋コスチューム大全 ジョン・ピーコック、ドレメ式原型 PATTERN MAKING

Patterns of Fashion Janet Arnold 著 Women's Dress Patterns Susan North and Jenny Tirana 著  
三省堂図解ライブラリー ファッションの歴史 ピエロ・ヴェントゥーラ/文・画

■オフィスアワー・研究室 日野校舎 B202 衣装表現研究室 オフィスアワー：第1回目の授業で指示する。

■備考 進度により日程及び内容を変更する場合もある。 感性を磨きより広い視野を持つ事を各自心がける。

# スタイリング演習Ⅰ

中村 のん・数井 靖子

2 年 後期 選択 ( 2 単位 演習 )

## ■授業の方針・概要

授業担当者の 40 年以上にわたるスタイリスト経験を通して実感してきた「もっとも必要な基礎知識」を学びます。メディアにおける各分野のプロたちからのあらゆるニーズに応える立場のスタイリストにとって、流行や時代の変化に敏感であること、さらには流行が生まれた時代背景を知っておくことは重要です。二次次では、リバイバルが注目されている現在のファッションにつながる過去のストリートファッションのリアルや、それらが生まれた時代や社会背景について豊富な資料を通して深く学び、自身のゆるぎない知識とすることを目指します。

## ■到達目標（学修成果）

時代ごとの流行・ファッションの基本を把握できる能力を身につける。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

服飾表現学科のスタイリング専攻において卒業認定に必要な必修科目です。より専門性を高めて学修していく上での基礎科目になります。

## ■授業計画

| 回数   | 授業内容                                                                                      | 準備学修                                       |       |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|-------|
|      |                                                                                           | 具体的内容（予習・復習等）                              | 必要時間  |
| 1 回  | 【中村・数井】オリエンテーション<br>スタイリストにとって必要な知識やスキルに関する講義                                             | 予習：シラバスを読んでおく                              | 30 分  |
| 2 回  | 【中村・数井】【ファッションヒストリー】50 年代「フィフティーズファッション」 映画や写真集を資料に、時代背景とファッションの関係を講義、及びオリエンテーション（以下に同じく） | 復習：感想レポート<br>復習：50 年代ファッションに関する資料を独自に探す    | 90 分  |
| 3 回  | 【中村・数井】【ファッションヒストリー】60 年代①「スウィングングロンドン」                                                   | 復習：感想レポート<br>復習：60 年代ファッションに関する資料を独自に探す    | 90 分  |
| 4 回  | 【中村・数井】【ファッションヒストリー】60 年代②ブレタポルテの始まり「カルダン」                                                | 復習：感想レポート<br>復習：60 年代ファッションに関する資料を独自に探す    | 90 分  |
| 5 回  | 【中村・数井】【ファッションヒストリー】60 年代③「モッズスタイル」                                                       | 復習：感想レポート<br>復習：モッズファッションに関する資料を独自に探す      | 90 分  |
| 6 回  | 【中村・数井】【ファッションヒストリー】70 年代①「ヒッピースタイル」                                                      | 復習：感想レポート<br>復習：ヒッピーファッションが生まれた背景について独自に探す | 90 分  |
| 7 回  | 【中村・数井】【ファッションヒストリー】70 年代②「ロックファッションにおけるガリーファッション」                                        | 復習：感想レポート<br>復習：ロックファッションに関する資料を独自に探す      | 90 分  |
| 8 回  | 【中村・数井】【ファッションヒストリー】70 年代③「グラムファッション」                                                     | 復習：感想レポート<br>復習：グラムファッションに関する資料を独自に探す      | 90 分  |
| 9 回  | 【中村・数井】【ファッションヒストリー】70 年代④「パンクファッション」                                                     | 復習：感想レポート<br>復習：パンクファッションに関する資料を独自に探す      | 90 分  |
| 10 回 | 【中村・数井】【ファッションヒストリー】70 年代～80 年代にかけて「ファッションの潮目が大きく変わった時期」について                              | 復習：感想レポート<br>復習：この時代に関する資料を独自に探す           | 90 分  |
| 11 回 | 【中村・数井】【ファッションヒストリー】70 年代～80 年代にかけて「ニューヨークのアートシーンとファッション」                                 | 復習：感想レポート                                  | 90 分  |
| 12 回 | 【中村・数井】【ファッションヒストリー】80 年代①「音楽シーンにみるファッション」                                                | 復習：感想レポート<br>復習：80 年代ファッションに関する資料を独自に探す    | 90 分  |
| 13 回 | 【中村・数井】【ファッションヒストリー】80 年代②「世界の変化とそれに伴うファッションとカルチャーの変化について」                                | 復習：感想レポート                                  | 90 分  |
| 14 回 | 【数井】【ファッションヒストリー】90 年代①「ナインティーズのストリートファッション」                                              | 復習：感想レポート                                  | 90 分  |
| 15 回 | 【数井】3 年次に制作する時代別のマップに関するレクチャー                                                             | 復習：資料集め 課題図書の感想レポート                        | 180 分 |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、レポートメールや学内システム等の活用）方法

感想文は添削して返却する。各提出作品、レポートに評価を与え、授業内外で返却時にフィードバックをする。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 授業態度・姿勢               | 30% |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 70% |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 0%  |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |

## ■教科書：現時点では指定なし。授業時に指定する可能性もあり

授業内容に合わせて授業担当者がプリントを作成して配布。学生は一冊のファイルにまとめる。

## ■参考文献：必要に応じて授業時に指示。授業担当者所蔵の写真集、書籍等を研究室に保管して、必要に応じて使用。

授業時に使用する映画の DVD や書籍に関して、図書館から借りる、購入する、レンタルする等に関しては、事前に準備する。

学生に購入を求める場合もあります。※「ストリートトラッド」（集英社）※「ファッションスタイルクロニクル」（グラフィック社）

## ■オフィスアワー・研究室：授業初日に指示します。

## ■備考：服飾表現演習のスタイリングを 2 回以上出席者のみ履修可。

写真展鑑賞、撮影等、フィールドワークの内容により学外に出ることもあります。学生が準備する備品に関しては、授業時に告知します。

進展により、日程及び内容を変更する場合があります。スタイリスト関連のプロをゲスト講師とした講義を行うこともあります。

# ビジュアルマーチャンダイジング演習Ⅰ

中島 ゆう子

2年 後期 選択 (2単位 演習)

## ■授業の方針・概要

VMDの基本を理解し、売り場のつくり方、店舗の動き、販売商品、流行カラー、トレンド分析を含めて売り場づくりの基本を学修し、魅力的な売り場の空間を組立てる。1/10サイズのマケットを作成し、店舗の空間スペース、VP、IP、PPなどを学修する。マケットを活用して、プレゼンテーションを実施。授業担当者のファッション・プロデューサーとしての実務にも触れながら授業を実施します。

## ■到達目標（学修成果）

実務として売り場でディスプレイ及びVMDを作成できる人材を学修する。魅力的な店舗や展示空間を想定し視覚的に商品の世界観を伝えることができる能力のある人材育成を目標とする。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

ビジュアルマーチャンダイジング専攻学生の卒業認定に必要な科目です。

## ■授業計画

| 回数  | 授業内容                                                               | 準備学修                          |      |
|-----|--------------------------------------------------------------------|-------------------------------|------|
|     |                                                                    | 具体的内容（予習・復習等）                 | 必要時間 |
| 1回  | 基本用語を暗記。ディスプレイの知識を高める。動線、ファザード、デッドスペース、フォーカルポイントなど。                | 予習：基本用語の暗記                    | 45分  |
| 2回  | ネットを使いVMDイメージコラージュ6分類を作成。カラー、ナチュラル、クリスマスなどに6分類する。                  | 復習：完了しなかった課題は自宅で作成。           | 45分  |
| 3回  | PCを使いイメージコラージュの作成。それぞれ学生と打合せし、内容確認、及び修正する。                         | 復習：完了しなかった課題は自宅で作成。           | 45分  |
| 4回  | イメージコラージュ本日提出。学生より内容確認、説明を聞く。今後リアル店舗のミニチュア版作成のテーマを決定。              | 予習：ミニチュア店舗のイメージに必要な小物を考える。    | 45分  |
| 5回  | 市場調査実施。秋冬の売り場がどうなっているか、ディスプレイチェック。店舗のサイズ感を確認。原宿、渋谷地区の商業施設を調査。      | 復習：市場調査のレポート作成。               | 45分  |
| 6回  | VP計画書作成。展開テーマ及びコンセプト、展開期間、ターゲット、ディスプレイ雑貨、陳列方法、展開カラー、イメージスケッチ作成。    | 予習：マケット作りの準備。                 | 45分  |
| 7回  | 店舗マケット作成①<br>スケジュール表作成。予算表作成。                                      | 予習：100円ショップでミニチュア店舗に使う小物を購入。  | 45分  |
| 8回  | 店舗マケット作成②<br>魅力的な店頭、驚きが伝わる画期的なVPを作成する。床、壁面、天井の決定。                  | 復習：考えた店舗イメージにずれがないか事前にチェックする。 | 45分  |
| 9回  | 店舗マケット作成③ 1/10サイズで作成。商品の決定。必要なアイテムをネットからセレクト。                      | 予習：床材、壁面などの材料購入。              | 45分  |
| 10回 | 店舗マケット作成④<br>店舗、什器、サイズを決定し、パネルカット作業の実施。                            | 予習：100円ショップでミニチュア店舗に使う小物を購入。  | 45分  |
| 11回 | 店舗マケット作成⑤<br>床、壁、天井素材をパネルに貼る。什器、ハンガーの作成。                           | 復習：自宅でハンガーなどの小物什器作成。          | 45分  |
| 12回 | 店舗マケット作成⑥ 学生とディスカッション。イメージカラーを特定し、店舗で販売する商品の選出。                    | 復習：自宅で棚、ラック、マネキンを作成。          | 45分  |
| 13回 | 店舗マケット作成⑦ 各学生とのディスカッション及び修正。マネキン用VPコーディネート、雑貨などの選出。                | 復習：VP店舗を完成させる。                | 45分  |
| 14回 | 店舗マケット店舗⑧ 完成までの最終仕上げ<br>次週のプレゼン練習。学生とディスカッション、修正。                  | 予習：プレゼンの練習                    | 45分  |
| 15回 | プレゼンテーション実施。<br>VP計画書、イメージコラージュを使いプレゼンをする。講評とディスカッション。作品を写真にて保存する。 | 復習：プレゼンの反省及び修正ポイントの見直し。       | 45分  |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題提出のフィードバックは、授業内で講評、解説し返却します。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 授業態度・姿勢               | 30% |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 70% |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 0%  |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |

## ■教科書

改定第3版国家検定 商品装飾展示技能検定 学科編 実技編 著者：日本ビジュアルマーチャンダイジング協会

■参考文献 VMD用語辞典 著書：日本ビジュアルマーチャンダイジング協会 発行：織研新聞社

■オフィスアワー・研究室 オフィスアワーは、日野校舎B棟 B205 B101

■備考 ビジュアルマーチャンダイジング検定に向けて学習します。

## メディア表現Ⅰ（映像・ショープロデュース）

角倉 典彦・千代崎 寛・澤野 洋土

2年 後期 選択 （2単位 演習）

## ■授業の方針・概要

市販のカメラやスマホを使いパソコンで、フルハイビジョンや4K画質の撮影や編集・特殊効果ができ、TV番組や映画、Web動画を製作することが可能になってきた。しかし機材やソフトは単なるツールであり、自身の意図やイメージを表現する映像・メディアを制作するには、技術はもちろんだが文法やシステムとしての映像・メディアの仕組みや方法論を理解しなければならない。本講座はそれらの学修を、テレビ番組・VP制作の実務経験者や現役の映像ディレクターも講師に交え、講義と演習/実習によって組み立てていく。

## ■到達目標（学修成果）

どんな企画を立て、どんな撮影をしたら、そしてどんな編集/MAをすればどんな作品(映像・メディア)が完成するのかが理解できる「映像・メディアを作り出す基礎能力」を修得することを目標とする。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

メディア表現専攻学生の卒業要件科目で、必修科目である。

## ■授業計画

| 回数  | 授業内容                                           | 準備学修                          |      |
|-----|------------------------------------------------|-------------------------------|------|
|     |                                                | 具体的内容（予習・復習等）                 | 必要時間 |
| 1回  | 角倉：ガイダンス(授業の目的と進め方)<br>ファッション映像の実例の提示と映像制作の基本1 | 復習:ファッション映像の検索                | 30分  |
| 2回  | 角倉：企画立案と撮影絵コンテ、<br>企画書、台本・構成台本の役割と必要性、作成       | 復習:配布資料と作成シナリオの整理             | 60分  |
| 3回  | 澤野：撮影基礎1 ショットの種類とカメラワーク、撮影機材の取り扱い方と撮影手順、       | 予習:使用カメラのマニュアル熟読<br>復習:撮影練習   | 60分  |
| 4回  | 千代崎：スタジオワーク1 日野スタジオの概要と使い方                     | 復習:日野校舎スタジオにて実習する。            | 60分  |
| 5回  | 澤野：撮影基礎2 レンズの種類と効果、被写界深度<br>各種三脚の使い方           | 復習:日野校舎スタジオにて実習する             | 60分  |
| 6回  | 千代崎：スタジオワーク2 照明基礎知識、インターネット<br>中継システムの構築1      | 復習:日野校舎スタジオにて実習する             | 60分  |
| 7回  | 澤野：編集1 ノンリニア編集 素材の取り込みと基本的な<br>編集の手順           | 予習:PCの基本操作の確認<br>復習:動画取込みの実習  | 60分  |
| 8回  | 角倉：CM制作1 企画・構想 簡単な企画書作成                        | 予習:課題企画                       | 60分  |
| 9回  | 角倉：CM制作2 企画プレゼンテーション/撮影                        | 復習:課題撮影成・編集                   | 60分  |
| 10回 | 角倉：CM制作3 編集/MA                                 | 復習:作品のポートフォリオ作成               | 60分  |
| 11回 | 角倉：CM制作4 作品プレゼンテーションと講評 著作権特<br>別講義            | 復習:配布資料の整理                    | 60分  |
| 12回 | 千代崎：スタジオワーク3 インターネット中継システムの<br>構築2             | 復習:配布資料の整理                    | 60分  |
| 13回 | 澤野：ショートムービーの制作1<br>企画・構想、シナリオ作成                | 予習:企画書、シナリオ作成<br>復習:撮影計画の作成   | 60分  |
| 14回 | 澤野：ショートムービーの制作2<br>撮影台本、撮影コンテの制作、撮影            | 予習:撮影素材の取り込みと整理<br>復習:編集計画の作成 | 60分  |
| 15回 | 角倉：ショートムービーの制作3<br>編集、タイトル、スーパー、MA 作品講評        | 予習:課題作成編集<br>復習:作品制作ファイルの作成   | 60分  |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システムについて等の活用）方法

常時質問等を受け付ける。また課題作成発表の際にはその都度講評指導する。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 授業態度・姿勢               | 30% |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 40% |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 30% |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |

■教科書 なし、プリント等随時配布

■参考文献 その都度指示。

## ■オフィスアワー・研究室

オフィスアワーの曜日、時間は授業内で指示。研究室：日野校舎B105 映像・メディア表現研究室 連絡：教務課

## ■備考

日頃からスマホでも良いのでカメラを持ち、構図を学習/考察すること。

また自分の好きな映画やテレビ番組、CM、Web動画などを観て、構成、構図、カット割りなどを意識しながら研究すること。

# アパレル素材論

田口 雅子

2年 前期又は後期 選択 (2単位 講義)

## ■授業の方針・概要

アパレルに使用される布に焦点を当て、基本的な知識、専門用語を理解するために説明する。応用力を育成するために、実物サンプルを提示しながら解説し、理解を深める。素材に関する知識と素材そのものが持つ手触りや布の表情など、服飾造形を作り出す素材に関心を寄せ、布の種類や構造を理解し、アパレル素材の基本的な知識を修得することを方針とする。

## ■到達目標（学修成果）

基本的な素材の名称や性質、専門用語、織物やニット生地に関する知識を修得することができる。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は専門選択科目で、全コース卒業要件科目となります。

## ■授業計画

| 回数  | 授業内容                             | 準備学修                                                                        |      |
|-----|----------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|------|
|     |                                  | 具体的内容（予習・復習等）                                                               | 必要時間 |
| 1回  | ガイダンス ビデオ視聴                      | （予習）衣服材料学で学んだ内容を復習する                                                        | 30分  |
| 2回  | 何を着ているのか 素材について<br>繊維→糸→布の製造プロセス | （予習）衣服材料学で学んだ内容を復習する<br>（復習）自分の着ている衣服の素材を調べる                                | 30分  |
| 3回  | 布の分類 織物とは<br>織物の三原組織             | （復習）身の回りにある布製品から、織物でできているものを見つけ、三原組織でできているものがあるか確認する。                       | 60分  |
| 4回  | 織物の種類と織物組織<br>規格、物性について          | （復習）身の周りにある布製品から、織物でできているものをみつけ、三原組織以外の組織で作られているものがあるか確認する。                 | 60分  |
| 5回  | 綿について 綿織物                        | （復習）綿織物でできている衣服の市場調査や、自分の持っている衣服を確認する。手触りや風合いを観察する。                         | 30分  |
| 6回  | 綿織物                              | （復習）綿織物でできている衣服の市場調査や、自分の持っている衣服を確認する。着用する季節や場面を考え、繊維や生地の特徴がどう活かされているのか考える。 | 30分  |
| 7回  | ウールについて ビデオ視聴<br>毛織物             | （復習）毛織物でできている衣服の市場調査や、自分の持っている衣服を確認する。毛織物と毛織物調の生地があるので、手触りや風合いを観察する。        | 30分  |
| 8回  | 毛織物                              | （復習）毛織物でできている衣服の市場調査や、自分の持っている衣服を確認する。着用する季節や場面を考え、繊維や生地の特徴がどう活かされているのか考える。 | 30分  |
| 9回  | 絹と化繊について 化繊織物<br>中間まとめ           | （復習）絹織物や化繊織物を市場調査し、手触りや風合いを確認する。どのような場面で使用されるのかを考える。                        | 30分  |
| 10回 | ニット 緯編                           | （復習）ニットの構造を立体的に捉える。また、ニット製品を調査し、特徴を理解する。                                    | 30分  |
| 11回 | ニット 経編・レース                       | （復習）緯編との違いを理解するための市場調査をする。身近にある経編の製品を観察し、特徴を理解する。                           | 30分  |
| 12回 | 不織布・皮革                           | （復習）革製品（含む人工皮革等）を市場調査し、風合いを確認する。自分の持っている革製品（含む人工皮革等）を観察し、特徴を捉える。            | 30分  |
| 13回 | 染色・加工                            | （復習）市場調査や自宅で、授業内で聞いた技法に該当する衣服がないか確認し、観察する。                                  | 30分  |
| 14回 | 産地・復習                            | （復習）全国にある産地を復習する。                                                           | 90分  |
| 15回 | まとめ 課題（試験やレポート等）<br>のフィードバックを行う  | （復習）授業内容を振り返り、まとめをする。                                                       | 60分  |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回授業終了時に manaba を用いた小テストを行い、翌週答え合わせをする。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 授業態度・姿勢               | 30% |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 70% |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 0%  |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |

## ■教科書

「アパレル素材の基本」織研新聞社

## ■参考文献

なし

## ■オフィスアワー・研究室

前期：水曜日（16：20～17：50）研究室（3011）

## ■備考

なし

# 画像設計演習

白木 ゆみ香

2年 前期又は後期 選択 (1単位 演習)

## ■授業の方針・概要

画像設計演習での使用ソフトは、Photoshop、4D-BOX（素材設計）、Power Point の計3つです。それぞれのソフトの基本操作や特徴を学び、実際に作品を制作しながら技法を習得し、表現力の拡大を図ります。

## ■到達目標（学修成果）

それぞれのソフトを活用し、連動させながら、デザイン考案やプレゼンテーションが出来る技術を身につけることを目標とします。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この教科は、専門選択科目で卒業要件科目の単位となります。専門コースに拘らず選択することが出来、ファッション業界で活躍できる専門力向上に資する科目です。

## ■授業計画

| 回数  | 授業内容                                      | 準備学修                      |      |
|-----|-------------------------------------------|---------------------------|------|
|     |                                           | 具体的内容（予習・復習等）             | 必要時間 |
| 1回  | オリエンテーション<br>4D-BOX（素材設計）<br>基本操作 ポルカ     | 予習：シラバスを読む。<br>復習：ノートの整理。 | 30分  |
| 2回  | 4D-BOX（素材設計）<br>基本操作 ストライプ、MIX            | 復習：ノートの整理。                | 20分  |
| 3回  | 4D-BOX（素材設計）<br>基本操作 織り柄                  | 復習：ノートの整理。                | 20分  |
| 4回  | ブランド立案に向けてのデザイン出し①                        | 予習：図書館・インターネットにて資料収集。     | 20分  |
| 5回  | ブランド立案に向けてのデザイン出し②<br>ハンガーイラスト5体          | 復習：ノートの整理。                | 20分  |
| 6回  | ブランド立案に向けてのデザイン出し③<br>ハンガーイラスト5体          | 復習：ノートの整理。                | 20分  |
| 7回  | Photoshop<br>作成した絵型に、4D-BOX で作成した柄や素材をのせる | 復習：ノートの整理。                | 20分  |
| 8回  | Photoshop<br>作成した絵型に、4D-BOX で作成した柄や素材をのせる | 復習：ノートの整理。                | 20分  |
| 9回  | Photoshop<br>作成した絵型に、4D-BOX で作成した柄や素材をのせる | 復習：ノートの整理。                | 20分  |
| 10回 | Photoshop<br>絵型の色や柄のバリエーションを作成。           | 復習：ノートの整理。                | 20分  |
| 11回 | Power Point<br>絵型のレイアウト、画像作成。             | 復習：ノートの整理。                | 20分  |
| 12回 | Photoshop<br>テキスタイルのレイアウト、画像作成。           | 予習：資料準備。                  | 20分  |
| 13回 | Power Point<br>プレゼン資料作成。                  | 予習：資料準備。                  | 30分  |
| 14回 | Power Point<br>プレゼン資料作成。                  | 予習：プレゼン準備。                | 60分  |
| 15回 | Power Point<br>各自の作品をプレゼンテーション。           | 予習：プレゼン準備。                | 60分  |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

- ・作品課題の提出は、PC 関係はデスクトップ上の配布提出 BOX ヘデータでの提出。  
指定された日時までに提出のこと。元データは各自で保存しているため、返却はなし。
- ・試験はなし。
- ・プレゼンテーションにて発表の際に講評あり。

## ■成績評価の方法・基準

|                      |     |
|----------------------|-----|
| 授業態度・姿勢              | 30% |
| 授業内課題（プレゼンテーション含む）   | 70% |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む） | 0%  |
| 外部評価・検定試験結果          | 0%  |

## ■教科書

必要に応じてデジタルテキストや資料配布。  
Fashion Ruler（教材）は各自購買部にて購入してください。

## ■参考文献 なし

## ■オフィスアワー・研究室

【前期】木 14:30～16:00 【後期】水 15:30～16:30 【研究室】デザイン CG 研究室（研究棟 1F）

## ■備考 進捗により、日程および内容の変更あり。

# ドローイングⅡ

瀬古 徹

2年 前期又は後期 選択 (1単位 実習)

## ■授業の方針・概要

1点ずつ丁寧に「絵」＝「作品」を制作していく。テーマは色彩による空間表現である。闇雲に筆を走らせるのではなく、描画の技法やシステムをテーマに作品を制作しながら、徐々に「自分の世界」をつくり上げていく。デザイン画やイラストレーションへ向かうだけではなく、発想や構想などのイメージクリエーションのウォーミングアップに展開することを期待する。

## ■到達目標（学修成果）

1. 「抽象的」なものの見方（現象的ではない）を身に付けるきっかけをつくる
2. 型にはまらないフリースタイルな発想法を発見する
3. 1. 2. を導き出すための制作の「方法論」、具体化するための「技法」を身に付ける
4. 手ごたえを感じるディティールの集積によって自分の表現の「世界」をつくりあげる実践力を身に付ける

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目であり、選択科目である。服飾表現における感性の精鋭に活かされる科目として位置づけている。

## ■授業計画

| 回数  | 授業内容                                                                            | 準備学修                                                 |      |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|------|
|     |                                                                                 | 具体的内容（予習・復習等）                                        | 必要時間 |
| 1回  | オリエンテーション →カリキュラムの流れとその構造、材料、技法の説明など                                            | 予習；シラバス内容の確認<br>復習；鉱物系顔料ガッシュ、細密描画用筆の購入準備（提案）         | 30分  |
| 2回  | 自画像 —グラフィティから—<br>→2トーンによる稜線の選択、形態の分析〔技法：ガッシュ、不透明色の塗り重ね〕<br>[アクティブラーニング (A.L)]  | 予習；頭部骨格、パーツの位置に関して、自らの頭部のスタイリング<br>復習；鉛筆による頭部のドローイング | 60分  |
| 3回  | 〃<br>→ガッシュ（黒）による塗り分け作業<br>[A.L]                                                 | 予習；頭部の立体形態の確認<br>復習；モチーフとしてのファッション雑誌よりの写真の収集         | 60分  |
| 4回  | 色面による写真の分析 →3トーンによる形態の選択、強調、省略<br>〔技法：ガッシュ、不透明色の塗り重ね〕<br>[A.L]                  | 予習；1年次「色彩演習」にて得た知識を基にした色彩プランニング<br>復習；図像の転写          | 90分  |
| 5回  | 〃<br>前回作品の講評、フィードバック<br>[A.L]                                                   | 復習；明部、暗部の作成                                          | 90分  |
| 6回  | 〃<br>[A.L]                                                                      | 復習；作品の完成                                             | 90分  |
| 7回  | オートマティズムによるドローイング-1<br>→“偶然”からの出発、選択、構成〔技法：ガッシュ、ウォッシュによるファンデーションと細密表現〕<br>[A.L] | 予習；柔らかい鉛筆の準備<br>復習；“描画”の進行とその検証                      | 30分  |
| 8回  | 〃<br>前回作品の講評、フィードバック<br>[A.L]                                                   | 復習；“描画”の進行                                           | 90分  |
| 9回  | 〃<br>[A.L]                                                                      | 予習；モチーフとしての雑誌写真の準備<br>復習；画面際への意識、完成                  | 90分  |
| 10回 | ファッションフォトコラージュとそこからの制作<br>→ビジュアルイメージのサンプリング、リミックス〔技法：コラージュ、ガッシュ総合的技法〕<br>[A.L]  | 復習；ファンデーション後、モチーフの転写                                 | 90分  |
| 11回 | 〃<br>[A.L]                                                                      | 復習；“描画”の進行とその検証                                      | 60分  |
| 12回 | 〃<br>前回作品の講評、フィードバック<br>[A.L]                                                   | 復習；“描画”の進行とその検証                                      | 60分  |
| 13回 | 〃<br>[A.L]                                                                      | 復習；作品の完成                                             | 60分  |
| 14回 | オートマティズムによるドローイング-2<br>→“偶然”からの展開、作品の発想へ〔技法：コラージュ、ガッシュ、ドライブラシ〕<br>[A.L]         | 予習；人体パーツ写真コピー準備<br>復習；人体骨格を意識したパーツ配置                 | 45分  |
| 15回 | 〃<br>まとめ→「作品」としての成立、「表現」のありかたに関して<br>前回作品の講評、フィードバック<br>[A.L]                   | 予習；ドライブラシ技法の練習<br>復習；ドローイングの専門への応用を考える               | 45分  |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回の提出作品の採点後、次回課題授業途中に、作品の全体的な評価点、問題点等を優秀作品の抜粋により解説する。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |               |
|-----------------------|-----|---------------|
| 授業態度・姿勢               | 30% | 出席状況、取り組みの姿勢等 |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 70% | 通常作品等         |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 0%  |               |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |               |

■教科書 授業の進行に合わせて、必要な場合プリントを配付する

■参考文献 必要に応じて授業時に指示

■オフィスアワー・研究室 オフィスアワーの曜日、時間は授業内で指示 連絡研究室 大学表現演習研究室（第3校舎1階）

■備考 なし

## 和服構成論・実習Ⅰ

平塚 由美子

2年 前期 選択 (1単位 実習)

## ■授業の方針・概要

我が国の民族服である和服（平面構成）の形状を理解し、手縫いで基本的な基礎技術を習得し、実物（大裁ちひとえ長着ゆかた）の制作することによって更に技術と知識の向上と和服に対する感心を深め、次世代へと継承する力を養う。

## ■到達目標（学修成果）

和服（きもの）の縫製を学び、進めていく為の総べての手縫いの技法を学び正確に速く縫う技術を習得することが出来る。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門選択科目であり、卒業要件単位となる。服飾造形の基礎力をもとに和服に関する知識と技術の向上に資する科目である。

## ■授業計画

| 回数  | 授業内容                                                                                                               | 準備学修                                                                        |      |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|------|
|     |                                                                                                                    | 具体的内容（予習・復習等）                                                               | 必要時間 |
| 1回  | 和服（平面構成）の特徴・和服の基礎知識と名称の説明<br>大裁ちひとえ長着（ゆかた）製作について、各部の名称<br>基本的なことについての説明（男物の違いなど）運針用布、<br>基礎縫い等の用布の裁断、基礎縫い見本標の作成の説明 | 予習 教科書と和服の基礎知識(P14～21)<br>浴衣の仕立て方(P.54～61)を読む<br>和裁用具を準備する。<br>基礎縫い見本標の作成準備 | 30分  |
| 2回  | 年間授業計画、用具の説明、運針についての説明、練習<br>（授業初めに10分間運針をする）基礎の縫い方・止め・くけ<br>について説明し基礎縫い用布に正確に作成                                   | 予習 基礎縫い(P.50～53)を読む<br>復習 運針の練習                                             | 30分  |
| 3回  | 基礎縫い見本標を完成させ次週提出<br>ゆかたの下準備の説明(水通し・地直し・検品等)                                                                        | 復習 基礎縫い実習予定まで終了<br>運針の練習                                                    | 30分  |
| 4回  | 学生の各自の採寸（寸法表に記入し毎回必ず持参する）<br>各自の寸法にてゆかたの柄合わせ・折り積みをする                                                               | 復習 基礎縫い実習予定まで終了<br>浴衣地用意                                                    | 30分  |
| 5回  | 地直しをした後、身頃と袖・おくみの柄合わせをし裁断。<br>袖のしるしつけをする。                                                                          | 予習 裁ち方教科書(P.62～65)を読む<br>ゆかたは水通しをしてくる。                                      | 30分  |
| 6回  | 袖縫いに入る・袖の丸み型の作成、丸みの縫いちぢめ<br>丸みの始末と袖底の始末の説明                                                                         | 予習 しるしつけ教科書(P.67～69)<br>袖の縫い方教科書(P.72～73)を<br>読む                            | 30分  |
| 7回  | 袖口の三つ折りくけの説明と袖の完成                                                                                                  | 復習 袖縫い実習予定まで終わらせる                                                           | 30分  |
| 8回  | 身頃の縫い方の説明（各自の寸法を確認）としるしつけの<br>説明                                                                                   | 予習 しるしつけ教科書(P.67～69)を<br>読む 両袖提出の準備                                         | 30分  |
| 9回  | 身頃のしるしつけ 背縫いについて説明と実習（二度縫い）<br>内揚げの説明 袖二枚完成させ（右・左）提出                                                               | 予習 背縫い教科書(P.74～75)を読む<br>復習 実習予定まで終わらせる                                     | 30分  |
| 10回 | 背縫い・内揚げの完成                                                                                                         | 復習 背縫い・内揚げ実習予定まで<br>終わらせる                                                   | 30分  |
| 11回 | 脇縫いの説明と縫代の始末の仕方の説明                                                                                                 | 予習 脇縫いの始末教科書(P84)を読む                                                        | 30分  |
| 12回 | 脇縫いと縫い代の始末の完成<br>衽と上前身頃の柄合わせ                                                                                       | 予習 肩当てつけ教科書(P.75～76)<br>いしき当てつけ教科書(P.77)<br>を読む                             | 60分  |
| 13回 | 肩当て、いしき当ての説明と完成<br>衽と衿を切り離す                                                                                        | 復習 試験問題の学習<br>持ち物 浴衣と半幅帯 腰ひも2本                                              | 60分  |
| 14回 | ペーパーテスト（確認テスト）<br>浴衣の着装体験（各自浴衣持参、予備の浴衣等有り）                                                                         | 復習 自分で浴衣を着てみる                                                               | 60分  |
| 15回 | 前期授業のまとめ（前期授業予定表と運針表の提出）<br>テストの返却と答え合わせ 衽の印付け後身頃に縫い付ける                                                            | 予習 おくみつけ教科書(P.78)を読む                                                        | 30分  |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

前期授業の感想の講評と定期試験の解説は後期授業初回に行う。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |                                                                                                         |
|-----------------------|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 授業態度・姿勢               | 10% | 日常の学習態度(出欠席、提出物の遅滞を含む)毎週の運針練習による<br>個別の進捗状態の記録、作品の評価ペーパーテストの成績などにより<br>総合的に評価する。前期授業内で運針上達の習熟度テストを実施する。 |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 70% |                                                                                                         |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 20% |                                                                                                         |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |                                                                                                         |

## ■教科書

和服の基礎とゆかた製作 熊田・森田・古松・秋山 共著 (有) 創英社

## ■参考文献

和服地のしおり(和裁研究室編集)

## ■オフィスアワー・研究室

連絡先: 教務課(本校舎1階) 出講日: 火曜日

## ■備考

実習Ⅱは、実習Ⅰ（前期の課程）を修了していること



## 和服構成論・実習Ⅱ

平塚 由美子

2年 後期 選択 (1単位 実習)

## ■授業の方針・概要

実習Ⅰ（前期）の課程で習得した基礎縫い技法を、実物制作することによって、和服の構成と手縫いの技術等への理解の向上を深める。大裁ちひとえ長着制作後、着装実習と和服・和装に関する基礎知識を学び、日本の伝統衣装である和服に関しての技術と知っておくべき知識を習得する事が出来る。

## ■到達目標（学修成果）

実習Ⅰの成果の上に、大裁ちひとえ長着（ゆかた）の制作達成と共に、和服の構成と和服全般に関する知識を充分理解することが出来る。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門選択科目であり、卒業要件単位となる。服飾造形の基礎力をもとに和服に関する知識と技術の向上に資する科目である。

## ■授業計画

| 回数  | 授業内容                                                                    | 準備学修                                                        |      |
|-----|-------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|------|
|     |                                                                         | 具体的内容（予習・復習等）                                               | 必要時間 |
| 1回  | 前期に引き続き浴衣の制作実習。<br>おくみしるしつけの確認とおくみつけ                                    | 予習 おくみつけ教科書(P.78)を読む<br>復習 実習予定まで終わらせる                      | 30分  |
| 2回  | おくみ付けの完成と縫いしろ(耳ぐけ)の説明<br>衿下(三つ折ぐけ)の始末と額縁の作り方の説明                         | 予習 衿下から裾回しの三つ折りぐけと<br>額縁のつくり方教科書(P.85)を読む<br>復習 実習予定まで終わらせる | 30分  |
| 3回  | おくみと衿下～裾周りの三つ折りぐけの完成                                                    | 復習 実習予定まで終わらせる                                              | 30分  |
| 4回  | 掛け衿の柄合わせ、衿と掛け衿のしるしつけの説明<br>本衿にかけ衿を付ける                                   | 予習 衿つけ 教科書(P.79)を読む<br>復習 実習予定まで終わらせる                       | 30分  |
| 5回  | 各寸法を確認して衿つけの待ち針打ちについて説明、<br>三つ衿芯の作成                                     | 予習 三つ衿芯入れ 教科書(P.80)を読む<br>復習 実習予定まで終わらせる                    | 30分  |
| 6回  | 身頃の衿肩回りの印付けをしてから身頃に衿をつける<br>(印と印を正確に合わせる)<br>三つ衿芯入れ、衿幅を整えてしつけをかける       | 予習 衿先の始末 教科書(P.81)を読む<br>復習 実習予定まで終わらせる                     | 30分  |
| 7回  | 衿先の作り方(男物・女物)<br>衿ぐけ(本ぐけ)の完成                                            | 予習 袖つけ 教科書(P.86)を読む<br>復習 実習予定まで終わらせる                       | 30分  |
| 8回  | 袖つけの説明と作成<br>袖の振り(女物)と人形(男物)の説明                                         | 予習 教科書(P.72～73)を読む<br>復習 実習予定まで終わらせる                        | 60分  |
| 9回  | 肩当ての始末 袖付けの完成と仕上げ                                                       | 予習 肩当ての始末 教科書(P.87)を読む<br>復習 実習予定まで終わらせる                    | 60分  |
| 10回 | 総仕上げ 着物の畳み方と手入れの仕方                                                      | 復習 実習予定まで終わらせる<br>予習 教科書(P.89)を読む                           | 60分  |
| 11回 | 【着物学】和服の種類を見て触って学ぶ講義<br>第一回 寿ぎの和服・特別な着物 浴衣の提出開始                         | 予習 教科書(P.14～43)を読む                                          | 30分  |
| 12回 | 第二回 おしゃれ着・遊び着としての和服<br>浴衣の提出                                            | 予習 教科書・配布プリントの範囲を覚える<br>復習 着物での立ち振る舞いを覚える                   | 60分  |
| 13回 | 第三回 成人式・卒業式に着る和服<br>終了後講義のレポートを記入し後期授業予定表に感想を<br>書いて提出 確認テストの範囲 浴衣の提出期限 | 予習 自装の準備(腰ひも2本・半幅帯)<br>確認テストの勉強                             | 30分  |
| 14回 | 確認テスト<br>各自製作のゆかたの寸法・柄合わせをチェックしながら、<br>自装・他装で着装して帯結びをし着心地を確認する          | 復習 家庭でもう一度着装してみる<br>準備 自由着装発表の準備                            | 30分  |
| 15回 | 「私のきもの遊び」と題して制作した作品を個性を生かし<br>自由な発想で着てみる。授業のまとめと感想                      | 着物を自由にアレンジして発表                                              | 30分  |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内での実技テストと製作作品については14回目で講評する。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 授業態度・姿勢               | 10% |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 70% |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 20% |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |

日常の学習態度(出欠席、提出物の遅滞を含む)、毎週の運針練習による個別の進歩の状態の記録、作品の評価、ペーパーテストの成績などにより総合的に評価する。  
後期授業期間末に技術習得状況を確認するため、技術実習テストを実施する。

## ■教科書

和服の基礎とゆかた製作 熊田・森田・古松・秋山 共著 (有)創英社

## ■参考文献

和服地のしおり(和裁研究室編集)

## ■オフィスアワー・研究室

連絡先：教務課(本校舎1階) 出講日：火曜日

## ■備考

実習Ⅱは、実習Ⅰ（前期の課程）を修了していること。

## 衣服管理

三代 かおる

2年 前期又は後期 選択 (2単位 講義)

## ■授業の方針・概要

衣服は着用による汚れを回復させること(洗濯)と製品本来の性能を維持すること(手入れ、保管)を繰り返した後、廃棄あるいはリサイクルされるという一生を送る。本講義では、衣服を管理するために必要な洗浄理論や適切な保管方法を中心に学ぶ。市販されている洗濯関連商品と衣服により、実生活と結びつけてイメージしやすいように実施する。

## ■到達目標(学修成果)

市販の衣料用洗剤の種類や成分表示、衣類に付着している取り扱い絵表示、洗濯機や乾燥機の機能に関心を持ち、衣服に適した洗濯や保管を行うことで、最初の綺麗で美しい状態を保持し、長く大切に衣類を扱える能力を習得する。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門選択科目であり、服飾造形関係の基礎を学習する科目。卒業要件科目。

## ■授業計画

| 回数  | 授業内容                       | 準備学修                           |      |
|-----|----------------------------|--------------------------------|------|
|     |                            | 具体的内容(予習・復習等)                  | 必要時間 |
| 1回  | ガイダンス 衣服管理とは 洗濯に関する知識の確認   | 予習:シラバスを読む。日常で使っている洗剤の確認をする。   | 20分  |
| 2回  | 衣服の汚れ 衣服の機能との関係            | 復習:授業資料の確認をし、衣服の機能を理解する。       | 30分  |
| 3回  | 水と洗剤 硬度成分の影響               | 復習:教科書を確認し、硬水の影響を理解する。         | 30分  |
| 4回  | 衣服の洗浄 洗浄に関わる要因             | 復習:教科書を確認し、洗浄に重要な要素を理解する。      | 30分  |
| 5回  | 界面活性剤 分類と構造 洗剤プリント提出       | 予習:家庭の洗剤成分を調べる。                | 30分  |
| 6回  | 配合剤 種類と作用                  | 復習:教科書を確認し、界面活性剤と配合剤を理解する。     | 30分  |
| 7回  | 合成洗剤と環境 現在までの変化            | 復習:教科書を確認し、合成洗剤の変遷を理解する。総復習する。 | 120分 |
| 8回  | 中間試験                       | 復習:試験問題を振り返る。                  | 30分  |
| 9回  | 洗浄のメカニズム                   | 復習:教科書、配布プリントを参考にし、洗浄作用を理解する。  | 30分  |
| 10回 | 実験:界面活性剤の作用 レポート提出         | 予習:界面活性剤の作用を理解しておく。            | 30分  |
| 11回 | 家庭洗濯                       | 復習:教科書を確認し、洗濯条件を理解する。          | 30分  |
| 12回 | 商業洗濯                       | 復習:教科書を確認し、理解する。               | 30分  |
| 13回 | 漂白と増白                      | 復習:教科書を確認し、漂白剤の使用法を理解する。       | 30分  |
| 14回 | 衣服の仕上げと保管                  | 復習:授業内容すべての総復習をして理解を深める。       | 120分 |
| 15回 | まとめ 課題(試験やレポート等)フィードバックを行う | 復習:試験問題を振り返る。                  | 30分  |

## ■フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

洗剤プリント、レポートを添削返却、解説、また授業内容課題も適宜行い理解度を確認する。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 授業態度・姿勢               | 30% |
| 授業内試験・課題(プレゼンテーション含む) | 70% |
| 期末試験・課題(プレゼンテーション含む)  | 0%  |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |

## ■教科書

増子富美ほか著、生活科学テキストシリーズ 被服管理学、朝倉書店、2012

## ■参考文献

授業内で適宜紹介する。

## ■オフィスアワー・研究室

前期 水曜日(10時30分～10時40分)第3校舎講師控室(第3校舎1階)

後期 水曜日(12時10分～12時50分)第3校舎講師控室(第3校舎1階)

## ■備考

必ず教科書と配布資料を持ってくる。提出物の期日は守ること。

# 染色化学

中村 弥生

2年 後期 選択 (2単位 講義)

## ■授業の方針・概要

衣服は染色と加工によって、美しさ、快適さが与えられる。染色化学では、アパレル生産において染色加工がどのように行われるか、その方法としくみを学ぶ。また、消費性能としての染色物の堅牢性、染色加工を含むアパレル生産が地球環境や社会に与える影響について考える。さらに工芸染色の技法等についても学ぶ。

## ■到達目標（学修成果）

アパレル生産の流れを知る。染色や加工も含めた衣服づくり、染色堅牢性などの消費科学的な性能、染色加工による環境への影響などを考慮した衣服作りができるようになる。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門選択科目の卒業要件科目。服飾を専門とする学生として必要な染料、染色加工等に関する基礎的な知識の向上に資する科目です。

## ■授業計画

| 回数  | 授業内容                     | 準備学修                                    |      |
|-----|--------------------------|-----------------------------------------|------|
|     |                          | 具体的内容（予習・復習等）                           | 必要時間 |
| 1回  | オリエンテーション：授業についての概説      | 予習：シラバスを読み授業の概要を把握<br>復習：授業内容の確認        | 20分  |
| 2回  | アパレル生産における染色加工工程①概要・準備工程 | 予習：アパレル生産の流れを把握<br>復習：染色加工前準備工程の確認      | 30分  |
| 3回  | アパレル生産における染色加工工程②染色工程・浸染 | 予習：浸染とは何かを把握<br>復習：浸染の種類、方法を確認          | 30分  |
| 4回  | アパレル生産における染色加工工程③染色工程・捺染 | 予習：捺染とは何かを把握<br>復習：捺染の種類、方法の確認          | 30分  |
| 5回  | アパレル生産における染色加工工程④仕上げ工程   | 予習：仕上げ加工とは何かを把握<br>復習：仕上げ加工の種類と方法の確認    | 30分  |
| 6回  | 2～5回授業の確認テスト（資料映像視聴）     | 予習：2～5回授業の資料をまとめる<br>復習：染色加工工程の流れを確認    | 30分  |
| 7回  | 色素                       | 予習：色が見えるしくみを把握<br>復習：異なる色に見える理由を確認      | 30分  |
| 8回  | 染まるしくみ                   | 予習：染まるしくみを把握<br>復習：なぜ染まるのかを確認           | 30分  |
| 9回  | 染色物の堅牢性                  | 予習：堅牢性とは何かを把握<br>復習：堅牢性評価の方法と応用を確認      | 30分  |
| 10回 | 7～9回授業の確認テスト（資料映像視聴）     | 予習：7～9回授業の資料をまとめる<br>復習：染まるしくみ、堅牢度試験を確認 | 30分  |
| 11回 | 工芸染色①                    | 予習：工芸染色の種類を把握<br>復習：工芸染色の技法を確認          | 30分  |
| 12回 | 工芸染色②（資料映像視聴）            | 予習：地元周辺地域の工芸染色を調査<br>復習：工芸染色の現状を確認      | 40分  |
| 13回 | 染色加工による環境への影響①           | 予習：染色加工の環境への影響を把握<br>復習：染色加工の環境への影響を確認  | 30分  |
| 14回 | 染色加工による環境への影響②（資料映像視聴）   | 予習：自分のワードローブを調査<br>復習：環境への影響の現状を確認      | 40分  |
| 15回 | グループワーク、まとめ              | 予習：2～14回授業の資料をまとめる<br>復習：授業内容整理         | 30分  |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

manabaを使った授業前後のリアクションペーパーの提出により受講生は授業の予習・復習を行い、教員はコメントを返す。学生の疑問が解決できる内容の授業を展開する形でフィードバックを行う。確認テストの返却および解説を行う。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 授業態度・姿勢               | 30% |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 70% |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 0%  |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |

## ■教科書

使用しない 資料配布（各回の資料を前週に配付する。授業前に予習すること。）

## ■参考文献

授業内で提示

## ■オフィスアワー・研究室

連絡先：本校舎1階教務課（オフィスアワーに関しては初回の授業でお知らせします。）

## ■備考

①第1回目の授業で授業内容や受講に際しての注意などを説明します。必ず出席し、内容を十分理解してから受講して下さい。

②受講者数、授業進捗状況等により授業内容が多少変更になる場合があります。

## ファッション史

鈴木 桜子

2年 前期又は後期 選択 (2単位 講義)

## ■授業の方針・概要

私たちがいま着ている現代衣服の源流は、およそ100年前に遡ります。その間、多くの革新的なデザイナーが誕生し、流行のファッションが繰り広げられてきました。しかし、一見、一過性の流行と思われがちなその現象の背後には、政治的・社会問題や同時代の芸術・デザイン運動との関連性が見受けられます。

本授業では、近現代を中心に、デザイン諸領域の動向を理解しながら、服飾デザインの理論とその歴史性を探っていくことを方針としています。

## ■到達目標（学修成果）

時代のデザイン思考を学ぶことによって、学生一人ひとりがファッションに対する考え方を確立していくきっかけの一つになることが本授業の目標です。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

選択科目ではありますが、1年次の必修科目「西洋服飾文化史」と合わせて服飾史として通史が完成される内容になっています。本学学生には必須の授業です。

## ■授業計画

| 回数  | 授業内容                      | 準備学修                        |      |
|-----|---------------------------|-----------------------------|------|
|     |                           | 具体的内容（予習・復習等）               | 必要時間 |
| 1回  | オリエンテーション 現代ファッションの100年   | シラバスの確認                     | 20分  |
| 2回  | I. デザイン運動とファッション① ジャポニスム  | 復習：前回ノートの確認+manaba復習        | 30分  |
| 3回  | ② 改良服運動                   | 復習：前回ノートの確認+manaba復習        | 30分  |
| 4回  | ③ アール・ヌーヴォー               | 復習：前回ノートの確認+manaba復習        | 30分  |
| 5回  | ④ ウィーン工房                  | 復習：前回ノートの確認+manaba復習        | 30分  |
| 6回  | ⑤ ロシア構成主義とデ・スタイル          | 復習：前回ノートの確認+manaba復習        | 30分  |
| 7回  | ⑥ バウハウス                   | 復習：前回ノートの確認+manaba復習        | 30分  |
| 8回  | II. モードの革新者たち① マドレーヌ・ヴィオネ | 復習：前回ノートの確認+manaba復習        | 30分  |
| 9回  | ② ガブリエル・シャネル              | 復習：前回ノートの確認+manaba復習        | 30分  |
| 10回 | ③ エルザ・スカパレリ               | 復習：前回ノートの確認+manaba復習        | 30分  |
| 11回 | 戦後のモード ディオールからサンローランまで    | 復習：前回ノートの確認+manaba復習        | 30分  |
| 12回 | モードの多様化 アンチ・モード           | 復習：前回ノートの確認+manaba復習        | 30分  |
| 13回 | 日本人デザイナーたち                | 復習：前回ノートの確認+manaba復習        | 30分  |
| 14回 | 北欧デザインとファッション             | 復習：前回ノートの確認+manaba復習        | 30分  |
| 15回 | まとめと復習                    | 予習：これまでのノート+manaba復習<br>の確認 | 40分  |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回プリントノートを提出し、次回授業時に返却します。また進度に合わせて途中評価をフィードバックしていきます。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 授業態度・姿勢               | 30% |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 70% |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 0%  |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |

※プリントノートの提出  
※manaba復習の取り組み  
※授業内小テスト

## ■教科書

Web教材：塚田耕一・鈴木桜子「ファッション史年表：現代ファッションの100年」

（杉野学園衣裳博物館 HP：[www.costumemuseum.jp](http://www.costumemuseum.jp)）\*プリントとしても配布します。

## ■参考文献

授業内容に応じて紹介します。

## ■オフィスアワー・研究室

初回の授業でお知らせします。

## ■備考

なし

## ブライダルファッションプランニングゼミ

井口 多恵子

2年 通年 選択 (2単位 演習)

## ■授業の方針・概要

1年次に学んだ服飾造形の基礎、社会人基礎や配色の知識を活かし、全日本ブライダル協会認定のカリキュラムに沿ってブライダルに関する基礎知識を修得します。

## ■到達目標（学修成果）

- ①全日本ブライダル協会のブライダルファッションプランナーの資格取得の試験に合格する。
- ②ブライダル業界についての理解が深まり、将来のキャリア選択の視野が広がる。
- ③資格取得後は、さらなる上位の資格を目指す一歩になる。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件の専門選択科目です。ブライダル業界で活躍できる基礎的な知識の修得に資する科目です。

## ■授業計画

| 回数  | 授業内容                                                                    | 準備学修                                              |      |
|-----|-------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|------|
|     |                                                                         | 具体的内容（予習・復習等）                                     | 必要時間 |
| 1回  | 1. オリエンテーション：ブライダル協会の活動とブライダル業界の現状を学ぶ<br>2. 結婚式の種類：挙式のスタイルを学ぶ。          | 予習：シラバスを読む<br>コンテンツ1、2を読む                         | 30分  |
| 2回  | 2. 結婚式の種類：挙式のスタイルを学ぶ。                                                   | 復習：授業範囲を読み返し manaba で振り返る<br>予習：次のコンテンツを読む。       | 40分  |
| 3回  | 3. 日本の婚礼の歴史：古来～現代の婚礼スタイルに至るまでの歴史を学ぶ。                                    | 復習：授業範囲を読み返し manaba で振り返る<br>予習：次のコンテンツを読む。       | 40分  |
| 4回  | 3. 日本の婚礼の歴史（継続）<br>4. 結納・婚約の現状：結納・婚約から結婚式までの流れを学ぶ                       | 復習：授業範囲を読み返し manaba で振り返る<br>予習：次のコンテンツを読む。       | 40分  |
| 5回  | 4. 結納・婚約の現状（継続）<br>5. セレモニー・レセプションの現状とトレンド：多様化するセレモニー・レセプションの現状とトレンドを学ぶ | 復習：授業範囲を読み返し manaba で振り返る<br>予習：次のコンテンツを読む。       | 40分  |
| 6回  | 6. カラーコーディネート：演出として「色」を活用できるように色彩の基礎を学ぶ。                                | 復習：授業範囲を読み返し manaba で振り返る<br>予習：次のコンテンツを読む。       | 40分  |
| 7回  | 7. フラワーコーディネート：空間演出をする会場装花やウェディングブーケ・ブートニアについて学ぶ。                       | 復習：授業範囲を読み返し manaba で振り返る<br>予習：次のコンテンツを読む。       | 40分  |
| 8回  | 8. 婚礼衣装の基本コーディネート：ウェディングドレスの必須アイテムとそのコーディネート方法を学ぶ。                      | 復習：授業範囲を読み返し manaba で振り返る<br>予習：次のコンテンツを読む。       | 40分  |
| 9回  | 8. 婚礼衣装の基本コーディネート（継続）<br>9. フォーマルファッション：ルールブックを用いて、フォーマルウェアのドレスコードを学ぶ   | 復習：授業範囲を読み返し manaba で振り返る<br>予習：次のコンテンツを読む。       | 40分  |
| 10回 | 9. フォーマルファッション（継続）<br>10. 和装コーディネート：和装の各部名称と身に付ける小物の意味や使用している素材について学ぶ。  | 復習：授業範囲を読み返し manaba で振り返る<br>予習：次のコンテンツを読む。       | 40分  |
| 11回 | 10. 和装コーディネート（継続）：和装の各部名称と身に付ける小物の意味や使用している素材について学ぶ。                    | 復習：授業範囲を読み返し manaba で振り返る<br>予習：学習した範囲のコンテンツを読む。  | 40分  |
| 12回 | 婚礼に関する衣装やアクセサリーなどの見学、グループワーク（着装体験）とディスカッション<br>小試験                      | 復習：11回目の授業範囲を読み返し、授業内テストの準備をする。<br>予習：次のコンテンツを読む。 | 40分  |
| 13回 | 小試験解説<br>11. フォトスタイリング：花嫁を美しく撮影するための基礎知識を学ぶ。                            | 復習：授業範囲を読み返し manaba で振り返る<br>予習：次のコンテンツを読む。       | 40分  |
| 14回 | 12. ブライダルアテンドの方法：カップルの身の回りの世話やスケジュールを管理するアテンダントの役割を学ぶ。                  | 復習：授業範囲を読み返し manaba で振り返る<br>予習：関連コンテンツを読む。       | 40分  |
| 15回 | フラワーコーディネート実習：コサージュ制作<br>婚礼衣装アイテム実習：ベール制作                               | 復習：授業範囲を読み返し manaba で振り返る<br>予習：関連コンテンツを読む。       | 40分  |

|     |                                           |                                             |     |
|-----|-------------------------------------------|---------------------------------------------|-----|
|     | フラワーコーディネート実習：コサージュ制作<br>婚礼衣装アイテム実習：ベール制作 | 復習：授業範囲を読み返し manaba 小テストで振り返る予習：関連コンテンツを読む。 | 40分 |
| 17回 | フラワーコーディネート実習：コサージュ制作<br>婚礼衣装アイテム実習：ベール制作 | 復習：授業範囲を読み返し manaba で振り返る<br>予習：関連コンテンツを読む。 | 30分 |
| 18回 | 和装と洋装衣装見学                                 | 復習：授業範囲を読み返し manaba で振り返る<br>予習：関連コンテンツを読む。 | 30分 |
| 19回 | セレモニー・レセプション会場見学                          | 復習：授業範囲を読み返し manaba で振り返る<br>予習：関連コンテンツを読む。 | 30分 |

## 【28】

|      |                                                   |                                                 |      |
|------|---------------------------------------------------|-------------------------------------------------|------|
| 20 回 | マナー実習                                             | 復習：授業範囲を読み返し manaba で振り返る<br>予習：次のコンテンツを読む。     | 30 分 |
| 21 回 | 13. 接客の知識：お客様に満足してもらえる物やサービスが提供できる知識を学ぶ。          | 復習：授業範囲を読み返し manaba で振り返る<br>予習：次のコンテンツを読む。     | 30 分 |
| 22 回 | 14. 基本のマナー（名刺交換・訪問・食事等）：人と交際するうえで必要なマナー（礼儀作法）を学ぶ。 | 復習：授業範囲を読み返し manaba で振り返る<br>予習：次のコンテンツを読む。     | 40 分 |
| 23 回 | 15. 専門用語：式場で使う用語、宝飾（ジュエリー）用語を学ぶ                   | 復習：授業範囲を読み返し manaba で振り返る<br>予習：次のコンテンツを読む。     | 40 分 |
| 24 回 | 試験対策 1：過去の検定試験問題を参考にテスト形式で出題し、回答、答え合わせ、→提出        | 復習：学習した範囲を読み返し、授業内テストの準備をする。<br>予習：学習した内容を読み返す。 | 40 分 |
| 25 回 | 試験対策 2：過去の検定試験問題を参考にテスト形式で出題し、回答、答え合わせ→提出         | 復習：学習した範囲を読み返し、授業内テストの準備をする。<br>予習：学習した内容を読み返す  | 40 分 |
| 26 回 | 試験対策 3：過去の検定試験問題を参考にテスト形式で出題し、回答、答え合わせ→提出         | 復習：学習した範囲を読み返し、授業内テストの準備をする。<br>予習：学習した内容を読み返す  | 40 分 |
| 27 回 | 試験対策 4：過去の検定試験問題を参考にテスト形式で出題し、回答、答え合わせ→提出         | 復習：学習した範囲を読み返し、授業内テストの準備をする。<br>予習：学習した内容を読み返す  | 60 分 |
| 28 回 | 試験対策 5：過去の検定試験問題を参考にテスト形式で出題し、回答、答え合わせ→提出         | 復習：学習した範囲を読み返し、授業内テストの準備をする                     | 60 分 |
| 29 回 | 模擬試験：検定試験を想定して行う。                                 | 復習：すべての単元に目を通す                                  | 60 分 |
| 30 回 | まとめ 検定試験の解説                                       | 復習：検定試験の問題に目を通す                                 | 30 分 |

### ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

制作した作品について、提出後 manaba にてコメントし、返却する。模擬試験、検定試験について試験実施後に解説を行う。

### ■成績評価の方法・基準

|                       |     |                                    |
|-----------------------|-----|------------------------------------|
| 授業態度・姿勢               | 30% |                                    |
| 授業内試験・課題(プレゼンテーション含む) | 50% | 小試験、試験対策 1～5、模擬試験 作品：パール制作、コサージュ制作 |
| 期末試験・課題(プレゼンテーション含む)  | 0%  |                                    |
| 外部評価・検定試験             | 20% | 全日本ブライダル協会認定ジュニアライセンス検定            |

### ■教科書

「ブライダルの基礎知識」全日本ブライダル協会発行  
「フォーマルウェア・ルールブック」日本フォーマル協会発行  
内容に応じてプリントを配付します。

### ■参考文献

必要に応じて適時紹介します。

### ■オフィスアワー・研究室

初回授業時にお知らせします。

### ■備考

授業計画 15～17 回（フラワーコーディネート実習：コサージュ制作、婚礼衣装アイテム実習：パール制作）、  
授業計画 18 回（和装／洋装の衣装見学）19 回（セレモニー・レセプション会場見学）20 回（マナー実習）については  
時間割配当表の通常時間外に実施する計画になります。

日程及び内容は変更することがあります。

検定試験（12 月初旬に実施予定）までに 30 回の授業を確保します。（変則に授業日を設定します。日程は随時伝えます）  
テキストは毎回持参します。

検定料が 25,000 円（教科書代、受験料、認定証書代を含む）がかかります。なお、見学及びテーブルマナー実習費として  
10,000 円、材料費（パール制作、コサージュ制作）に 3,000 円が別途がかかります。

# インターンシップ

笹部 小百合

2・3年 集中 選択 (2単位 実習)

## ■授業の方針・概要

専門コースを選択したことにより、将来の目標が明確になってきたと思います。卒業後の仕事について確認し、今後の授業の取り組みを見据えるために大切な体験になります。

インターンシップ（就労体験）を通して、専門分野に関連する実務体験を企業で体験・学修します。実務能力を高め、企業で必要とされる能力を感じ取ることで、卒業後の就職に対する意欲と学内での学修をより深く理解することができます。企業でのインターンシップ生教習実務経験を基に指導し、自ら社会で活躍できる人材になろうとする意識強化を目指します。

## ■到達目標（学修成果）

学内授業では得られない就労体験を行うことで将来の就職に生かせる理解と能力を身につけることを目標とします。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目の卒業要件科目です。将来の就職に向けて仕事を理解するための選択科目です。

## ■授業計画

| 回数  | 授業内容                                                     | 準備学修                       |      |
|-----|----------------------------------------------------------|----------------------------|------|
|     |                                                          | 具体的内容（予習・復習等）              | 必要時間 |
| 1回  | オリエンテーション：事前授業によるカリキュラムとスケジュール、目的、内容説明、研修について（グループワーク）   | 予習：企業について研究する              | 90分  |
| 2回  | 面談：研修先企業や職種について就職部職員との面談                                 | 復習：研修先について検討する             | 60分  |
| 3回  | 事前授業：研修の心得とマナー等について<br>・企業人事の講義「企業が望むインターンシップ」           | 復習：企業の講義について振り返る           | 30分  |
| 4回  | 企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む                                  | 復習：研修日誌を書く                 | 30分  |
| 5回  | 企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む                                  | 復習：研修日誌を書く                 | 30分  |
| 6回  | 企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む                                  | 復習：研修日誌を書く                 | 30分  |
| 7回  | 企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む                                  | 復習：研修日誌を書く                 | 30分  |
| 8回  | 企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む                                  | 復習：研修日誌を書く                 | 30分  |
| 9回  | 企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む                                  | 復習：研修日誌を書く                 | 30分  |
| 10回 | 企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む                                  | 復習：研修日誌を書く                 | 30分  |
| 11回 | 企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む                                  | 復習：研修日誌を書く                 | 30分  |
| 12回 | 企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む                                  | 復習：研修日誌を書く                 | 30分  |
| 13回 | 企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む                                  | 復習：研修日誌を書く                 | 30分  |
| 14回 | 事後授業：企業研修の振り返り（グループワーク）<br>報告会に向けてのプレゼンテーション資料準備         | 復習：報告書作成と報告会に向けての準備        | 90分  |
| 15回 | 事後報告：報告書、研修日誌の提出と報告会でのプレゼンテーション（学修成果と得られた技術を含む）および講評を行う。 | 復習：報告会での講評を振り返り、今後の学修に役立てる | 30分  |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

グループワーク・研修日誌による毎日の提出内容の企業研修先による講評、最終報告書提出の講評、報告会による講評を授業内や学内システム（manaba）でフィードバックします。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |                |
|-----------------------|-----|----------------|
| 授業態度・姿勢               | 10% | 事前授業や事後報告      |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 30% | 研修日誌や報告書       |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 10% | 報告会でのプレゼン      |
| 外部評価・検定試験結果           | 50% | 企業での就労態度や実務の評価 |

## ■教科書

なし

## ■参考文献

なし

## ■オフィスアワー・研究室

授業初日に伝えます。

## ■備考

実務時期、期間：2・3年生夏休み（評価は2・3年後期）または2年生春休み（評価は3年前期）で10日以上。

研修内容、地域：企業により異なる。地域は主に首都圏および各県。

## 色彩論

水越 綾

2年 後期 選択 (単位 講義)

## ■授業の方針・概要

本授業は、日本ファッション教育振興協会が実施している『ファッション色彩能力検定試験2級』受験を目的とした科目となりますが、試験対策講座に留めるつもりはなく、皆さんがこの先服飾表現関係の専門的な分野において活かせる力を身に付けて頂く事をも目的としています。

3級レベルの色彩基礎力が身につけていること（1年次開講科目『色彩演習』履修）が本科目を履修する上では望ましいが、履修されていなくても学習可能なカリキュラムにしています。

色を的確に扱えるようになる為には、単に配色パターンを学ぶだけでは足りません。“なぜそこにその色なのか”を客観的に判断でき、かつ第三者に説明できる力が必要になってきます。

その為、この授業では色を取り巻く事柄（色の科学、歴史、視覚伝達の仕組み、産業における色彩等）について学び、多角的に色を捉える力を養います。

対面授業の回数は全8回とはなりますが、知識の定着を目指すことから、manabaを通じた課題取り組み等を時間外にも実施します。

## ■到達目標（学修成果）

ファッション色彩能力検定試験2級合格と、服飾表現関係の専門的な分野において色を活かせる力を身に付けることを目標とします。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は専門選択科目の単位となりますが、学部評価として色彩検定2級合格が求められており、資格取得に向けた知識を身に付けることができます。また、視覚的な感性や表現力を持った服飾表現の専門教育に備えての基礎的な能力を養う科目でもあります。

## ■授業計画

| 回数 | 授業内容                                                                                                                            | 準備学修                                                                                                                           |      |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
|    |                                                                                                                                 | 具体的内容（予習・復習等）                                                                                                                  | 必要時間 |
| 1回 | 初回オリエンテーション：学習の進め方<br>3級で学んだ事の確認<br>第1章：概論(01産業と色彩、02ファッション産業と色彩)、新しいタイプの商標の保護—色彩のみからなる商標<br>本日の確認問題・解説                         | 予習：3級レベルのおさらい（manabaで事前にと組んでおく）<br>該当箇所を事前に教科書・問題集で確認する。不明な箇所があれば担当教員に質問をしてクリアにする。<br>復習：確認テストで間違えた箇所に関しては再度教科書を読み返して、確認をしておく。 | 90分  |
| 2回 | 前回の確認問題・解説<br>第2章：色彩理論（01光と色）<br>第2章：色彩理論（02色覚のしくみ）<br>本日の確認問題・解説                                                               | 予習：該当箇所を事前に教科書・問題集で確認する。不明な箇所があれば担当教員に質問をしてクリアにする。<br>復習：確認テストで間違えた箇所に関しては再度教科書を読み返して、確認をしておく。                                 | 90分  |
| 3回 | 前回の確認問題・解説<br>第2章：色彩理論（02色覚のしくみ／03色彩と心理-2）<br>第3章：色彩体系（01色名、02三属性による色の表示方法）<br>本日の確認問題・解説                                       | 予習：該当箇所を事前に教科書・問題集で確認する。不明な箇所があれば担当教員に質問をしてクリアにする。<br>復習：確認テストで間違えた箇所に関しては再度教科書を読み返して、確認をしておく。                                 | 90分  |
| 4回 | 前回の確認問題・解説<br>第3章：色彩体系（01色名、02三属性による色の表示方法、03色見本とカラーコード）<br>第4章：日本の古典的な配色—かさねの色目<br>本日の確認問題・解説                                  | 予習：該当箇所を事前に教科書・問題集で確認する。不明な箇所があれば担当教員に質問をしてクリアにする。<br>復習：確認テストで間違えた箇所に関しては再度教科書を読み返して、確認をしておく。                                 | 90分  |
| 5回 | 前回の確認問題・解説<br>第4章：配色と色彩調和（01流行配色、02調和の技術、04ファッションイメージとカラーコーディネート）<br>本日の確認問題・解説                                                 | 予習：該当箇所を事前に教科書・問題集で確認する。不明な箇所があれば担当教員に質問をしてクリアにする。<br>復習：確認テストで間違えた箇所に関しては再度教科書を読み返して、確認をしておく。                                 | 90分  |
| 6回 | 前回の確認問題・解説<br>第4章：配色と色彩調和（03色彩調和論）<br>第5章：ファッション産業における色彩計画<br>（01ファッション産業において色彩を取り扱う姿勢、02情報としての色彩、03商品企画における色彩計画）<br>本日の確認問題・解説 | 予習：該当箇所を事前に教科書・問題集で確認する。不明な箇所があれば担当教員に質問をしてクリアにする。<br>復習：確認テストで間違えた箇所に関しては再度教科書を読み返して、確認をしておく。                                 | 90分  |
| 7回 | 前回の確認問題・解説<br>第5章：ファッション産業における色彩計画（04生産段階における色彩計画、05販売における色彩計画）<br>本日の確認問題・解説                                                   | 予習：該当箇所を事前に教科書・問題集で確認する。不明な箇所があれば担当教員に質問をしてクリアにする。<br>復習：確認テストで間違えた箇所に関しては再度教科書を読み返して、確認をしておく。                                 | 90分  |
| 8回 | 前回の確認問題・解説<br>第5章：ファッション産業における色彩計画（06パーソナルコーディネートと色彩）<br>まとめとポイント整理                                                             | 予習：該当箇所を事前に教科書・問題集で確認する。不明な箇所があれば担当教員に質問をしてクリアにする。<br>復習：確認テストで間違えた箇所に関しては再度教科書を読み返して、確認をしておく。                                 | 90分  |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業時間内及びmanabaを通じ、全体・個別にフィードバックをおこないます。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 授業態度・姿勢               | 30% |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 70% |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 0%  |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |

■教科書：ファッション色彩Ⅱ、ファッション色彩能力検定試験2級問題集（財団法人 日本ファッション教育振興協会）

■参考文献：必要があれば、適宜アナウンス致します。ファッション色彩Ⅲ（一般財団法人 日本ファッション教育振興協会）、ファッション色彩能力検定試験3級問題集（一般財団法人 日本ファッション教育振興協会）、特許庁ウェブサイト

■オフィスアワー・研究室：オフィスアワーに関しては、決定次第manabaにて告知致します。研究室：研究棟 1F6012B 情報基礎研究室

■備考：お知らせ事項があればmanabaにて周知致します。



# 家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む）

阿部 睦子

2年 前期 選択 （2単位 講義）

## ■授業の方針・概要

社会生活の基本単位としての家庭を経営する視点から、家族や家庭を巡る諸現象の考察を通して、よりよい生活設計のあり方を探ります。授業形態は講義・演習を基本としますが、授業の展開は学生が主体的に取り組めるようにし、今後、教職の学習指導に活かすことができるとともに、学生自身の生活にいかすことを目指します。

## ■到達目標（学修成果）

今日の生活スタイルの特徴を理解し、①家族関係・家族心理について、②衣食住の運営について、③家庭経済について、④家庭管理についてなどの視点から家庭経営について系統的に考え理解できるようになる。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、選択科目として卒業要件科目となります。

## ■授業計画

| 回数  | 授業内容                                                  | 準備学修                                           |      |
|-----|-------------------------------------------------------|------------------------------------------------|------|
|     |                                                       | 具体的内容（予習・復習等）                                  | 必要時間 |
| 1回  | オリエンテーション：授業計画、生活構造の概要を知り、家庭生活の本質について考える。             | 予習：シラバスをよく読む。<br>復習：配布資料を見直す。                  | 30分  |
| 2回  | 家族の形成と変遷：家族とは何か、家族の形成を中心とした人間生活の成り立ちについて歴史を辿ること考える。   | 復習：配布資料を見直し、家族の形成についての理解を深める。                  | 30分  |
| 3回  | 家族や家族関係をめぐる現代の諸現象と問題：現代の家族や家族関係の問題と改善案を考える。           | 復習：配布資料を見直し、家族関係や家族心理についての理解を深める。              | 30分  |
| 4回  | 自分らしく生きるための生活設計：生涯を見通す長期、中期、短期の設計など、ライフプランについて考える。    | 予習：将来をイメージしてくる。<br>復習：配布資料を見直す。                | 60分  |
| 5回  | 生活時間の実態と分類：生活時間からワークライフバランスについて考える                    | 復習：配布資料を見直し、生活時間についての理解を深める。                   | 60分  |
| 6回  | 「食べる」：家庭経営を具現化するために、食生活の実践を通して考える。                    | 予習：発表者は準備。復習：配布資料を見直し、食生活について理解を深める。           | 60分  |
| 7回  | 「着る」：家庭経営を具現化するために、衣生活の実践を通して考える。                     | 予習：発表者は準備。復習：配布資料を見直し、衣生活について理解を深める。           | 60分  |
| 8回  | 「住まう」：家庭経営を具現化するために、住生活の実践を通して考える。                    | 予習：発表者は準備。復習：配布資料を見直し、住生活に理解を深める。              | 60分  |
| 9回  | 「育つ・育てる」：子どもを育てる視点から家族心理と家庭内の人間関係を考え、よりよい家庭経営の方向を考える。 | 予習：発表者は準備。復習：配布資料を見直し、子どもの成長に関しての理解を深める。       | 60分  |
| 10回 | 「高齢社会」：高齢者の視点から家族心理と家庭内の人間関係を考え、よりよい家庭経営の方向を考える。      | 予習：発表者は準備。復習：配布資料を見直し高齢者についての理解を深める。           | 60分  |
| 11回 | 「買う」：ライフステージ別の家計の具体例を通して家計の実態を知り、家庭経済と家庭管理について考える。    | 予習：発表者は準備。復習：買うことを通して社会とつながる家庭経済についての理解を深める。   | 60分  |
| 12回 | 「ジェンダー」：男女共同参画社会をベースに、よりよい家事労働の在り方について考える。            | 予習：発表者は準備。復習：配布資料を見直しジェンダーについての理解を深める。         | 60分  |
| 13回 | 「持続可能な社会」：ESD・SDGsを通して、循環型社会を創る消費者のライフスキルについて考える。     | 予習：発表者は準備。復習：配布資料を見直し、持続可能な社会の形成についての理解を深める。   | 60分  |
| 14回 | 「シチズンシップ」：家庭経営と協働・共生生活を拓くライフスキルについて考える。               | 予習：発表者は準備。復習：配布資料を見直し、シチズンシップ教育の広がりについて理解を深める。 | 60分  |
| 15回 | まとめ：課題のフィードバックを行い、家庭経営についての理解を深める。                    | 予習：これまでの学習を振り返る。<br>復習：今後の生活課題を自覚する。           | 60分  |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

・基本的に授業の前後どちらかに振り返りの時間を設け、ナラティブなど記述する。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 授業態度・姿勢               | 30% |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 70% |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 0%  |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |

・授業姿勢（欠席・遅刻も含む）

・日常課題を重要視する。

■教科書 ・生きる力をつける学習-未来をひらく家庭科- 望月 一枝 著者代表 教育実務センター

■参考文献 ・21世紀の生活経営-自分らしく生きる- 白井和恵 編著 同文書院

## ■オフィスアワー・研究室

・授業終了後30分程度・第3校舎講師控え室（第3校舎1階）、その他何かあれば教務室経由でお願いします。

## ■備考

・特になし

## 家庭電気・機械

阿久津 勝利

2年 前期 選択 (1単位 講義)

## ■授業の方針・概要

社会生活や家庭生活で必要となる「エネルギー変換の技術」の基礎について学びます。生活におけるエネルギーの利用について学んだ上で、日常生活で利用することが多い家庭電気機器等を取り上げ、その仕組みを知り、安全な使用方法と故障等のトラブルに対処する方法について考えます。中学校技術・家庭科における関係する指導の実践についても紹介します。

## ■到達目標（学修成果）

- ・生活におけるエネルギー変換の技術について関心をもつようになる。
- ・家庭生活中で利用する電気機器等の仕組みの概要を理解し、安全に利用できるとともに、正しく動作しない時に、その原因について考えることができるようになる。
- ・エネルギー変換と利用の技術についての基本を理解できる。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門選択科目の卒業要件科目となります。

## ■授業計画

| 回数 | 授業内容                                                                  | 準備学修その後                                                                |      |
|----|-----------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|------|
|    |                                                                       | 具体的内容（予習・復習等）                                                          | 必要時間 |
| 1回 | 日常生活におけるエネルギーの利用とその技術について考え、中学校における指導内容を知る。<br>道具から機械の発明、機械の構成について知る。 | 予習：中学・高校で学んできた電気や機械に関する学習をふりかえる。<br>復習：学習指導要領を読んで、中学校・高等学校における指導内容を知る。 | 90分  |
| 2回 | 電気の基礎知識を確認する。電圧と電流、電力、直流と交流                                           | 復習：授業後に課した課題に取り組み、授業内容の理解を深める。                                         | 90分  |
| 3回 | 発電、送配電と電気の安全な利用について知る。                                                | 復習：授業後に課した課題に取り組み、授業内容の理解を深める。                                         | 90分  |
| 4回 | 電気エネルギーの熱への変換について考え、日常生活で使用している代表的な機器のしくみを知る。                         | 復習：授業後に課した課題に取り組み、授業内容の理解を深める。                                         | 90分  |
| 5回 | 電気エネルギーの光への変換について考え、日常生活で使用している代表的な機器のしくみを知る。                         | 復習：授業後に課した課題に取り組み、授業内容の理解を深める。                                         | 90分  |
| 6回 | 電気エネルギーの動力への変換について考え、日常生活で使用する代表的な機器のしくみを知る。                          | 復習：授業後に課した課題に取り組み、授業内容の理解を深める。                                         | 90分  |
| 7回 | 機械の運動伝達、機構、機械材料について知る。<br>ミシンの構成と布を縫うしくみについて知る。                       | 復習：関心のある機器を選び、そのしくみについて調べる。                                            | 90分  |
| 8回 | 電気の情報伝達への利用について考え、日常生活で使用している代表的な機器のしくみを知る。<br>まとめ                    | 復習：選んだ機器について、そのしくみと、取り扱い上の留意点等についてレポートにまとめる。                           | 90分  |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題やレポートは評価し、コメントを書いて返却します。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |                                            |
|-----------------------|-----|--------------------------------------------|
| 授業態度・姿勢               | 25% | ①授業に取り組む姿勢（欠席・遅刻含む）<br>②課題の達成度<br>③レポートの内容 |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 45% |                                            |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 30% |                                            |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |                                            |

## ■教科書

・やさしい家庭電気・情報・機械 藪 哲郎 著 講談社

## ■参考文献

- ・中学校用 文部科学省検定教科書 新しい技術・家庭 技術分野 代表 田口浩継 東京書籍 令和4年度用
- ・生活家電入門 発展の歴史としくみ 大西正幸 著 技報堂出版
- ・家電が一番わかる 涌井良幸 涌井貞美 著 技術評論社

## ■オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：土曜日（11時30分～15時00分）

連絡研究室：2101教室（第2校舎1階）

## ■備考

なし

# 食物学（実践栄養学）

山田 奈緒子

2年 後期 選択 (2単位 講義)

## ■授業の方針・概要

栄養素の種類と体内での働きや食生活が関係する生活習慣病など栄養学の基礎を学ぶ。様々な健康・ダイエット情報に惑わされことなく、毎日の食生活やライフステージごとに活用できる正しい知識を身につける。また食物摂取頻度調査、食事記録をつけることにより、自分の栄養摂取状態・食生活・健康状態を見直し、具体的な改善方法を検討する。

## ■到達目標（学修成果）

食物摂取頻度調査の結果や食事記録から自分の心と体が食生活と密接につながっていることを理解する。その上で、栄養素の特徴やバランス良い食生活とは何かがわかり、実際の食生活で実践できる。

ライフステージごとの食生活上の注意点がわかる。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業認定については専門選択単位（ライフスタイル関係）となります。学位授与の方針については、「食物学（実践栄養学）」は専門コースに拘らず選択することが出来、専門力向上に資する科目である。

## ■授業計画

| 回数  | 授業内容                                            | 準備学修                                                 |      |
|-----|-------------------------------------------------|------------------------------------------------------|------|
|     |                                                 | 具体的内容（予習・復習等）                                        | 必要時間 |
| 1回  | イントロダクション―食べるとは？―グループディスカッションを通し、食べる意義について考えてみる | 予習：栄養・健康などについて知りたいことを考えまとめておく。<br>1-2ヶ月の食生活について振り返る。 | 30分  |
| 2回  | 栄養と栄養素について<br>栄養素の種類と水の働き                       | 復習：五大栄養素についてまとめる。                                    | 30分  |
| 3回  | 炭水化物①<br>食物繊維の働き                                | 復習：食物繊維の分類と役割についてまとめる。                               | 30分  |
| 4回  | 炭水化物②<br>糖質の種類と特徴および働き、人工甘味料について                | 復習：糖質の分類と特徴についてまとめる。                                 | 30分  |
| 5回  | たんぱく質 食物摂取頻度調査の実施<br>たんぱく質の構造と働き                | 復習：アミノ酸の種類と役割についてまとめる。食事記録を作成する。                     | 30分  |
| 6回  | 脂質①<br>脂質の種類とコレステロールの特徴                         | 復習：コレステロールの役割と特徴についてまとめる。食事記録の作成。                    | 30分  |
| 7回  | 脂質②<br>脂質の種類と脂肪酸の特徴                             | 復習：脂質の質についてまとめる。食事記録を作成する。                           | 30分  |
| 8回  | ビタミン①<br>脂溶性ビタミンの種類と特徴                          | 復習：脂溶性ビタミンの特徴と過剰症についてまとめる。食事記録の作成。                   | 30分  |
| 9回  | ビタミン②<br>水溶性ビタミンの種類と特徴                          | 復習：水溶性ビタミンの特徴と役割をまとめる。食事記録を作成する。                     | 30分  |
| 10回 | ミネラル<br>代表的なミネラルについて特徴と働き                       | 復習：ミネラルの種類と役割についてまとめる。食事記録を作成する。                     | 30分  |
| 11回 | 食事摂取基準の読み方について<br>適切なBMIの理解について                 | 復習：健康的な食生活について考える。食事記録を作成する。                         | 30分  |
| 12回 | 生活習慣病について①<br>肥満とやせによる問題                        | 復習：生活習慣病の復習および食事記録の作成                                | 30分  |
| 13回 | 生活習慣病について②<br>メタボリックシンドローム、糖尿病、歯の健康など           | 復習：これまでの食事記録を振り返り、改善点を考える。                           | 30分  |
| 14回 | 4群点数法の利用方法<br>自分に不足する栄養素と食品について考える              | 復習：4群点数法の復習および食事記録、レポートの作成                           | 30分  |
| 15回 | もっと野菜を食べよう<br>野菜を多く摂取するためにどうするか実験を通して考える        | 復習：授業の復習およびレポートの作成。正しい食生活を実践する。                      | 30分  |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

食事記録やレポートについては授業内で講評し、返却する

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |                                                                                                     |
|-----------------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 授業態度・姿勢               | 10% | *15分以上の遅刻は欠席扱いとする。10回以上の出席がない場合は、定期試験の受験資格がなくなるので注意すること。<br>*毎回食事記録を作成し提出する。<br>また、まとめのレポート課題を提出する。 |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 40% |                                                                                                     |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 50% |                                                                                                     |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |                                                                                                     |

## ■教科書

「白熱教室 食生活を考える」編著者 金子佳代子/松島悦子 アイ・ケイ・コーポレーション (2,400円)

## ■参考文献

授業内で紹介する

## ■オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは初回の授業で連絡する。 調理研究室：第3校舎 3002 調理実習室内

## ■備考

毎回、教科書とノートを持参すること。

## 家庭情報処理

阿久津 勝利

2年 後期 選択 (1単位 講義)

## ■授業の方針・概要

生活や産業における情報の意義や役割を理解し、情報処理に関する技術を高めるとともに、中学校・高等学校の家庭科教員として必要な情報や情報手段を主体的に活用する能力と態度を身に付けることをねらいとします。また、中学校における情報処理に関係する指導の実際について知り、高等学校家庭科における関連科目の指導の方法について考えます。

## ■到達目標（学修成果）

- ・生活や産業における情報に関する技術について関心を持つようになる。
- ・教員として必要な情報活用能力の基礎が身に付く。
- ・校務や問題解決にコンピュータを活用しようとする意欲が高まる。
- ・情報に関する基本的技術について理解できる。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門選択科目の卒業要件科目となります。

## ■授業計画

| 回数 | 授業内容                                                                        | 準備学修                                                      |      |
|----|-----------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|------|
|    |                                                                             | 具体的内容（予習・復習等）                                             | 必要時間 |
| 1回 | ○情報社会<br>・情報とメディアとそれらの特性 ・問題解決の方法<br>○中学校、高等学校における情報に関する学習指導要領              | 予習：自分の情報手段の活用能力を確認する。<br>復習：授業後に課した学習に取り組み授業で学んだ知識を身に付ける。 | 90分  |
| 2回 | ○情報デザイン<br>・情報のデジタル化 ・数値の表現<br>・文字、音、画像のデジタル表現 ・データの圧縮<br>○表計算ソフトウェアによる成績処理 | 復習：授業後に課した学習に取り組み授業で学んだ知識を身に付ける。                          | 90分  |
| 3回 | ○コンピュータのしくみ<br>・コンピュータの構成・データ処理のしくみ・論理回路<br>○表計算ソフトウェアの利用（関数、マクロ）           | 復習：授業後に課した学習に取り組み授業で学んだ知識を身に付ける。                          | 90分  |
| 4回 | ○情報通信ネットワーク<br>・ネットワークのしくみ ・インターネットの利用<br>○表計算ソフトを利用したデータの分析                | 復習：授業後に課した学習に取り組み授業で学んだ知識を身に付ける。                          | 90分  |
| 5回 | ○プログラミング入門<br>・アルゴリズム ・プログラムの仕組み<br>・プログラムの制御構造（順次 分岐 反復）<br>○プログラミング1      | 復習：授業後に課した学習に取り組み授業で学んだ知識を身に付ける。                          | 90分  |
| 6回 | ○プログラミング2                                                                   | 復習：授業後に課した学習に取り組み授業で学んだ知識を身に付ける。                          | 90分  |
| 7回 | ○プログラミング3                                                                   | 復習：授業後に課した学習に取り組み授業で学んだ知識を身に付ける。                          | 90分  |
| 8回 | ○情報技術の適切な活用<br>○まとめ                                                         | 復習：授業内容をふりかえり今後の課題について整理する。                               | 90分  |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題やレポートは評価し、コメントを書いて授業等で返却します。家庭学習の課題をmanaba courseで課します。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |                     |
|-----------------------|-----|---------------------|
| 授業態度・姿勢               | 25% | ①活動に取り組む姿勢（欠席・遅刻含む） |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 45% | ②課題の達成度             |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 30% | ③レポートの内容            |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |                     |

## ■教科書

・高等学校用 文部科学省検定教科書 高等学校 情報 I Step Forward! 赤堀 侃司 他 著 東京書籍

## ■参考文献

・中学校用 文部科学省検定教科書 新しい技術・家庭 技術分野 東京書籍 令和4年度用

## ■オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：土曜日（11時00分～15時00分） 連絡研究室：2101教室（第2校舎1階）

## ■備考

毎時間必ず教科書と授業で配布したプリント類（ファイリングしておく。）を持参してください。また、実習で作成したデータファイルを保存するためのUSBメモリーを各自購入して用意すると便利です。（詳しくは、1回目の講義で説明します。）

# キャリアプランニング

平松 隆司

2 年 前期 必修 ( 2 単位 講義 )

## ■授業の方針・概要

就職活動は単に会社を探し仕事に就くといったことの作業をすることではなく、自分自身と向き合い、社会情勢をきちんと理解し、将来どのようなキャリアを形成していくかについて考え行動することである。短期的視点ではなく、将来にわたって自分の目指すゴールがどこにあるのか、自分がやりたいことは何なのか、そしてどんな人生にしたいのか、長期的に考えていくことであり。且つ必要なことである。キャリアデザインの基本的な考え方や就職活動の流れを理解し、より良い職業選択ができるように学習する。

## ■到達目標（学修成果）

- ①キャリアプランニングとは何かを知り理解する。
- ②雇用環境の現状を理解し、自己分析を通じて自らのキャリアをデザインする力を身につけることができる。
- ③社会人、卒業生の体験を聞くことを通して将来像を描ける能力を養う。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、卒業要件科目の単位となります。全学生の共通必修で、社会人基礎力の向上に資する科目です。

## ■授業計画

| 回数   | 授業内容                                                   | 準備学修                                              |      |
|------|--------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|------|
|      |                                                        | 具体的内容（予習・復習等）                                     | 必要時間 |
| 1 回  | イントロダクション；ノート、アンケート、採点基準、講義概要、ハンドアウト（印刷物）の配付           | 予習：シラバスを読む                                        | 60 分 |
| 2 回  | 【業界・企業研究】①－雇用と労働市場－新卒の雇用と労働市場を理解し社会が求める人材について考える①      | 予習：社会人に求められることについて考えてくる<br>復習：学生と社会人の違いについてレポートする | 30 分 |
| 3 回  | 【業界・企業研究】②－産業と職業－社会の中にある働く場（産業）と働き方（職業）について業界誌から学ぶ     | 予習：将来、目指している仕事について考えてくる<br>復習：産業と職業に関するレポート作成     | 30 分 |
| 4 回  | 【業界・企業研究の基本】①－業界・企業を研究するための情報収集－（総合アパレルの仕事）を学ぶ         | 復習：資料、ノートを読み直し、理解を深める。<br>予習：次の項目を読む              | 30 分 |
| 5 回  | 【業界・企業研究の基本】②－業界・企業を研究するための情報収集－（小売業アパレルから仕事を学ぶ）       | 復習：講師の話を理解して、ノートを整理する<br>予習：次の項目を読む               | 30 分 |
| 6 回  | 【業界・企業研究の基本】③－業界・企業を研究するための情報収集－（SPA 企業の仕事）を学ぶ         | 復習：講師の話を理解して、ノートを整理する<br>予習：次の項目を読む               | 30 分 |
| 7 回  | 【業界・企業研究の基本】④－業界・企業を研究するための情報収集－（空間デザイン企業の仕事）を学ぶ       | 復習：講師の話を理解して、ノートを整理する。<br>予習：次の項目を読む              | 30 分 |
| 8 回  | 【業界・企業研究の基本】⑤－業界・企業を研究するための情報収集－（EC ビジネスの制作現場について学ぶ）   | 復習：講師の話を理解して、ノートを整理する。<br>予習：次の項目を読む              | 30 分 |
| 9 回  | 【業界・企業研究の基本】⑥－業界・企業を研究するための情報収集－（ヴィジュアル制作の現場について学ぶ）    | 復習：講師の話を理解して、ノートを整理する。<br>予習：次の項目を読む              | 30 分 |
| 10 回 | 【業界・企業研究の基本】⑦－業界・企業を研究するための情報収集－（縫製工場について学ぶ）           | 復習：講師の話を理解して、ノートを整理する。<br>予習：次の項目を読む              | 30 分 |
| 11 回 | 【業界・企業研究の基本】⑧－業界・企業を研究するための情報収集－（新卒人材について考える－各企業からの説明） | 復習：講師の話を理解して、ノートを整理する。<br>予習：次の項目を読む              | 30 分 |
| 12 回 | 【業界・企業研究の基本】⑨－業界・企業を研究するための情報収集－（副資材・付属品メーカーについて学ぶ）    | 復習：講師の話を理解して、ノートを整理する。<br>予習：次の項目を読む              | 30 分 |
| 13 回 | 新卒の雇用と労働市場を理解し、求める人材について考える就職活動の流れについて②                | 復習：講師の話を理解して、ノートを整理する。<br>予習：次の項目を読む              | 30 分 |
| 14 回 | 新卒の雇用と労働市場を理解し、求める人材について考える就職活動の流れについて③                | 復習：講師の話を理解して、ノートを整理する。<br>予習：次の項目を読む              | 30 分 |
| 15 回 | 【まとめ】講義全体から学んだことに対して、実践的就職活動の流れについて理解を深める              | 予習：14 回迄に配付した資料を復習してくる<br>復習：学んだことを元に就職活動の準備を進める。 | 30 分 |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業課題（レポートなど）については授業内にフィードバックする。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 授業態度・姿勢               | 30% |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 20% |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 50% |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |

## ■教科書

授業で必要とする資料は適宜小冊子やプリント等を配付する。

## ■参考文献

適宜

## ■オフィスアワー

10：00～17：00（水曜日除く）本校舎 1 階就職部

## ■備考

この科目では、原則として遅刻は認めません。授業中に次のことはしてはいけません。離席、私語、飲食、メールなど授業に関係のないこと。

## 心理学 A

手島 陽介

2 年 前期 選択 ( 2 単位 講義 )

## ■授業の方針・概要

心理学は、人の行動や心を科学的に研究する学問である。本講義では、基礎心理学の分野を中心に、心理学の全体がつかめるよう幅広い領域の理論について、概説する。「心」とは何か、「心理学」とはどのような学問か、グループ学習やディスカッションなど体験的な学習を通して、自ら学び、深めていくことを目指していく。また、服飾業界やビジネス場面において心理学知見がどのように活用されているかにも触れていく。

## ■到達目標（学修成果）

心理学の領域における概念を理解し知識を身につけるとともに、心理学的な見方ができるようになることが到達目標である。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は、教養科目の選択科目で卒業要件科目である。心理学的知見を身につけ、社会人としての教養・基礎力を培う。

## ■授業計画

| 回数   | 授業内容                                                 | 準備学修                                 |      |
|------|------------------------------------------------------|--------------------------------------|------|
|      |                                                      | 具体的内容（予習・復習等）                        | 必要時間 |
| 1 回  | 心とは何か① ー心理学の定義と研究分野、意識と無意識の世界ー                       | 予習:心理学という学問についてのイメージ、何を学びたいかを考えてくる。  | 15 分 |
| 2 回  | 心とは何か② ー心理学の活躍する場、心理学の歴史ー                            | 復習:プリントを振り返り、日常の心理現象について考える          | 30 分 |
| 3 回  | 性格の心理 ー個人の性格について、遺伝と環境、性格テストー                        | 復習:パーソナリティテストの結果を見て、自身の現在の状況について振り返る | 30 分 |
| 4 回  | 発達の心理① ー乳幼児期～児童期までの発達段階と課題ーグループディスカッションを通して、発達過程を考える | 予習:誕生してから現在までどのような発達経過を辿ってきたのかを考えてくる | 15 分 |
| 5 回  | 発達の心理② ー青年期以降の発達段階と課題、アイデンティティについてーグループワークを行い自我を考える  | 復習:エリクソンの発達段階説をもとに現在の自分の課題について考える    | 30 分 |
| 6 回  | 動機づけ（やる気・モチベーション）のメカニズム ーストレス社会とどう向き合うか、内発的・外発的動機づけー | 復習:自身の身の回りのストレスについて考えコーピング方法を検討する    | 30 分 |
| 7 回  | コミュニケーション ー人間関係づくり、円滑なコミュニケーションを行うには、非言語的表現と自己表現ー    | 復習: 非言語的コミュニケーションを意識し他者と会話をしてみる      | 30 分 |
| 8 回  | 学習はどのように成立するか、記憶の構造とゆがみについて                          | 復習:本日の資料と教科書を振り返り、学習の心理を復習し理解する。     | 30 分 |
| 9 回  | 感情のメカニズム① ー人間の感情のメカニズムと分類、感情の表出についてー                 | 予習:ここ最近に感じる感情について、出来事との関連を考えてくる      | 30 分 |
| 10 回 | 感情のメカニズム② ー欲求不満の心理、ストレスとストレスサの関係、自我防衛機制ー             | 復習:身の回りのストレスについて考え、コーピングを試してみる       | 30 分 |
| 11 回 | 集団の心理 ー集団の中での行動、社会的促進、リーダーシップについてー                   | 復習:集団の心理的現象について振り返り日常の中での影響について考える   | 30 分 |
| 12 回 | 色彩の心理学と服飾 ー色が人のところに影響する要因、知覚（視覚）の機能について、色と服飾の関係ー     | 復習:インテリアや服など周りの色を観察し、心理的な影響について考察する  | 30 分 |
| 13 回 | 自分の強み、自分を知る-日常生活の無意識や認知から自分の強みを発見し表現する、自分とは何者かを考えるー  | 復習:授業プリントを振り返り、再度自分の強みについて振り返る       | 30 分 |
| 14 回 | 本授業でのまとめ課題と小テスト                                      | 予習:配布資料、教科書を読み、復習する。                 | 90 分 |
| 15 回 | まとめ 課題や小テストのフィードバックを行う                               | 復習:返却された課題、テストを振り返り、復習する。            | 60 分 |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

15 回目に課題についての解説と小テストの返却をし、心理学 A のまとめをする。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 授業態度・姿勢               | 30% |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 70% |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 0%  |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |

## ■教科書

二宮克美ほか 『ベーシック心理学』 医歯薬出版株式会社  
その他、進行に合わせてプリントを配布する。

## ■参考文献

蓮見将敏ほか（編） 『人間関係の心理学』 福村出版  
必要に応じて授業時に文献を紹介する。

## ■オフィスアワー・研究室

前期: 水曜日（12:00-15:00）研究室  
後期: 水曜日（12:00-15:00）研究室 【連絡研究室】 心理学研究室（研究棟1階 6015）

## ■備考 毎時間、プリントと教科書を準備してください

## 心理学B

手島 陽介

2年 後期 選択 (2単位 講義)

## ■授業の方針・概要

本講義では、「心理学A」の授業内容をもとに、基礎心理学から応用心理学への展開を概説する。グループ学習やディスカッションを通して体験的に学び、心理学的な知見がどのように社会場面に活かされているのかを学習していく。心理学に親しみながら、知識を身につけるとともに、自己理解、他者理解を深めていく。

## ■到達目標（学修成果）

本講義を通し、論理的な思考力を養い、さまざまな見方や柔軟な行動ができるようになることを目指していく。また、学習したことを、日常生活や社会場面の中で具体的に活用できるようになることが到達目標である。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は、教養科目の卒業要件科目である。心理学的知見を身につけ、社会人としての教養・基礎力を培う。

## ■授業計画

| 回数  | 授業内容                                                   | 準備学修                                |      |
|-----|--------------------------------------------------------|-------------------------------------|------|
|     |                                                        | 具体的内容（予習・復習等）                       | 必要時間 |
| 1回  | 心理学とは何か① ー対人認知と印象形成、意識と無意識ー                            | 予習:身近な心理的な現象について考えてくる               | 30分  |
| 2回  | 心理学とは何か② ー対人魅力と人間関係を探るー                                | 復習:プリントを振り返り、対人認知の心理について理解する        | 30分  |
| 3回  | 影響の心理① ー他者からヒトはどのように影響を受けるかを考えるー交渉や説得について考えるグループワークを行う | 復習:他者からの影響を受けた経験について振り返り要因を探る       | 30分  |
| 4回  | 影響の心理② ービジネス場面での影響の心理学を考える、購買の心理学ー                     | 復習:実際のCMや広告などでメディアによる心理的影響について考える   | 30分  |
| 5回  | 知覚の心理① ーヒトは世界をどのように認識しているのか、ものが見える仕組み、音楽心理学、感覚器官の不思議、ー | 復習:教科書とプリントより、錯視や幾何学図形を見て知覚を振り返る    | 30分  |
| 6回  | 知覚の心理② ー音と脳の関係、音楽で変わる行動心理、音楽療法の世界ー                     | 予習:身の回りの音楽や店舗のBGM、環境音などについて調べてくる    | 15分  |
| 7回  | 思考の心理① ー「考える」とは何か、問題解決能力とはーグループワークを通して、思考のプロセスを考える     | 予習:問題を解決した、乗り越えた場面について考えてくる         | 60分  |
| 8回  | 思考の心理② ー創造性と創造的人格、創造性の段階ーグループワークを通して、創造性について考える        | 復習:創造的な発想のプロセスを復習し、課題に生かしてみる        | 30分  |
| 9回  | 犯罪の心理 ー犯罪の背景、サイコパスとは何か、法と心理学、犯罪者の心理、犯罪被害者の心理ー          | 復習:配布プリントを振り返り、犯罪心理学の定義やデータについて確認する | 30分  |
| 10回 | 精神的健康とは ーこころが健康な状態を考えるー                                | 予習:現在の自分の健康状態について考えてくる              | 30分  |
| 11回 | 心と身体の関係① ー認知・感情・行動・身体から心のバランスを考えるー                     | 復習:心のモデルに、様々な状況を当てはめて考える            | 30分  |
| 12回 | 心と身体の関係② ー呼吸法とストレス、睡眠などについてー                           | 復習:呼吸について、日常で体験をする                  | 30分  |
| 13回 | 幸福感和人間関係 ー世界の文化と幸福感、主観的幸福感の要因ー                         | 復習:世界の幸福感についてのデータを振り返る              | 30分  |
| 14回 | 本授業でのまとめ課題と小テスト                                        | 予習:配布資料、教科書を読み、復習する。                | 90分  |
| 15回 | まとめ                                                    | 復習:返却された課題、テストを振り返り、復習する。           | 60分  |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

15回目に課題についての解説と小テストの返却をし、心理学Bのまとめをする。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 授業態度・姿勢               | 30% |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 70% |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 0%  |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |

## ■教科書

二宮克美ほか 『ベーシック心理学』 医歯薬出版株式会社  
その他、進行に合わせてプリントを配布する。

## ■参考文献

蓮見将敏ほか（編） 『人間関係の心理学』 福村出版  
必要に応じて授業時に文献を紹介する。

## ■オフィスアワー・研究室

前期:水曜日（12:00-15:00）研究室

後期:水曜日（12:00-15:00）研究室 【連絡研究室】心理学研究室（研究棟1階 6015）

## ■備考 毎時間、プリントと教科書を準備してください

**憲法 -法学入門-**

東島 日出夫

2年 前期又は後期

選択

( 2単位 講義 )

**■授業の方針・概要**

この科目では、憲法に関する議論について学ぶことを主としつつも、総体として法学の入門として機能するような工夫を施しながら授業を進めていきます。近年耳目を集めるトピックであって憲法学と関連し得るもの（たとえば、ヘイトスピーチ、PTAに関する賛否、「ブラック企業」における就労など）はもとより、授業の計画に掲げるような様々な単元について、参考文献や具体的な判例・裁判例などを通じて理解を深め、関連する条文の内容及び解釈についての知識を身に付けつつ、法的な思考を養います。

**■到達目標（学修成果）**

「憲法」や「法学」などという、堅苦しくてつまらないものというようなイメージがあるかも知れませんが、そうした不安を払拭すべく、身近なことから様々な事件などを素材に、分かりやすいだけでなく、将来社会人として生活していく上で役に立つような法的知識が得られるようになります。

**■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連**

卒業要件科目で、教養選択科目の単位となります。そして、本授業科目は、とりわけ社会人としての資質・能力の向上に貢献します。

**■授業計画**

| 回数  | 授業内容                 | 準備学修                                     |      |
|-----|----------------------|------------------------------------------|------|
|     |                      | 具体的内容（予習・復習等）                            | 必要時間 |
| 1回  | ガイダンス、法解釈とは何か、憲法論の概説 | 予習：シラバスの熟読、憲法条文の印刷（電子政府 e-Gov サイトで無償入手可） | 45分  |
| 2回  | 立憲主義、国民主権、平和主義       | 復習：講義ノートの再読と整理、参考文献等における指示箇所の読解          | 45分  |
| 3回  | 人権論概説、基本的人権、人権享有主体   | 復習：講義ノートの再読と整理、参考文献等における指示箇所の読解          | 45分  |
| 4回  | 基本的人権の限界             | 復習：講義ノートの再読と整理、紹介した判例・裁判例の重要判示部分の再読      | 45分  |
| 5回  | 生命・自由・幸福追求権、法の下での平等  | 復習：講義ノートの再読と整理、紹介した判例・裁判例の重要判示部分の再読      | 45分  |
| 6回  | 精神的自由権① -内心の自由-      | 復習：講義ノートの再読と整理、紹介した判例・裁判例の重要判示部分の再読      | 45分  |
| 7回  | 精神的自由権② -表現の自由-      | 復習：講義ノートの再読と整理、紹介した判例・裁判例の重要判示部分の再読      | 45分  |
| 8回  | 経済的自由権               | 復習：講義ノートの再読と整理、紹介した判例・裁判例の重要判示部分の再読      | 45分  |
| 9回  | 人身の自由、国務請求権、参政権      | 復習：講義ノートの再読と整理、紹介した判例・裁判例の重要判示部分の再読      | 45分  |
| 10回 | 社会権① -生存権、教育権-       | 復習：講義ノートの再読と整理、紹介した判例・裁判例の重要判示部分の再読      | 45分  |
| 11回 | 社会権② -勤労権、労働基本権-     | 復習：講義ノートの再読と整理、紹介した判例・裁判例の重要判示部分の再読      | 45分  |
| 12回 | 統治機構概説、権力分立          | 復習：講義ノートの再読と整理、参考文献等における指示箇所の読解          | 45分  |
| 13回 | 裁判所、財政・地方自治          | 復習：講義ノートの再読と整理、紹介した判例・裁判例の重要判示部分の再読      | 45分  |
| 14回 | 総括・小試験               | 復習：講義ノートの再読と整理、紹介した判例・裁判例の重要判示部分の再読      | 90分  |
| 15回 | 補論・小試験の解説            | 復習：試験問題の振り返り                             | 45分  |

**■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法**

14回目にまとめと試験、15回目にその解説をする予定。

**■成績評価の方法・基準**

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 授業態度・姿勢               | 30% |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 70% |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 0%  |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |

成績評価においては、14回目（予定）に行う授業内試験結果を基本とするが、授業態度・姿勢、日常課題等を加味する。なお、出題する可能性のある箇所は、それぞれの授業回において、その旨をその都度言及するので、復習に力を入れていただきたい。試験には、自筆の講義ノートであれば、持ち込み可とする予定であるが、持ち込み不可など条件を厳しくする場合もある。

また遅刻者は、入室時に入室時間・学籍番号・氏名を指定用紙に記載すること。

**■教科書** 特に指定しない。板書をするのみならずレジュメ等の資料を配布する。

**■参考文献**

- ・芦部信喜『憲法（第8版）』（岩波書店、2023年）
- ・初宿正典、大沢秀介他『目で見える憲法（第5版）』（有斐閣、2018年）
- ・渋谷秀樹、赤坂正浩『憲法1人権（第8版）』（有斐閣、2022年）・『憲法2統治（第8版）』（有斐閣、2022年）

**■オフィスアワー・研究室** 連絡先：教務課（本校舎） 出講日：金曜日

**■備考** なし



## 化学 A—皮膚科学と化粧品科学—

野村 直

2 年 前期 選択 ( 2 単位 講義 )

## ■授業の方針・概要

化学を身近な皮膚や化粧品を主体に学びます。化学は常に生活と共にあり、それを正しく知り、興味を持って利用することは、豊かな生活の助けとなります。加えて、身近な化学を学びながら、物事を科学的な視点で知り、俯瞰し、考える能力を養います。授業担当者の消費財メーカーでの研究開発・事業運営の実体験を活かし、グローバルな観点を含みながら講義します。

## ■到達目標（学修成果）

皮膚の成り立ちや構造、機能を習得し、化粧品や生活習慣、その他内外的因子の影響と日常の皮膚トラブル発生との関連性を考え、学修し、皮膚を健やかに、そして、美しく保つ方法を習得します。化粧品市場や法規制などについても理解が深まります。また、授業後の皆さんの質問やコメントを共有し解説することで、身近な知識が広がります。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

社会人としての資質、能力を養い、幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を滋養する教養科目です。卒業要件の選択科目です。

## ■授業計画

| 回数   | 授業内容                                                          | 準備学修                                     |      |
|------|---------------------------------------------------------------|------------------------------------------|------|
|      |                                                               | 具体的内容（予習・復習等）                            | 必要時間 |
| 1 回  | オリエンテーション；授業計画、成績評価基準、科学の歴史と生活の変化、皮膚科学・化粧品科学の概況               | 予習：シラバスを読む。新聞やその他で最近の科学的話題を読む。自身のトラブル回想。 | 30 分 |
| 2 回  | <皮膚概論 1>役割と基本構造、理想の肌とは                                        | 予習：自身の皮膚と理想について考える。                      | 30 分 |
| 3 回  | <皮膚概論 2-1>皮膚の付属器官、皮脂腺・汗腺・爪・毛髪<br>の役割と構造                       | 予習：自身の皮脂や汗、爪、毛髪について考えておく。                | 30 分 |
| 4 回  | <皮膚概論 2-2>皮膚の付属器官、皮脂腺・汗腺・爪・毛髪<br>の役割と構造                       | 予習：自身の皮脂や汗、爪、毛髪について考えておく。                | 30 分 |
| 5 回  | <皮膚概論 3-1>皮膚の性質を変える要因、肌の三大悪                                   | 予習：自身の肌トラブルと原因、その対処法を整理しておく。             | 30 分 |
| 6 回  | <皮膚概論 3-2>皮膚の性質を変える要因、肌の三大悪                                   | 予習：自身の肌トラブルと原因、その対処法を整理しておく。             | 30 分 |
| 7 回  | <皮膚概論 4>皮膚の疾患、過脂性と乾燥性、ニキビ・ドライ<br>スキン                          | 予習：自身の肌質やトラブル、原因と対処法を整理しておく。             | 30 分 |
| 8 回  | 第 1 回～第 7 回のまとめ（課題レポート提出と進捗確認）                                | 予習：第 1 回～第 7 回配布資料を振り返り、学習ポイントや自身の考えを整理。 | 90 分 |
| 9 回  | レポートおよび進捗確認のフィードバック。                                          | 復習：フィードバック内容を再確認。                        | 30 分 |
| 10 回 | <皮膚概論 5-1>アトピー性皮膚炎とは                                          | 復習：配布資料を振り返り、自分や身の回りの人について考え、整理する。       | 30 分 |
| 11 回 | <皮膚概論 5-2>アトピー性皮膚炎とは                                          | 復習：配布資料を振り返り、自分や身の回りの人について考え、整理する。       | 30 分 |
| 12 回 | <皮膚概論 6-1>化学物質と皮膚、刺激性とアレルギー性、<br>化粧品の安全性                      | 予習：自身のアレルギーや化粧品で困った経験を整理しておく。            | 30 分 |
| 13 回 | <皮膚概論 6-2>化学物質と皮膚、刺激性とアレルギー性、<br>化粧品の安全性                      | 予習：自身のアレルギーや化粧品で困った経験を整理しておく。            | 30 分 |
| 14 回 | <皮膚概論 6-3>化学物質と皮膚、刺激性とアレルギー性、<br>化粧品の安全性                      | 予習：自身のアレルギーや化粧品で困った経験を整理しておく。            | 30 分 |
| 15 回 | 第 1 回～第 14 回の総まとめ（課題レポート提出）提出物は<br>コメントを入れ後日返却とし、フィードバックとします。 | 予習：全配布資料を振り返り、学習ポイントや自身の考えを整理しておく。       | 90 分 |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

フィードバックは授業の中で授業計画に沿って実施する。尚、第 2 回目レポートと期末試験のフィードバックは添削及び採点終了後、教務課にて返却を以てフィードバックとします。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 授業態度・姿勢               | 30% |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 30% |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 40% |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |

毎回の授業時に出欠席、遅刻を点検する。定期試験として進捗確認の為の中間テストと期末試験を実施する。また、課題レポートを 2 回提出するものとする。

## ■教科書

決まった教科書を定めず、毎回の授業時にプリントを配布します。

## ■参考文献

「化学ってそういうこと！」日本化学会編（化学同人）、「美容のヒフ科学」改訂 9 版安田利顕著 漆畑修改訂 南山堂、  
「スキンケアの科学」服部道廣著 裳華房、「毛髪の科学」第 4 版 C. R. ロビンズ著、山口真主訳 フレグランスジャーナル社、  
「トコトンやさしい化粧品の本」福井寛著、日刊工業新聞、  
「ヘアケアってなに？～美しい髪・健康な髪へのアプローチ」花王(株) ヘアケア研究所著、繊維社

## ■オフィスアワー・研究室

金曜日（9 時 00 分～12 時 30 分）本校舎 1 階教務課

■備考 授業はプロジェクターを使用し、パワーポイントで行いますが、必要に応じてインターネットや DVD も使用します。

## 化学B—皮膚と毛髪と化粧品科学—

野村 直

2年 後期 選択 (2単位 講義)

## ■授業の方針・概要

化学を身近な皮膚や化粧品を主体に学びます。化学は常に生活と共にあり、それを正しく知り、興味を持って利用することは、豊かな生活の助けとなります。加えて、身近な化学を学びながら、物事を科学的な視点で知り、俯瞰し、考える能力を養います。授業担当者の消費財メーカーでの研究開発・事業運営の実体験を活かし、グローバルな視点を含みながら講義します。加えて、外部専門家による最新の情報を基にした特別実習や講義も予定しています。

## ■到達目標（学修成果）

皮膚や毛髪の成り立ちや構造、機能を習得し、化粧品や生活習慣、その他内外の因子の影響と皮膚や毛髪のトラブル発生との関連性を考え、学修し、皮膚や毛髪を健やかに、そして、美しく保つ方法を習得します。化粧品市場や法規制などについても理解が深まります。また、授業後の皆さんの質問やコメントを共有し解説することで、身近な知識が広がります。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

社会人としての資質、能力を養い、幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を滋養する教養科目であり、卒業要件の選択科目です。

## ■授業計画

| 回数  | 授業内容                                                  | 準備学修                               |      |
|-----|-------------------------------------------------------|------------------------------------|------|
|     |                                                       | 具体的内容（予習・復習等）                      | 必要時間 |
| 1回  | オリエンテーション；授業計画、成績評価基準、科学の歴史と生活の変化、皮膚科学・化粧品科学の概況       | 予習：シラバスを読む。新聞やその他で最近の科学的話題を読む。     | 30分  |
| 2回  | ＜皮膚総論①＞皮膚と付属器官の役割と基本構造                                | 予習：自身の皮膚について考えておく。                 | 30分  |
| 3回  | ＜皮膚総論②＞皮膚トラブル                                         | 予習：自身の肌トラブルと原因、その対処法を整理しておく。       | 30分  |
| 4回  | ＜毛髪概論①-1＞毛髪の役割と基本構造、基本物性                              | 予習：自身の毛髪やトラブル、原因、対処法を整理しておく。       | 30分  |
| 5回  | ＜毛髪概論①-2＞毛髪の役割と基本構造、基本物性                              | 予習：自身の毛髪やトラブル、原因、対処法を整理しておく。       | 30分  |
| 6回  | ＜毛髪概論②-1＞毛髪の損傷と構造変化                                   | 予習：前回授業のポイント、および、自身の髪トラブルを整理しておく。  | 30分  |
| 7回  | ＜毛髪概論②-2＞毛髪の損傷と構造変化                                   | 予習：前回授業のポイント、および、自身の髪トラブルを整理しておく。  | 30分  |
| 8回  | 第1回～第7回のまとめ（課題レポート提出と進捗確認）                            | 予習：第1回～第7回配布資料の学習ポイントや自身の考えを整理。    | 90分  |
| 9回  | レポートおよび進捗確認のフィードバック。                                  | 復習：フィードバック内容を再確認。                  | 30分  |
| 10回 | ＜毛髪概論③-1＞ヘアカラー                                        | 予習：自身もしくは周りの人のヘアカラーした髪を観察しておく。     | 30分  |
| 11回 | ＜毛髪概論③-2＞パーマメントウェーブとくせ毛矯正                             | 予習：自身もしくは周りのパーマやくせ毛矯正した髪を観察しておく。   | 30分  |
| 12回 | ＜毛髪概論③-3＞ヘアスタイリング                                     | 予習：自身のスタイリングの問題点を整理しておく。           | 30分  |
| 13回 | 「ヘアケア実用編」企業で毛髪研究に従事している専門家による特別講義を予定                  | 予習：第1回と第12回授業の内容を整理しておく。           | 30分  |
| 14回 | 「香りの世界」                                               | 予習：自身の香りや生活の中の香りについて考えておく。         | 30分  |
| 15回 | 第1回～第14回の総まとめ（課題レポート提出）提出物はコメントを入れ後日返却とし、フィードバックとします。 | 予習：全配布資料を振り返り、学習ポイントや自身の考えを整理しておく。 | 90分  |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

フィードバックは授業の中で授業計画に沿って実施する。尚、第2回目レポートと期末試験のフィードバックは添削及び採点終了後、教務課にて返却を持ってフィードバックとします。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 授業態度・姿勢               | 30% |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 30% |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 40% |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |

毎回の授業時に出席、遅刻を点検する。定期試験として進捗確認の為に中間テストと期末試験を実施する。また、進捗確認の実施に併せて課題レポートを2回提出するものとする。

■教科書 決まった教科書を定めず、毎回の授業時にプリントを配布します。

## ■参考文献

「化学ってそういうこと！」日本化学会編（化学同人）、「美容のヒフ科学」改訂9版安田利顕著、漆畑修改訂 南山堂、  
「スキンケアの科学」服部道廣著 裳華房、「毛髪の科学」第4版C.R. ロビンズ著、山口真主訳 フレグランスジャーナル社、  
「トコトンやさしい化粧品の本」福井寛著、日刊工業新聞、  
「ヘアケアってなに？～美しい髪・健康な髪へのアプローチ」花王(株)ヘアケア研究所著、繊維社

## ■オフィスアワー・研究室

金曜日（9時00分～12時30分）本校舎1階教務課

■備考 授業はプロジェクターを使用し、パワーポイントで行いますが、必要に応じてインターネットやDVDも使用します。

# 体育 B—身体と表現—

水上 雅子

2 年 後期 選択 ( 1 単位 演習 )

## ■授業の方針・概要

スポーツも日常の生活も、全て身体活動です。しかし、現在の私たちは“からだ”に対して興味が無く、自分の“からだ”なのに借り物のようです。“からだ”を意識し、どう付き合うのかを学習することは大切です。なぜなら、自分の“からだ”こそ個性であり、身体活動こそ自己を表現する基本だと思うからです。一流のスポーツ選手のパフォーマンスに感動を覚えたことはありませんか。他人の何気ない振る舞いに美しさを感じたことはありませんか。自分の身体活動にも、自然な美しさや自分らしさが表現できたら楽しいと思いませんか。個人種目とチームの課題で技術向上を目指し学習します。アダプテッドスポーツ、ニュースポーツを経験し、スポーツでの共生を学習します。

## ■到達目標（学修成果）

授業では、スポーツを通して自己の表現を探し、自分らしさを発見することができます。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目の社会人としての豊かな人間性を涵養することをめざす教養科目の単位となります。

## ■授業計画

| 回数   | 授業内容                                                                                 | 準備学修                                                    |              |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|--------------|
|      |                                                                                      | 具体的内容（予習・復習等）                                           | 必要時間         |
| 1 回  | 授業のイメージづくり<br>manaba 提出方法、到達目標、自己目標の明確化<br>からだを動かす—姿勢と自分の動き<br>一人、またはペア、グループでからだを動かす | 予習 シラバスを読んでくる。<br>復習 自分の体の動きをレポートにまとめる。基本運動を 3 日以上実践する。 | 10 分<br>30 分 |
| 2 回  | バドミントン①<br>基本技術の習得 ドライブ・サーブ                                                          | 復習 シャトルとボールの違いをレポートにまとめる。基本運動を 3 日以上実践する。               | 30 分         |
| 3 回  | バドミントン②<br>基本技術の習得 ハイクリア ダブルスゲーム                                                     | 予習 ダブルスのルールを調べる。<br>復習 基本運動を 3 日以上実践する。                 | 30～60 分      |
| 4 回  | バドミントン③<br>基本技術の習得 ドロップ・ヘアピン シングルスゲーム                                                | 復習 シングルスとダブルスのルールの確認。基本運動を 3 日以上実践する。                   | 30～60 分      |
| 5 回  | バドミントン④<br>応用技術の習得① 正式なルールでのゲーム（ダブルス）                                                | 予習 基本技術の確認<br>復習 基本運動を 3 日以上実践する。                       | 30～60 分      |
| 6 回  | バドミントン⑤<br>応用技術の習得② 正式なルールでのゲーム（グループ）                                                | 復習 バドミントンについてレポートにまとめる。基本運動を 3 日以上実践する。                 | 30～60 分      |
| 7 回  | アダプテッドスポーツ①<br>障害者も健常者も共に楽しめるスポーツを実践してみる。                                            | 予習 アダプテッドスポーツを調べる。<br>復習 基本運動を 3 日以上実践する。               | 30～60 分      |
| 8 回  | 『動きの表現—写真』<br>グループで動きの感じられる作品づくり（課題）                                                 | 予習 作品の構想を考えてくる。<br>復習 基本運動を 3 日以上実践する。                  | 30 分         |
| 9 回  | 卓球①<br>基本技術の取得①シングル練習                                                                | 予習 シングルのルールを調べる。<br>復習 基本運動を 3 日以上実践する。                 | 30 分         |
| 10 回 | 卓球②<br>基本技術の習得②ダブルス練習                                                                | 予習 ダブルスのルールを調べる。<br>復習 基本運動を 3 日以上実践する。                 | 30 分         |
| 11 回 | 卓球③<br>応用技術の習得①正式なルールでのゲーム（チーム戦）                                                     | 復習 ルールと動きの確認をし、レポートにまとめる。基本運動を 3 日以上実践する。               | 30 分         |
| 12 回 | 卓球④<br>応用技術の習得②正式なルールでのゲーム（チーム戦）                                                     | 復習 卓球についてレポートにまとめる。基本運動を 3 日以上実践する。                     | 30～60 分      |
| 13 回 | アダプテッドスポーツ②<br>障害者も健常者も共に楽しめるスポーツを実践してみる。                                            | 予習 アダプテッドスポーツを調べる。<br>復習 基本運動を 3 日以上実践する。               | 30～60 分      |
| 14 回 | アダプテッドスポーツ③<br>障害者も健常者も共に楽しめるスポーツを実践してみる。                                            | 予習 アダプテッドスポーツを調べる。<br>復習 基本運動を 3 日以上実践する。               | 30～60 分      |
| 15 回 | 正式ルールでゲームを行う。<br>各クラスで種目を選択し、実践する。                                                   | 復習 後期に学んだことを到達目標と比較して振り返りレポートにまとめる。                     | 30 分         |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

manaba を使用し、授業内の個人の記録や課題を提出してもらい、コメント・評価を返す。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 授業態度・姿勢               | 30% |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 70% |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 0%  |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |

## ■教科書 必要に応じて資料を配布する。

## ■参考文献 随時紹介 経験する種目のルール集 『はたらく細胞』（清水茜 講談社）

## ■オフィスアワー・研究室 初回授業で伝える 【研究室】 体育研究室（研究棟 2 階 6024 ）

## ■備考 状況に応じて内容が変化することあり。

基本運動：毎回縄跳び（ダブルタッチなど）・腹筋・背筋—体力維持、ストレッチなど、身体活動の生活化

## 英語（総合）A

2年 前期 選択 (2単位 講義)

## ■授業の方針・概要

英語（総合）Aの授業では、リーディング、ライティング、スピーキング、リスニングの4つのスキルを伸ばしていくことを目的とし、さまざまなトピックについて英語で学びます。特に、毎回のミニプレゼンテーションや学期末の長めのプレゼンテーションを通して自分の興味関心について発表できる力を養います。

## ■到達目標（学修成果）

日常生活でのコミュニケーションで用いられる語彙・句表現や場面に応じた表現を身につけること、またそれらを使えるようになること。リスニングでは自然なスピードで話される英語の聞き取りができるようになること、自分の意見を適切に表現できるようにすること。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目（国際関係）・選択科目です。教養選択科目（一般・体育・国際関係）16単位は卒業要件です。教養科目としての英語（総合）Aは、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。

## ■授業計画

| 回数  | 授業内容                     | 準備学修          |      |
|-----|--------------------------|---------------|------|
|     |                          | 具体的内容（予習・復習等） | 必要時間 |
| 1回  | イントロダクション、教科書の進め方、自己紹介など | シラバスを読む。      | 30分  |
| 2回  | キャンパスライフについて (1)         | 次回の予習         | 30分  |
| 3回  | キャンパスライフについて (2)         | 次回の予習         | 30分  |
| 4回  | 日本の文化について (1)            | 次回の予習         | 30分  |
| 5回  | 日本の文化について (2)            | 次回の予習         | 30分  |
| 6回  | 休みの計画について (1)            | 次回の予習         | 30分  |
| 7回  | 休みの計画について (2)            | 次回の予習         | 30分  |
| 8回  | ファッションについて (1)           | 次回の予習         | 30分  |
| 9回  | ファッションについて (2)           | 次回の予習         | 30分  |
| 10回 | ライフスタイルについて (1)          | 次回の予習         | 30分  |
| 11回 | ライフスタイルについて (2)          | 次回の予習         | 30分  |
| 12回 | プレゼンの技術・準備について           | プレゼンテーションの準備  | 30分  |
| 13回 | 期末プレゼンテーション①             | プレゼンテーションの準備  | 30分  |
| 14回 | 期末プレゼンテーション②             | 他の学生へのフィードバック | 30分  |
| 15回 | 全体へのフィードバック              | 総復習           | 30分  |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業で学んだことを元に簡単な英語の文章を毎回提出してもらいます。また、毎回プレゼンテーションに必要なスライド等もmanaba上で提出してもらいます。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |                                   |
|-----------------------|-----|-----------------------------------|
| 授業態度・姿勢               | 30% | 平常点（出席、宿題、予習、授業内小課題など）            |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 70% | フィードバックシート、小テスト、発表（＋発表原稿）、意見・感想など |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 0%  |                                   |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |                                   |

## ■教科書

関連の英語記事を配布、スライド等で用意

## ■参考文献

授業内で提示します。

## ■オフィスアワー・研究室

【出講日】水曜日 【連絡先】本校舎1階教務課

## ■備考

すべての英語レベルの学生が履修可能です。

## 英語（総合）B

2年 後期 選択 (2単位 講義)

## ■授業の方針・概要

英語（総合）Bの授業では、リーディング、ライティング、スピーキング、リスニングの4つのスキルを伸ばしていくことを目的とし、さまざまなトピックについて英語で学びます。特に、毎回のミニプレゼンテーションや学期末の長めのプレゼンテーションを通して自分の興味関心について発表できる力を養います。

## ■到達目標（学修成果）

日常生活でのコミュニケーションで用いられる語彙・句表現や場面に応じた表現を身につけること、またそれらを使えるようになること。リスニングでは自然なスピードで話される英語の聞き取りができるようになること、自分の意見を適切に表現できるようにすること。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目（国際関係）・選択科目です。教養選択科目（一般・体育・国際関係）16単位は卒業要件です。教養科目としての英語（総合）Bは、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。

## ■授業計画

| 回数  | 授業内容                     | 準備学修          |      |
|-----|--------------------------|---------------|------|
|     |                          | 具体的内容（予習・復習等） | 必要時間 |
| 1回  | イントロダクション、教科書の進め方、自己紹介など | シラバスを読む。      | 30分  |
| 2回  | お祭りについて (1)              | 次回の予習         | 30分  |
| 3回  | お祭りについて (2)              | 次回の予習         | 30分  |
| 4回  | 旅行について (1)               | 次回の予習         | 30分  |
| 5回  | 旅行の文化について (2)            | 次回の予習         | 30分  |
| 6回  | 食べ物について (1)              | 次回の予習         | 30分  |
| 7回  | 食べ物について (2)              | 次回の予習         | 30分  |
| 8回  | 社会問題について (1)             | 次回の予習         | 30分  |
| 9回  | 社会問題について (2)             | 次回の予習         | 30分  |
| 10回 | ワークカルチャーについて (1)         | 次回の予習         | 30分  |
| 11回 | ワークカルチャーについて (2)         | 次回の予習         | 30分  |
| 12回 | プレゼンの技術・準備について           | プレゼンテーションの準備  | 30分  |
| 13回 | 期末プレゼンテーション①             | プレゼンテーションの準備  | 30分  |
| 14回 | 期末プレゼンテーション②             | 他の学生へのフィードバック | 30分  |
| 15回 | 全体へのフィードバック              | 総復習           | 30分  |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業で学んだことを元に簡単な英語の文章を毎回提出してもらいます。また、毎回プレゼンテーションに必要なスライド等もmanaba上で提出してもらいます。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |                                   |
|-----------------------|-----|-----------------------------------|
| 授業態度・姿勢               | 30% | 平常点（出席、宿題、予習、授業内小課題など）            |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 70% | フィードバックシート、小テスト、発表（＋発表原稿）、意見・感想など |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 0%  |                                   |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |                                   |

## ■教科書

関連の英語記事を配布、スライド等で用意

## ■参考文献

授業内で提示します。

## ■オフィスアワー・研究室

【出講日】水曜日 【連絡先】本校舎1階教務課

## ■備考

すべての英語レベルの学生が履修可能です。

# ワールド・カルチャーA

2 年 前期 選択 ( 2 単位 講義 )

## ■授業の方針・概要

各国の一般的な知識を深めるとともに、各国で話されている言語や英語に目を向けることで、英語がいわゆる英語圏のものだけでなく、それぞれの国の言語文化背景が反映されたものであることへの理解を深めます。動画の視聴や記事の読解などを通じて主にリスニングやリーディングの技能を高めることが出来ます。

## ■到達目標（学修成果）

諸外国の社会文化事情及びその国で話されている「英語」やその他の言語について理解できるようになること。また、英語のボキャブラリー、リスニング、ライティング、リーディングの継続的スキルアップをめざします。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目（国際関係）・選択科目です。教養選択科目（一般・体育・国際関係）16 単位は卒業要件です。教養科目としてのワールドカルチャーAは、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。

## ■授業計画

| 回数   |                                     | 準備学修              |      |
|------|-------------------------------------|-------------------|------|
|      |                                     | 具体的内容（予習・復習等）     | 必要時間 |
| 1 回  | 導入、授業の説明<br>教科書や授業の進め方、Introduction | シラバスを読む。          | 30 分 |
| 2 回  | インド                                 | 国についての予習・プレゼン資料作成 | 30 分 |
| 3 回  | フランス                                | 国についての予習・プレゼン資料作成 | 30 分 |
| 4 回  | フィリピン                               | 国についての予習・プレゼン資料作成 | 30 分 |
| 5 回  | インドネシア                              | 国についての予習・プレゼン資料作成 | 30 分 |
| 6 回  | タイ                                  | 国についての予習・プレゼン資料作成 | 30 分 |
| 7 回  | ベトナム                                | 国についての予習・プレゼン資料作成 | 30 分 |
| 8 回  | 中国                                  | 国についての予習・プレゼン資料作成 | 30 分 |
| 9 回  | カナダ                                 | 国についての予習・プレゼン資料作成 | 30 分 |
| 10 回 | 韓国                                  | 国についての予習・プレゼン資料作成 | 30 分 |
| 11 回 | ロシア                                 | 国についての予習・プレゼン資料作成 | 30 分 |
| 12 回 | イギリス                                | 国についての予習・プレゼン資料作成 | 30 分 |
| 13 回 | プレゼンテーション技術について学習・準備                | プレゼン資料作成          | 30 分 |
| 14 回 | プレゼンテーション                           | プレゼン準備            | 30 分 |
| 15 回 | プレゼンテーション                           | 前期の総復習            | 30 分 |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

優れたフィードバックシート、コメントはクラスで紹介しします。毎回グループで短い発表を行います。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |                                   |
|-----------------------|-----|-----------------------------------|
| 授業態度・姿勢               | 30% | 平常点（出席、宿題、予習、授業内小課題など）            |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 70% | 小テスト、フィードバックシート、発表（＋発表原稿）、意見・感想など |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 0%  |                                   |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |                                   |

## ■教科書

適宜資料を配布する

## ■参考文献

特になし

## ■オフィスアワー・研究室

【出講日】水曜日 【連絡先】本校舎 1 階教務課

## ■備考

ワールドカルチャーAとワールドカルチャーBは、授業の概要・目的はほぼ同じですが、扱うトピックは異なります。現代の言語事情・世界情勢・文化事情に注目します。

## ワールド・カルチャーB

2年 後期 選択 (2単位 講義)

## ■授業の方針・概要

各国の一般的な知識を深めるとともに、各国で話されている言語や英語に目を向けることで、英語がいわゆる英語圏のものだけでなく、それぞれの国の言語文化背景が反映されたものであることへの理解を深めます。動画の視聴や記事の読解などを通じて主にリスニングやリーディングの技能を高めることが出来ます。

## ■到達目標（学修成果）

諸外国の社会文化事情及びその国で話されている「英語」やその他の言語について理解できるようになること。また、英語のボキャブラリー、リスニング、ライティング、リーディングの継続的スキルアップをめざします。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目（国際関係）・選択科目です。教養選択科目（一般・体育・国際関係）16単位は卒業要件です。教養科目としてのワールドカルチャーBは、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。

## ■授業計画

| 回数  |                                     | 準備学修              |      |
|-----|-------------------------------------|-------------------|------|
|     |                                     | 具体的内容（予習・復習等）     | 必要時間 |
| 1回  | 導入、授業の説明<br>教科書や授業の進め方、Introduction | シラバスを読む。          | 30分  |
| 2回  | イタリア                                | 国についての予習・プレゼン資料作成 | 30分  |
| 3回  | デンマーク                               | 国についての予習・プレゼン資料作成 | 30分  |
| 4回  | 台湾                                  | 国についての予習・プレゼン資料作成 | 30分  |
| 5回  | アメリカ                                | 国についての予習・プレゼン資料作成 | 30分  |
| 6回  | ポルトガル                               | 国についての予習・プレゼン資料作成 | 30分  |
| 7回  | シンガポール                              | 国についての予習・プレゼン資料作成 | 30分  |
| 8回  | トルコ                                 | 国についての予習・プレゼン資料作成 | 30分  |
| 9回  | エジプト                                | 国についての予習・プレゼン資料作成 | 30分  |
| 10回 | ケニア                                 | 国についての予習・プレゼン資料作成 | 30分  |
| 11回 | ブラジル                                | 国についての予習・プレゼン資料作成 | 30分  |
| 12回 | アルゼンチン                              | 国についての予習・プレゼン資料作成 | 30分  |
| 13回 | プレゼンテーション技術について学習・準備                | プレゼン資料作成          | 30分  |
| 14回 | プレゼンテーション                           | プレゼン準備            | 30分  |
| 15回 | プレゼンテーション                           | 後期の総復習            | 30分  |

## ■フィードバック（試験の解説、レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

優れたフィードバックシート、コメントはクラスで紹介しします。毎回グループで短い発表を行います。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |                                   |
|-----------------------|-----|-----------------------------------|
| 授業態度・姿勢               | 30% | 平常点（出席、宿題、予習、授業内小課題など）            |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 70% | 小テスト、フィードバックシート、発表（＋発表原稿）、意見・感想など |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 0%  |                                   |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |                                   |

## ■教科書

適宜資料を配布する

## ■参考文献

特になし

## ■オフィスアワー・研究室

【出講日】水曜日 【連絡先】本校舎1階教務課

## ■備考

ワールドカルチャーAとワールドカルチャーBは、授業の概要・目的はほぼ同じですが、扱うトピックは異なります。現代の言語事情・世界情勢・文化事情に注目します。

# 実用英語 A

Kim Collins

2 年 前期 選択 ( 2 単位 講義 )

## ■授業の方針・概要

日常会話や仕事の場面での英語でのコミュニケーション方法を学びます。

## ■到達目標（学修成果）について

本授業を履修することにより、食事の注文、道案内、アドバイス、様々なトピックについての会話、プレゼンテーションなど、日常的な場面で英語でのコミュニケーションができるようになります。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養（国際関係）選択科目です。教養選択科目（一般・体育・国際関係）16 単位は卒業要件です。教養科目としての実用英語 A は、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。

## ■授業計画

| 回数   | 授業内容                          | 準備学修                  |      |
|------|-------------------------------|-----------------------|------|
|      |                               | 具体的内容（予習・復習等）         | 必要時間 |
| 1 回  | イントロダクション                     | 【予習】シラバスを読む           | 30 分 |
| 2 回  | インテリア・単数/複数、前置詞               | 【復習】クラスルーム・イングリッシュクイズ | 30 分 |
| 3 回  | 地図・道を教える、尋ねる                  | 【復習】ジャーナル準備           | 30 分 |
| 4 回  | ジャーナル（あらゆるテーマでのライティングやスピーキング） | 【復習】ジャーナル             | 30 分 |
| 5 回  | 食べ物・料理の注文                     | 【復習】フレーズワークシート        | 30 分 |
| 6 回  | レストランの話                       | 【復習】クイズ               | 30 分 |
| 7 回  | プレゼンテーションスキルと準備               | 【復習】スピーキングテスト準備       | 60 分 |
| 8 回  | 中間発表テスト                       | 【予習】テスト               | 30 分 |
| 9 回  | 日常生活・スケジュール                   | 【復習】ジャーナル準備           | 30 分 |
| 10 回 | ジャーナル（あらゆるテーマでのライティングやスピーキング） | 【復習】ジャーナル             | 30 分 |
| 11 回 | ショッピング・比べる                    | 【復習】フレーズワークシート        | 30 分 |
| 12 回 | プレゼンテーションスキルと準備               | 【復習】クイズ               | 30 分 |
| 13 回 | 最終テストのプレゼンテーション準備             | 【復習】スピーキングテスト準備       | 60 分 |
| 14 回 | 最終テストのプレゼンテーション               | 【復習】テスト               | 30 分 |
| 15 回 | 最終テストのプレゼンテーションフィードバック        | 【復習】テストの復習            | 30 分 |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

小テストや課題は次回の授業で返却・解説します。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |                      |
|-----------------------|-----|----------------------|
| 授業態度・姿勢               | 30% | 会話への参加含む             |
| 授業内試験・課題(プレゼンテーション含む) | 70% | 最終プレゼンテーション, 中間発表テスト |
| 期末試験・課題(プレゼンテーション含む)  | 0%  |                      |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |                      |

## ■教科書

なし

## ■参考文献

特になし

## ■オフィスアワー・研究室

【研究室】英語研究室（研究棟 3 階） 【出講日】金曜日  
英語研究室に連絡してください。

## ■備考

ハンドアウトは A4 のファイルに綴じてください。期末に確認します。



# 実用英語 B

Kim Collins

2 年 後期 選択 ( 2 単位 講義 )

## ■授業の方針・概要

日常会話や仕事の場面で英語でのコミュニケーション方法を学びます。

## ■到達目標（学修成果）

本授業を履修することにより、映画やお祭り、伝統について話したり、さまざまなトピックについて話したり、プレゼンテーションを行ったりするなど、日常的な場面で英語でコミュニケーションをとることができるようになります。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養（国際関係）選択科目です。教養選択科目（一般・体育・国際関係）16 単位は卒業要件です。教養科目としての実用英語 B は、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。

## ■授業計画

| 回数   | 授業内容                          | 準備学修                      |      |
|------|-------------------------------|---------------------------|------|
|      |                               | 具体的内容（予習・復習等）             | 必要時間 |
| 1 回  | コース紹介と夏休みについての会話              | 【予習】シラバスを読む<br>【復習】ワークシート | 30 分 |
| 2 回  | 夏休みについてショー・アンド・テル             | 【復習】夏休みについてのレポート          | 30 分 |
| 3 回  | 好み 好き嫌い - 提案                  | 【復習】ジャーナル準備               | 15 分 |
| 4 回  | ジャーナル（あらゆるテーマでのライティングやスピーキング） | 【復習】ジャーナル                 | 30 分 |
| 5 回  | Movies ムービー pt1               | 【復習】ワークシート                | 20 分 |
| 6 回  | Movies ムービー pt 2              | 【復習】クイズ                   | 60 分 |
| 7 回  | プレゼンテーションスキルと準備               | 【復習】中間テストに向けて復習           | 30 分 |
| 8 回  | 中間発表テスト                       | 【復習】中間テスト復習               | 30 分 |
| 9 回  | マインドマップ                       | 【復習】ワークシート                | 30 分 |
| 10 回 | 祭りと伝統                         | 【復習】ジャーナル準備               | 30 分 |
| 11 回 | ジャーナル（あらゆるテーマでのライティングやスピーキング） | 【復習】ジャーナル                 | 30 分 |
| 12 回 | 祭りと伝統                         | 【復習】クイズ                   | 30 分 |
| 13 回 | プレゼンテーションスキルと準備               | 【復習】プレゼンテーション準備           | 60 分 |
| 14 回 | 最終プレゼンテーション                   | 【予習】プレゼンテーション             | 30 分 |
| 15 回 | フィードバック                       | まとめ                       | 30 分 |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

小テストや課題は次回の授業で返却・解説します。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |                     |
|-----------------------|-----|---------------------|
| 授業態度・姿勢               | 30% | 会話への参加含む            |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 70% | 中間発表テスト、最終プレゼンテーション |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 0%  |                     |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |                     |

## ■教科書

なし

## ■参考文献

なし

## ■オフィスアワー・研究室

【研究室】英語研究室（研究棟 3 階） 【出講日】金曜日

英語研究室に連絡してください。

## ■備考

ハンドアウト、テスト、プレゼンの準備は A4 のファイルに綴じてください。期末に確認します。

# ファッション英語 A

北澤 茉奈

2年 前期 選択 (2単位 講義)

## ■授業の方針・概要

ファッションに関する英語語彙・表現の習得、英文記事の内容を速く正確に理解する力を身につけファッション業界の最新事情に精通することを目指します。ネットニュースなど最新のファッション関連記事を扱い、語学としての英語と、服飾関連の知識の両方にフォーカスします。毎回の授業では、記事の内容把握に関する問題に取り組んでももらいます。また、ファッションに関連する動画を視聴しリスニングの練習も行います。

## ■到達目標（学修成果）

英語で書かれた記事の内容を理解し自分の言葉で説明できるようになる。映像と関連させながら聞こえてくる英語の内容を理解できるようになる。以上を目標とします。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目（国際関係）・選択科目です。教養選択科目（一般・体育・国際関係）16単位は卒業要件です。教養科目としてのファッション英語Aは、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。さらに、語学と専門の内容とを関連させ、服飾業界で活躍できる専門力向上の一助となることをめざしています。

## ■授業計画

| 回数  | 授業内容                                                   | 準備学修                              |        |
|-----|--------------------------------------------------------|-----------------------------------|--------|
|     |                                                        | 具体的内容（予習・復習等）                     | 必要時間   |
| 1回  | イントロダクション<br>課題の詳細説明                                   | 予習：シラバスを読む。授業内容について確認する。          | 30分    |
| 2回  | 服飾関連記事の読解（1）<br>関連動画の視聴と書き取り<br>記事・動画の内容確認およびディスカッション  | 予習：クイズの準備<br>復習：クイズの解答に関する部分の振り返り | 30-60分 |
| 3回  | 服飾関連記事の読解（2）<br>関連動画の視聴と書き取り<br>記事・動画の内容確認およびディスカッション  | 予習：クイズの準備<br>復習：クイズの解答に関する部分の振り返り | 30-60分 |
| 4回  | 服飾関連記事の読解（3）<br>関連動画の視聴と書き取り<br>記事・動画の内容確認およびディスカッション  | 予習：クイズの準備<br>復習：クイズの解答に関する部分の振り返り | 30-60分 |
| 5回  | 服飾関連記事の読解（4）<br>関連動画の視聴と書き取り<br>記事・動画の内容確認およびディスカッション  | 予習：クイズの準備<br>復習：クイズの解答に関する部分の振り返り | 30-60分 |
| 6回  | 服飾関連記事の読解（5）<br>関連動画の視聴と書き取り<br>記事・動画の内容確認およびディスカッション  | 予習：クイズの準備<br>復習：クイズの解答に関する部分の振り返り | 30-60分 |
| 7回  | 服飾関連記事の読解（6）<br>関連動画の視聴と書き取り<br>記事・動画の内容確認およびディスカッション  | 予習：クイズの準備<br>復習：クイズの解答に関する部分の振り返り | 30-60分 |
| 8回  | 服飾関連記事の読解（7）<br>関連動画の視聴と書き取り<br>記事・動画の内容確認およびディスカッション  | 予習：クイズの準備<br>復習：クイズの解答に関する部分の振り返り | 30-60分 |
| 9回  | 服飾関連記事の読解（8）<br>関連動画の視聴と書き取り<br>記事・動画の内容確認およびディスカッション  | 予習：クイズの準備<br>復習：クイズの解答に関する部分の振り返り | 30-60分 |
| 10回 | 服飾関連記事の読解（9）<br>関連動画の視聴と書き取り<br>記事・動画の内容確認およびディスカッション  | 予習：クイズの準備<br>復習：クイズの解答に関する部分の振り返り | 30-60分 |
| 11回 | 服飾関連記事の読解（10）<br>関連動画の視聴と書き取り<br>記事・動画の内容確認およびディスカッション | 予習：クイズの準備<br>復習：クイズの解答に関する部分の振り返り | 30-60分 |
| 12回 | 服飾関連記事の読解（11）<br>関連動画の視聴と書き取り<br>記事・動画の内容確認およびディスカッション | 予習：クイズの準備<br>復習：クイズの解答に関する部分の振り返り | 30-60分 |
| 13回 | 服飾関連記事の読解（12）<br>関連動画の視聴と書き取り<br>記事・動画の内容確認およびディスカッション | 予習：クイズの準備<br>復習：クイズの解答に関する部分の振り返り | 30-60分 |
| 14回 | まとめ                                                    | 予習：これまでの授業内容を振り返る                 | 60分    |
| 15回 | 講評                                                     | 復習：これまでの授業内容を振り返る                 | 30-60分 |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

クイズの解答はその場で提出してもらいます。解答は皆で共有し授業内でフィードバックを行います。まとめのテストは採点します。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |                  |
|-----------------------|-----|------------------|
| 授業態度・姿勢               | 30% |                  |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 70% | クイズ、書き取り練習の解答の提出 |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 0%  |                  |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |                  |

## ■教科書 プリントを配布します。

## ■参考文献 必要に応じて指示します。

## ■オフィスアワー・研究室

英語研究室（研究棟3階6034）第1回目の授業で提示します。

## ■備考 テキストは、プリントを用意します。

## ファッション英語 B

北澤 茉奈

2 年 後期 選択 ( 2 単位 講義 )

## ■授業の方針・概要

ファッションに関する英語語彙・表現の習得、英文記事の内容を速く正確に理解する力を身につけファッション業界の最新事情に精通することを目指します。ネットニュースなど最新のファッション関連記事を扱い、語学としての英語と、服飾関連の知識の両方にフォーカスします。毎回の授業では、記事の内容把握に関する問題に取り組んでもらいます。また、ファッションに関連する動画を視聴しリスニングの練習も行います。

## ■到達目標（学修成果）

英語で書かれた記事の内容を理解し自分の言葉で説明できるようになる。映像と関連させながら聞こえてくる英語の内容を理解できるようになる。以上を目標とします。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目（国際関係）・選択科目です。教養選択科目（一般・体育・国際関係）16 単位は卒業要件です。教養科目としてのファッション英語 B は、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。さらに、語学と専門の内容とを関連させ、服飾業界で活躍できる専門力向上の一助となることをめざしています。

## ■授業計画

| 回数   | 授業内容                                                   | 準備学修                              |         |
|------|--------------------------------------------------------|-----------------------------------|---------|
|      |                                                        | 具体的内容（予習・復習等）                     | 必要時間    |
| 1 回  | イントロダクション<br>課題の詳細説明                                   | 予習：シラバスを読む。授業内容について確認する。          | 30 分    |
| 2 回  | 服飾関連記事の読解（1）<br>関連動画の視聴と書き取り<br>記事・動画の内容確認およびディスカッション  | 予習：クイズの準備<br>復習：クイズの解答に関する部分の振り返り | 30-60 分 |
| 3 回  | 服飾関連記事の読解（2）<br>関連動画の視聴と書き取り<br>記事・動画の内容確認およびディスカッション  | 予習：クイズの準備<br>復習：クイズの解答に関する部分の振り返り | 30-60 分 |
| 4 回  | 服飾関連記事の読解（3）<br>関連動画の視聴と書き取り<br>記事・動画の内容確認およびディスカッション  | 予習：クイズの準備<br>復習：クイズの解答に関する部分の振り返り | 30-60 分 |
| 5 回  | 服飾関連記事の読解（4）<br>関連動画の視聴と書き取り<br>記事・動画の内容確認およびディスカッション  | 予習：クイズの準備<br>復習：クイズの解答に関する部分の振り返り | 30-60 分 |
| 6 回  | 服飾関連記事の読解（5）<br>関連動画の視聴と書き取り<br>記事・動画の内容確認およびディスカッション  | 予習：クイズの準備<br>復習：クイズの解答に関する部分の振り返り | 30-60 分 |
| 7 回  | 服飾関連記事の読解（6）<br>関連動画の視聴と書き取り<br>記事・動画の内容確認およびディスカッション  | 予習：クイズの準備<br>復習：クイズの解答に関する部分の振り返り | 30-60 分 |
| 8 回  | 服飾関連記事の読解（7）<br>関連動画の視聴と書き取り<br>記事・動画の内容確認およびディスカッション  | 予習：クイズの準備<br>復習：クイズの解答に関する部分の振り返り | 30-60 分 |
| 9 回  | 服飾関連記事の読解（8）<br>関連動画の視聴と書き取り<br>記事・動画の内容確認およびディスカッション  | 予習：クイズの準備<br>復習：クイズの解答に関する部分の振り返り | 30-60 分 |
| 10 回 | 服飾関連記事の読解（9）<br>関連動画の視聴と書き取り<br>記事・動画の内容確認およびディスカッション  | 予習：クイズの準備<br>復習：クイズの解答に関する部分の振り返り | 30-60 分 |
| 11 回 | 服飾関連記事の読解（10）<br>関連動画の視聴と書き取り<br>記事・動画の内容確認およびディスカッション | 予習：クイズの準備<br>復習：クイズの解答に関する部分の振り返り | 30-60 分 |
| 12 回 | 服飾関連記事の読解（11）<br>関連動画の視聴と書き取り<br>記事・動画の内容確認およびディスカッション | 予習：クイズの準備<br>復習：クイズの解答に関する部分の振り返り | 30-60 分 |
| 13 回 | 服飾関連記事の読解（12）<br>関連動画の視聴と書き取り<br>記事・動画の内容確認およびディスカッション | 予習：クイズの準備<br>復習：クイズの解答に関する部分の振り返り | 30-60 分 |
| 14 回 | まとめ                                                    | 予習：これまでの授業内容を振り返る                 | 60 分    |
| 15 回 | 講評                                                     | 復習：これまでの授業内容を振り返る                 | 30-60 分 |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

クイズの解答はその場で提出してもらいます。解答は皆で共有し授業内でフィードバックを行います。まとめのテストは採点します。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |                  |
|-----------------------|-----|------------------|
| 授業態度・姿勢               | 30% |                  |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 70% | クイズ、書き取り練習の解答の提出 |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 0%  |                  |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |                  |

## ■教科書 プリントを配布します。

## ■参考文献 必要に応じて指示します。

## ■オフィスアワー・研究室 英語研究室（研究棟 3 階 6034）第 1 回目の授業で提示します。

## ■備考 テキストは、プリントを用意します。

## フランス語（総合）A

福本 しのぶ

2年 前期 選択 (2単位 講義)

## ■授業の方針・概要

フランス語の歴史を追いながら、フランス文化を学び、フランスのエスプリを感じ、フランス語の楽しさを実感できます。フランス語未習者も選択可能です。フランス生まれ育ちの授業担当者による経験を活かし、生きたフランス語を学びましょう。

## ■到達目標（学修成果）

フランス語への抵抗感をなくし、日常会話、ファッション関連のフランス語を身につけ、基本的な文章の理解・作成ができ、Web辞書、Web翻訳を使いながら、フランス語サイトなど検索できるようになる。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養選択科目として卒業要件となります。服飾業界で活躍するための資質・能力を養い、広く深い教養と総合的判断力を培うことを目指しています。

## ■授業計画

| 回数  | 授業内容                             | 準備学修                             |      |
|-----|----------------------------------|----------------------------------|------|
|     |                                  | 具体的内容（予習・復習等）                    | 必要時間 |
| 1回  | フランスを知る フランスと日本の関わり合い<br>基本のあいさつ | 復習：講義メモ整理                        | 10分  |
| 2回  | フランス語の歴史 発音の決まり                  | 復習：講義メモ整理・発音練習                   | 30分  |
| 3回  | フランスの文化 ①                        | 復習：講義メモ整理・発音練習                   | 30分  |
| 4回  | フランス語基礎会話 ①                      | 復習：講義メモ整理・発音練習                   | 30分  |
| 5回  | フランスの生活 ①                        | 復習：講義メモ整理・発音練習                   | 30分  |
| 6回  | フランス映画を見る ①                      | 予習：映画の概要資料を見る                    | 30分  |
| 7回  | フランス映画を見る ②                      | 復習：見た映画を思い出す                     | 30分  |
| 8回  | 映画についてディスカッション                   | 復習：見た映画を思い出す<br>予習：フランスらしさ、とは何か。 | 30分  |
| 9回  | フランスの文化 ②                        | 復習：講義メモ整理・発音練習                   | 30分  |
| 10回 | フランス語基礎会話 ②                      | 復習：講義メモ整理・発音練習                   | 30分  |
| 11回 | フランスの生活 ②                        | 復習：講義メモ整理・発音練習                   | 30分  |
| 12回 | フランス映画を見る ①                      | 予習：映画の概要資料を見る                    | 30分  |
| 13回 | フランス映画を見る ②                      | 復習：見た映画を思い出す                     | 30分  |
| 14回 | 映画についてディスカッション                   | 復習：見た映画を思い出す<br>予習：フランスらしさ、とは何か。 | 30分  |
| 15回 | まとめ                              | 復習：講義メモ整理                        | 30分  |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回授業開始時に、前回内容の復習/理解の確認を行い、最後にレポート提出か発表をしてもらう。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 授業態度・姿勢               | 30% |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 70% |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 0%  |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |

ノートの整理力、発音練習、積極性を重視

## ■教科書

随時コピー配布。

仏和辞書、フランス語教科書等お持ちの方は持参してください。

## ■参考文献

大学図書館に豊富に備えられているフランス語の書籍やDVD

## ■オフィスアワー・研究室

金曜日（12：20～12：50）第3校舎講師控室

## ■備考

フランス人との交流を試みるので、授業内容が変更することもある。

希望者には、毎年6・11月に学内で実施予定の実用フランス語検定試験の受検希望者対象に随時補習を行う。

言語は話さないと上達しませんので、積極的に声をだしてください。

## フランス語（総合）B

福本 しのぶ

2年 後期 選択 (2単位 講義)

## ■授業の方針・概要

映像などを見ながら、フランスの歴史、フランス文化、芸術、社会背景に触れ、フランス語の楽しさを実感できます。  
フランス語の「聞く」「話す」「読む」「書く」を身につけ、最後には発表できるようにします。  
フランス語未習者も選択可能です。フランス生まれ育ちの授業担当者による経験を活かし、生きたフランス語を学びましょう。

## ■到達目標（学修成果）

フランス語への抵抗感をなくし、日常会話、ファッション関連のフランス語を身につけ、基本的な文章の理解・作成ができ、Web辞書、Web翻訳を使いながら、フランス語サイトなど検索できるようになる。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養選択科目として卒業要件となります。服飾業界で活躍するための資質・能力を養い、広く深い教養と総合的判断力を培うことを目指しています。

## ■授業計画

| 回数  | 授業内容                                 | 準備学修           |      |
|-----|--------------------------------------|----------------|------|
|     |                                      | 具体的内容（予習・復習等）  | 必要時間 |
| 1回  | フランスを知る フランス語の歴史<br>発音の決まり / 基本のあいさつ | 復習：講義メモ整理      | 10分  |
| 2回  | 発音の決まり 基本のあいさつ                       | 復習：講義メモ整理・発音練習 | 30分  |
| 3回  | フランスの芸術 ①                            | 復習：講義メモ整理・発音練習 | 30分  |
| 4回  | フランスの文化 ①                            | 復習：講義メモ整理・発音練習 | 30分  |
| 5回  | 発音の決まり 基本単語                          | 復習：講義メモ整理・発音練習 | 30分  |
| 6回  | フランスの過去                              | 復習：講義メモ整理・発音練習 | 30分  |
| 7回  | フランスの現在                              | 復習：講義メモ整理・発音練習 | 30分  |
| 8回  | フランス映画を見る ①                          | 予習：映画の概要資料を見る  | 30分  |
| 9回  | フランス映画を見る ②                          | 復習：見た映画を思い出す   | 30分  |
| 10回 | 映画についてディスカッション                       | 復習：見た映画を思い出す   | 30分  |
| 11回 | 映画のセリフを考える                           | 復習：講義メモ整理・発音練習 | 30分  |
| 12回 | フランス映画を見る ①                          | 予習：映画の概要資料を見る  | 30分  |
| 13回 | フランス映画を見る ②                          | 復習：見た映画を思い出す   | 30分  |
| 14回 | 映画についてディスカッション                       | 復習：見た映画を思い出す   | 30分  |
| 15回 | まとめ                                  | 復習：講義メモ整理・発音練習 | 30分  |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回授業開始時に、前回内容の復習/活用を行います

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 授業態度・姿勢               | 30% |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 70% |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 0%  |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |

ノートの整理力、発音練習、積極性を重視

## ■教科書

随時コピー配布。  
仏和辞書、フランス語教科書等お持ちの方は持参してください。

## ■参考文献

大学図書館に豊富に備えられているフランス語の書籍やDVD

## ■オフィスアワー・研究室

金曜日（12：20～12：50）第3校舎講師控室

## ■備考

フランス人との交流を試みるので、授業内容が変更することもある。  
希望者には、毎年6・11月に学内で実施予定の実用フランス語検定試験の受検希望者対象に随時補習を行う。  
言語は話さないと上達しませんので、積極的に声をだしてください。

## ファッションフランス語 A

福本 しのぶ

2年 前期 選択 (2単位 講義)

## ■授業の方針・概要

フランス語の初級文法、簡単な会話を学びながら、基本的なファッション用語を身につける。

映像などを見ながら、フランス・ファッション、文化に触れ、「聞く」「話す」「読む」「書く」を身につけ、最後には発表できるようにします。フランス生まれ育ちの授業担当者による経験を活かし、一歩フランス人に近づきましょう。

## ■到達目標（学修成果）

フランス旅行する時、フランスでアトリエ現場研修する時などに役立つ表現を覚え使えるようになり、基本的なファッション用語が聞き取れるようになる。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連3

教養選択科目として卒業要件となります。現在フランスや日本で使用されている服飾用語を分析、つなぎ合わせていくと、服飾文化の源流の一つに辿り着き、大局的に服飾文化を見直す糸口が見つかる。

## ■授業計画

| 回数  | 授業内容                         | 準備学修                                 |      |
|-----|------------------------------|--------------------------------------|------|
|     |                              | 具体的内容（予習・復習等）                        | 必要時間 |
| 1回  | フランスを知る 日本との違い<br>基本的なあいさつ   | 予習：シラバスを読む                           | 10分  |
| 2回  | アルファベ・筆記体・発音の決まり・つづり字        | 復習：発音 / 筆記体練習                        | 30分  |
| 3回  | 衣服の名称 ①<br>発音練習              | 復習：発音練習                              | 30分  |
| 4回  | 数字 (0～100)<br>ものの大きさ サイズ表現   | 復習：発音練習                              | 30分  |
| 5回  | フランス人が好きなファッション（ビデオ）<br>発音練習 | 復習：資料まとめ                             | 30分  |
| 6回  | 衣服の名称 ②<br>発音練習              | 復習：資料まとめ / 発音練習                      | 30分  |
| 7回  | 色、フランス独自の色<br>名詞（男・女）        | 復習：資料まとめ / 発音練習                      | 30分  |
| 8回  | 大学図書館のフランス語資料<br>ファッション用語探し  | 予習：プレゼンテーションの内容決定<br>復習：資料まとめ / 発音練習 | 30分  |
| 9回  | 生地素材、柄<br>発音練習               | 復習：資料まとめ / 発音練習                      | 30分  |
| 10回 | フランスのファッションの昔と今 映像 ①         | 復習：資料を読む                             | 30分  |
| 11回 | フランスのファッションの昔と今 映像 ②         | 復習：資料を読む                             | 30分  |
| 12回 | ディスカッション 言葉と発音               | 復習：資料まとめ / 発音練習                      | 30分  |
| 13回 | レポート仕上げ                      | 復習：資料まとめ<br>予習：プレゼンテーションまとめ          | 30分  |
| 14回 | レポート発表                       | 復習：資料のまとめ<br>予習：プレゼンテーションまとめ         | 30分  |
| 15回 | まとめ プレゼンテーション                | 復習：資料のファイリング                         | 30分  |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎授業にて講義メモを出すので随時授業内でチェック。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |                          |
|-----------------------|-----|--------------------------|
| 授業態度・姿勢               | 30% | ノート・ファイルの整理力、発音練習の積極性を重視 |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 70% | 発音チェック、課題提出、学修ファイルチェック   |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 0%  |                          |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |                          |

## ■教科書

教科書なし。毎回講義メモ配布。

仏和辞書、フランス語教科書等お持ちの方は持参してください。仏和辞典を購入希望の場合は要相談。

## ■参考文献 大学図書館に豊富にあるフランス語の書籍・DVD やフランス語サイト。

## ■オフィスアワー・研究室 金曜日（12：20～12：50）第3校舎講師控室（第3校舎1階）

## ■備考

フランス人との交流会を試みますが、その都合などにより、授業内容は変更することもあります。

希望者には実用フランス語検定試験5級～3級の受験指導を行います。

みなさんが声を出さないと発音を直すことはできませんので、教室では積極的に大きな声で文字を読むようにしましょう。

## ファッションフランス語 B

福本 しのぶ

2年 後期 選択 (2単位 講義)

## ■授業の方針・概要

映像などを見ながら、フランス・ファッション、フランス文化、芸術、社会背景に触れ、フランスのファッションの在り方を見ていきます。映像、資料を見ながら解説をし、次の授業では語彙の説明、発音をし、理解を深めていきます。

フランス語の「聞く」「話す」「読む」「書く」を身につけ、最後には発表できるようにします。

## ■到達目標（学修成果）

フランス旅行する時、フランスでアトリエ現場研修する時などに役立つ表現を覚え使えるようになり、基本的なファッション用語が聞き取れるようになる。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連3

教養選択科目として卒業要件となります。現在フランスや日本で使用されている服飾用語を分析、つなぎ合わせていくと、服飾文化の源流の一つに辿り着き、大局的に服飾文化を見直す糸口が見つかる。

| 回数  | 授業内容                                   | 準備学修                            |      |
|-----|----------------------------------------|---------------------------------|------|
|     |                                        | 具体的内容（予習・復習等）                   | 必要時間 |
| 1回  | ファッションフランス語 A 簡単な復習<br>基本的な挨拶 発音の決まり   | 予習：シラバスを読む                      | 10分  |
| 2回  | ココ・シャネル映画 ①                            | 復習：資料を読む                        | 30分  |
| 3回  | ココ・シャネル映画 ②                            | 復習：映画を思い出す                      | 30分  |
| 4回  | 映画に使われていた言葉<br>映画についてのディスカッション         | 復習：資料を読む                        | 30分  |
| 5回  | あなたにとってのファッションとは？<br>パリコレの真相           | 予習：あなたにとってファッションとは？<br>復習：資料を読む | 30分  |
| 6回  | 発音の練習 フランス語の単語                         | 復習：発音練習                         | 30分  |
| 7回  | モードとフランス フランス文化庁の関わり合い<br>グループディスカッション | 復習：資料を読む                        | 30分  |
| 8回  | 大学図書館のフランス語資料                          | 予習：プレゼンテーションの内容決定<br>復習：資料まとめ   | 30分  |
| 9回  | フランス語を考えてみよう！①                         | 復習：発音練習                         | 30分  |
| 10回 | フランス語を考えてみよう！②                         | 復習：発音練習                         | 30分  |
| 11回 | フランスのファッションの多様性<br>FASHION MIX         | 復習：資料を読む                        | 30分  |
| 12回 | フランスのファッション学校                          | 復習：資料を読む                        | 30分  |
| 13回 | レポート仕上げ                                | 復習：資料のまとめ<br>予習：プレゼンテーションまとめ    | 30分  |
| 14回 | レポート発表                                 | 復習：資料のまとめ<br>予習：プレゼンテーションまとめ    | 30分  |
| 15回 | まとめ プレゼンテーション                          | 復習：資料のまとめ                       | 30分  |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

最後にフランス人デザイナーに関するレポートを提出。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |                          |
|-----------------------|-----|--------------------------|
| 授業態度・姿勢               | 30% | ノート・ファイルの整理力、発音練習の積極性を重視 |
| 授業内試験・課題(プレゼンテーション含む) | 70% | 発音チェック、課題提出、学修ファイルチェック   |
| 期末試験・課題(プレゼンテーション含む)  | 0%  |                          |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |                          |

## ■教科書

教科書なし。毎回講義メモ配布。

仏和辞書、フランス語教科書等お持ちの方は持参してください。仏和辞典を購入希望の場合は要相談。

## ■参考文献

大学図書館に豊富にあるフランス語の書籍・DVD やフランス語サイト。

## ■オフィスアワー・研究室

金曜日(12:20～12:50)第3校舎講師控室(第3校舎1階)

## ■備考

フランス人ゲストの都合、衣装博物館の展示などにより、授業内容は変更することもあります。

希望者には実用フランス語検定試験5級～3級の受験指導を行います。

みなさんが声を出さないと発音を直すことはできませんので、教室では積極的に大きな声で文字を読むようにしましょう。

## 中国語（総合）A

盧 繁華

2年 前期 選択 （2単位 講義）

## ■授業の方針・概要

一年生の総合ⅠとⅡの内容をレベルアップした中国語文の構築や品詞の働きなどを充実させる。特殊な文法文型を深めながら中国語作文を自由に活用できるように授業を進める。

## ■到達目標（学修成果）

中国語の聞く、話す、書く、読む総合力を高めることを目標とする。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

【中国語（総合）A】は教養科目の一般選択科目であるが卒業認定総単位数に含まれている。将来の社会人として持つべき豊かな言語表現力を磨く必要な科目である。

## ■授業計画

| 回数  | 授業内容            | 準備学修                            |      |
|-----|-----------------|---------------------------------|------|
|     |                 | 具体的内容（予習・復習等）                   | 必要時間 |
| 1回  | 中国語の複文構造        | 復習：既習の文型文法<br>1年目の「中文課本」第3課～16課 | 40分  |
| 2回  | 等位複文、偏正複文、多重複文  | 予習：第1課「自己紹介」の読み練習               | 30分  |
| 3回  | 等位複文の種類         | 復習：第1課のポイントまとめ、<br>所定のペーパー練習    | 30分  |
| 4回  | 等位複文の一種→並列表現文   | 予習：第2課「私の家庭」の読み練習               | 30分  |
| 5回  | 偏正複文の種類         | 復習：第2課のポイントまとめ、<br>所定のペーパー練習    | 30分  |
| 6回  | 偏正複文の一種→譲歩関係の表し | 予習：第3課「インターネット」読み練習             | 30分  |
| 7回  | 比較文の表し方→“比”の構文  | 復習：第3課のポイントまとめ、<br>所定のペーパー練習    | 30分  |
| 8回  | 特定条件複文          | 予習：第4課「約束」の読み練習                 | 30分  |
| 9回  | 常用疑問詞の呼応表現      | 復習：第4課のポイントまとめ、<br>所定のペーパー練習    | 30分  |
| 10回 | 常用副詞の活用         | 予習：第5課「温泉旅行」の読み練習               | 30分  |
| 11回 | 補語の種類と重要な働き     | 復習：第5課のポイントまとめ、<br>所定のペーパー練習    | 30分  |
| 12回 | 方向補語            | 予習：第6課「私の趣味」の読み練習               | 30分  |
| 13回 | 特殊な存現文の伝達機能     | 復習：第6課のポイントまとめ、<br>所定のペーパー練習    | 30分  |
| 14回 | 総合まとめⅠ          | 復習：まとめペーパー練習                    | 60分  |
| 15回 | 総合まとめⅡ          | 復習：セルフチェック                      | 60分  |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回授業内及び授業外で完成した平常小テストを期末授業に返して総合まとめする。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 授業態度・姿勢               | 20% |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 30% |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 50% |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |

## ■教科書

『2冊目の中国語・購読クラス』 劉穎 （白水社）

## ■参考文献

学内図書館にある週刊新聞の『中文導報』、中華圏ネットニュース・TVドラマを利用する。

## ■オフィスアワー・研究室

月曜日 14:30～16:00 研究棟 6036 室

## ■備考

なし



## 中国語（総合）B

盧 繁華

2 年 後期 選択 （2 単位 講義）

## ■授業の方針・概要

既習の内容を実践に応用できるようにする。教材文を使うと同時に中国語圏のニュース記事などの新鮮な話題を取り入れた模範文に合わせて勉強し、文章翻訳をも新たに拡張する。

## ■到達目標（学修成果）

大学二年生の中国語レベルに達成し、中国語の文章力を身につけることを目標とする。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

【中国語（総合）B】は【中国語（総合）A】と併せて教養科目中の一般選択科目であるが卒業認定総単位数に含まれている。将来の社会人として持つべき豊かな言語表現力を磨く必要な科目である。

## ■授業計画

| 回数   | 授業内容           | 準備学修                 |      |
|------|----------------|----------------------|------|
|      |                | 具体的内容（予習・復習等）        | 必要時間 |
| 1 回  | 既習の文法ウォーミングアップ | 復習：教科書第 1 課～6 課までの復習 | 30 分 |
| 2 回  | 特殊文“是…的”       | 予習：教科書第 7 課「友達になる」   | 30 分 |
| 3 回  | 様態補語           | 復習：第 7 課の読解練習問題      | 30 分 |
| 4 回  | 可能補語           | 予習：教科書第 8 課「会食する」    | 30 分 |
| 5 回  | 常用疑問詞の不定用法     | 復習：第 8 課の読解練習問題      | 30 分 |
| 6 回  | 選択複文           | 予習：教科書第 9 課「目覚まし時計」  | 30 分 |
| 7 回  | 受身文“被”の構文      | 復習：第 9 課の読解練習問題      | 30 分 |
| 8 回  | 転折複文           | 予習：教科書第 10 課「アルバイト」  | 30 分 |
| 9 回  | 動量補語の用い方       | 復習：第 10 課の読解練習問題     | 30 分 |
| 10 回 | 使役文            | 予習：教科書第 11 課「冬休み」    | 30 分 |
| 11 回 | 連動文の構造         | 復習：第 11 課の読解練習問題     | 30 分 |
| 12 回 | “把”の文構成特徴      | 予習：教科書第 12 課「留学」     | 30 分 |
| 13 回 | 常用副詞“就”、“都”の応用 | 復習：第 12 課の読解練習問題     | 30 分 |
| 14 回 | 総合まとめ I        | 復習：所定のペーパー練習         | 60 分 |
| 15 回 | 総合まとめ II       | 復習：セルフチェック           | 60 分 |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回授業内授業外で完成した平常小テストの答案用紙を期末授業に返して総合まとめする。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 授業態度・姿勢               | 20% |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 30% |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 50% |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |

## ■教科書

『2 冊目の中国語・購読クラス』 劉穎 （白水社）

## ■参考文献

学内図書館にある週刊新聞『中文導報』、中華圏ネットニュース・TV ドラマを利用する。

## ■オフィスアワー・研究室

月曜日 14:30～16:00 研究棟 6036 室

## ■備考

なし

## 中国語（会話）A

盧 繁華

2年 前期 選択 （2単位 講義）

## ■授業の方針・概要

今まで慣れてきたリスニング・シャドーイングの発話練習の拡張をはかり、教材文中の日常臨場感がある言葉内容を会話題材にして授業を進める。

## ■到達目標（学修成果）

中国語の発話能力を高め、有用性のある言葉を身につけてコミュニケーションができることをめざす。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

【中国語(会話)A】は教養科目中の一般選択科目であるが卒業認定総単位数に含まれている。将来の社会人として持つべき豊かな中国語の発話表現力を磨く必要科目である。

## ■授業計画

| 回数  | 授業内容                | 準備学修                             |             |
|-----|---------------------|----------------------------------|-------------|
|     |                     | 具体的内容（予習・復習等）                    | 必要時間        |
| 1回  | 既習の内容を再度チェックする      | 復習：ウォーミングアップ<br>1年目の「中文課本」第3～16課 | 30分         |
| 2回  | 名前、干支、年齢などの聞き方と答え方  | 予習：第一課「自己紹介」<br>読み練習             | 新出言葉<br>30分 |
| 3回  | 初対面の時に使う挨拶          | 復習：第一課 総合練習問題<br>所定のペーパー練習       | 所定の頁<br>20分 |
| 4回  | 移動手段の聞き方と答え方        | 予習：第二課「通学」<br>読み練習               | 新出言葉<br>30分 |
| 5回  | 距離、所要時間の言い方         | 復習：第二課 総合練習問題<br>所定のペーパー練習       | 所定の頁<br>20分 |
| 6回  | 趣味の聞き方と答え方          | 予習：第三課「趣味」<br>読み練習               | 新出言葉<br>30分 |
| 7回  | できる（技術の習得）、動作の出来、程度 | 復習：第三課 総合練習問題<br>所定のペーパー練習       | 所定の頁<br>20分 |
| 8回  | 排除（～以外）や添加（さらに）の文   | 予習：第四課「アルバイト」<br>読み練習            | 新出言葉<br>30分 |
| 9回  | 伝聞、所在、比較などの表現       | 復習：第四課 総合練習問題<br>所定のペーパー練習       | 所定の頁<br>20分 |
| 10回 | 予定を尋ねる、相手を誘う時の表現    | 予習：第五課「スケジュール」<br>読み練習           | 新出言葉<br>30分 |
| 11回 | 招待する時、約束する時の表現      | 復習：第五課 総合練習問題<br>所定のペーパー練習       | 所定の頁<br>20分 |
| 12回 | 介詞（～把）の文            | 予習：第六課「料理を注文する」<br>読み練習          | 新出言葉<br>30分 |
| 13回 | 料理を注文する時、お願いする時の表現  | 復習：第六課 総合練習問題<br>所定のペーパー練習       | 所定の頁<br>20分 |
| 14回 | 総合まとめⅠ              | 復習：所定のプリント<br>まとめペーパー練習          | 60分         |
| 15回 | 総合まとめⅡ              | 復習：セルフチェック（ペーパー）                 | 60分         |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回授業内授業外で完成した平常小テストの答案用紙を期末授業に返して総合まとめする。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 授業態度・姿勢               | 20% |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 30% |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 50% |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |

## ■教科書

『しゃべくり中国語』 内田慶市（金星堂）

## ■参考文献

学内図書館にある週刊新聞『中文導報』、中華圏ネットニュース・TVドラマを利用する。

## ■オフィスアワー・研究室

月曜日 14:30～16:00 研究棟 6036 室

## ■備考

なし

## 中国語（会話）B

盧 繁華

2年 後期 選択 （2単位 講義）

## ■授業の方針・概要

語彙やフレーズを確実に把握した上で会話の応用範囲を深める。教材文のほかに中国の衣食住文化に触れ実践的な表現語の内容を新たに勉強する。

## ■到達目標（学修成果）

聞き取れる内容を正確に伝えられ、自分の意思でフリートークができることをめざす。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

【中国語(会話)B】は【中国語(会話)A】と併せて教養科目の一般選択科目であるが卒業認定総単位数に含まれている。将来の社会人として持つべき豊かな中国語の表現力を磨く必要な科目である。

## ■授業計画

| 回数  | 授業内容                    | 準備学修            |             |
|-----|-------------------------|-----------------|-------------|
|     |                         | 具体的内容（予習・復習等）   | 必要時間        |
| 1回  | 前期の内容を再度チェック            | 復習：既習の語彙・フレーズ   | 30分         |
| 2回  | 病院での表現                  | 予習：第七課「診察を受ける」  | 新出言葉<br>30分 |
| 3回  | すでに起こったことについて聞く         | 復習：第七課 総合練習問題   | 所定の頁<br>20分 |
| 4回  | 値切る時の表現                 | 予習：第八課「買い物」     | 新出言葉<br>30分 |
| 5回  | 相手の意見を求める、サイズや様子がちょうど良い | 復習：第八課 総合練習問題   | 所定の頁<br>20分 |
| 6回  | 褒める、謙遜する表現              | 予習：第九課「旅行」      | 新出言葉<br>30分 |
| 7回  | 比較文、まもなく起こること           | 復習：第九課 総合練習問題   | 所定の頁<br>20分 |
| 8回  | 反語文、使役文                 | 予習：第十課「髪型」      | 新出言葉<br>30分 |
| 9回  | いろいろな色と髪型               | 復習：第十課 総合練習問題   | 所定の頁<br>20分 |
| 10回 | 現在進行形Ⅰ（動作の進行）           | 予習：第十一課「ファッション」 | 新出言葉<br>30分 |
| 11回 | 服スタイル及び服の言い方            | 復習：第十一課 総合練習問題  | 所定の頁<br>20分 |
| 12回 | 現在進行形Ⅱ（状態の持続）           | 予習：第十二課「宿を予約する」 | 新出言葉<br>30分 |
| 13回 | ホテルで役立つ表現のまとめ           | 復習：第十二課 総合練習問題  | 所定の頁<br>20分 |
| 14回 | 総合まとめⅠ                  | 復習：所定のプリント      | 60分         |
| 15回 | 総合まとめⅡ                  | 復習：セルフチェック      | 60分         |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回授業内授業外で完成した平常小テストの答案用紙を期末授業に返して総合まとめする。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 授業態度・姿勢               | 20% |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 30% |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 50% |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |

## ■教科書

『しゃべくり中国語』 内田慶市（金星堂）

## ■参考文献

学内図書館にある週刊新聞『中文導報』、中華圏ネットニュース・TVドラマを利用する。

## ■オフィスアワー・研究室

月曜日 14:30～16:00 研究棟 6036 室

## ■備考

なし

## 博物館経営論

丸山 憲子

2年 前期

学芸員課程必修

( 2単位 講義 )

## ■授業の方針・概要

博物館の経営について学習する。多様化する博物館の経営体制について認識を深め、今日の博物館経営をめぐる諸相を把握し、今、博物館に何が求められているのか、また博物館本来の存在意義について学習する。

## ■到達目標（学修成果）

- ・博物館の適切な機能や経営体制の把握
- ・ミュージアムマネジメントについての基礎的事項の理解
- ・現代博物館を多角的な視点で考察できることを目標とする。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

学芸員になるための資格取得（大学を卒業して学士の学位を取得するとともに得られる資格）のために、文部科学省令の定める大学で習得すべき科目の一つ。卒業要件科目ではありません。

## ■授業計画

| 回数  | 授業内容                                       | 準備学修                                                             |      |
|-----|--------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|------|
|     |                                            | 具体的内容（予習・復習等）                                                    | 必要時間 |
| 1回  | オリエンテーション（博物館経営論の概要の説明・授業計画）               | 予習：シラバス（学芸員課程部分）を読んでおくこと。                                        | 30分  |
| 2回  | ミュージアムマネジメントの意義について学習する。                   | 予習：教科書の博物館経営論部分を読んでおくこと。<br>復習：ミュージアムマネジメントについてまとめておくこと。         | 60分  |
| 3回  | 博物館法について学習する。                              | 復習：博物館法の復習                                                       | 30分  |
| 4回  | 独立行政法人立等、設立母体について学習する。                     | 復習：配布資料の読み返し、語句の整理をしておくこと。                                       | 30分  |
| 5回  | 指定管理者等、設立母体について学習する。<br>設立母体についてのまとめ（小テスト） | 復習：配布資料の読み返し、語句の整理をしておくこと。                                       | 30分  |
| 6回  | 博物館評価について学習する。                             | 復習：配布資料の読み返し。教科書読み返し。                                            | 30分  |
| 7回  | 博物館の館内組織・館外組織について学習する。                     | 復習：配布資料の読み返し。教科書読み返し。                                            | 30分  |
| 8回  | 博物館の施設・設備について学習する。                         | 予習：インターネット上で博物館建築をリサーチしておくこと。復習：配布資料の読み返し。                       | 60分  |
| 9回  | 博物館におけるマーケティングについて学習する。                    | 復習：配布資料の読み返し、マーケティングについてまとめておくこと。                                | 30分  |
| 10回 | ミュージアムショップやレストラン等アメニティという側面から学習する。         | 予習：インターネット上でミュージアムショップ、レストランをリサーチしておくこと。<br>復習：配布資料の読み返し、授業の振り返り | 60分  |
| 11回 | 今日の社会状況を踏まえた博物館の課題について学習する。                | 復習：配布資料の読み返し、博物館をめぐる課題をまとめておくこと。                                 | 30分  |
| 12回 | まとめ（小テスト）及びプレゼンテーションのための説明。                | 復習：配布資料の読み返し、全体の振り返り                                             | 90分  |
| 13回 | 実在する博物館を挙げて経営論の観点よりプレゼンテーション・ディスカッション      | 予習：プレゼンテーション準備<br>復習：配布資料の読み返し、授業の振り返り                           | 90分  |
| 14回 | 実在する博物館を挙げて経営論の観点よりプレゼンテーション・ディスカッション      | 予習：プレゼンテーション準備<br>復習：配布資料の読み返し、授業の振り返り・プレゼンテーション準備               | 90分  |
| 15回 | 総まとめ                                       | 復習：振り返り                                                          | 60分  |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

小テスト・試験・プレゼンテーションの後の解説

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 授業態度・姿勢               | 30% |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 70% |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 0%  |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |

■教科書 『新時代の博物館学』全国大学博物館学講座協議会西日本部会編 芙蓉書房出版

■参考文献 随時 紹介する

課題内容に即した資料プリントを配布します。

## ■オフィスアワー・研究室

講義日の講師控室、もしくは教務課を通じて連絡をしてください。

連絡：大学校舎講師控え室 又は 教務課（本校舎1階）

出講日：土曜日

■備考 積極的に博物館見学をし、manaba等を利用しての見学記の発表及びコメント書き込みをしてもらいます。

## 博物館資料論

丸山 憲子

2 年 前期

学芸員課程必修

( 2 単位 講義 )

## ■授業の方針・概要

博物館において資料は必要不可欠な存在である。どんな博物館でも「資料」を有し、コレクションをなしている。今日の博物館のコレクションは多種多様であり、一口で「博物館」と言ってもその範囲は極めて大きい。本講では現代博物館が扱う資料（コレクション）について、博物館の歴史とともに体系的に学習する。また、資料収集・整理保管・調査研究・教育普及という4つの博物館機能（活動）を通して、いわゆる実物（1次資料）から2次資料が発生していくことを理解し、それぞれの機能（活動）における1次資料・2次資料の特性・役割を学習する。

## ■到達目標（学修成果）

博物館資料の様々な特性を理解し、博物館活動にとって必要なもの・ことを認識できるようにする。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

学芸員になるための資格取得（大学を卒業して学士の学位を取得するとともに得られる資格）のために、文部科学省令の定める大学で習得すべき科目の一つ。卒業要件科目ではありません。

## ■授業計画

| 回数   | 授業内容                                        | 準備学修                                                                |      |
|------|---------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|------|
|      |                                             | 具体的内容（予習・復習等）                                                       | 必要時間 |
| 1 回  | オリエンテーション（博物館資料論の概要の説明・授業計画）                | 予習：シラバス（学芸員課程部分）を読んでおくこと。                                           | 30 分 |
| 2 回  | 博物館の成立背景に見られる資料についての事例を挙げ、博物館＝資料の存在を認識する。   | 予習：教科書の博物館資料論の部分を読んでおくこと。                                           | 30 分 |
| 3 回  | 1次資料と2次資料の博物館活動における役割、及び資料の価値について学習する。      | 復習：配布資料の読み返し、語句の整理をしておくこと。                                          | 30 分 |
| 4 回  | 1次製作資料として分類される実物製作資料と情報製作資料について学習する。        | 復習：配布資料の読み返し、語句の整理をしておくこと。                                          | 30 分 |
| 5 回  | 1次標本資料（1）について学習する。                          | 復習：配布資料の読み返し、語句の整理をしておくこと。」                                         | 30 分 |
| 6 回  | 1次標本資料（2）について学習する。                          | 復習：配布資料の読み返し、語句の整理をしておくこと。                                          | 30 分 |
| 7 回  | 1次資料についてのまとめ（小テスト）<br>2次資料（1）について学習する。      | 復習：配布資料の読み返し、語句の整理をしておくこと。<br>博物館へのフィールドワーク。博物館資料の実態を見学、ディスカッション準備。 | 60 分 |
| 8 回  | 2次資料（2）について学習する。<br>博物館資料についてのディスカッション。     | 復習：ディスカッション整理                                                       | 60 分 |
| 9 回  | 2次複合製作資料について学習する。<br>2次資料についてのまとめ（小テスト）     | 復習：語句の整理をしておくこと。                                                    | 60 分 |
| 10 回 | 博物館機能を再確認する。<br>資料の収集について学習する。              | 復習：教科書の読み返し、語句の整理をしておくこと。                                           | 30 分 |
| 11 回 | 資料の整理保管について学習する。                            | 復習：配布資料の読み返し、語句の整理をしておくこと。                                          | 30 分 |
| 12 回 | 資料の調査研究活動について学習する。                          | 復習：配布資料の読み返し、語句の整理をしておくこと。                                          | 30 分 |
| 13 回 | 教育普及という観点から、資料のもつ意味とその効果について学習する。           | 復習：配布資料の読み返し、教育普及活動のまとめをしておくこと。」                                    | 30 分 |
| 14 回 | 資料の取り扱い、及び運搬という観点から学習する。<br>博物館機能のまとめ（小テスト） | 復習：配布資料の読み返し、語句の整理をしておくこと。                                          | 90 分 |
| 15 回 | 総まとめ                                        | 復習：振り返り                                                             | 60 分 |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

小テスト・試験の後の解説

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 授業態度・姿勢               | 30% |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 70% |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 0%  |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |

■教科書 『新時代の博物館学』全国大学博物館学講座協議会西日本部会編 芙蓉書房出版

■参考文献 随時 紹介する

課題内容に即した資料プリントを配布します。

## ■オフィスアワー・研究室

講義日の講師控室、もしくは教務課を通じて連絡をしてください。

連絡：大学校舎講師控え室 又は 教務課（本校舎1階）

出講日：土曜日

■備考 積極的に博物館見学をし、manaba等を利用しての見学記の発表及びコメント書き込みをしてもらいます。

## 博物館資料保存論

梶淵 規彰

2 年 後期

学芸員課程必修

( 2 単位 講義 )

## ■授業の方針・概要

博物館資料論を基礎として、博物館資料の保存の意義、目的、資料保存の前提としての劣化要因とその対策、資料の材質に応じた劣化対策、保存技術等について、論理的に授業を進めます。

## ■到達目標（学修成果）

学芸員が日常的に取り扱う博物館資料について、収集、保管、調査研究、展示他の活用といった博物館機能の各局面において、資料保存の理論と実践法を習得し、時代に適応できる博物館学芸員としての資質を得られるようになる。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目ではありませんが、学芸員資格取得のための必修科目です。

## ■授業計画

| 回数   | 授業内容                                             | 準備学修                                |      |
|------|--------------------------------------------------|-------------------------------------|------|
|      |                                                  | 具体的内容（予習・復習等）                       | 必要時間 |
| 1 回  | 博物館資料保存の意義、目的                                    | 予習 シラバスを事前に目を通す                     | 30 分 |
| 2 回  | 博物館資料の種類と特性                                      | 復習 博物館資料の種類と種類ごとの特性について確認する。        | 30 分 |
| 3 回  | 文化財保護と博物館資料 1                                    | 復習 文化財と博物館資料の関係について確認する。            | 30 分 |
| 4 回  | 文化財保護と博物館資料 2                                    | 復習 博物館資料と文化財保護の関係について確認する。          | 30 分 |
| 5 回  | 博物館史にみる資料保存の方法                                   | 復習 博物館史上の伝統的保管方法について確認する。           | 30 分 |
| 6 回  | 博物館資料の材質による劣化と対策 1<br>瞬間的・破壊的な劣化(人災、天災)          | 復習 人災や天災による瞬間的・破壊的な劣化と対策について確認する。   | 30 分 |
| 7 回  | 博物館資料の材質による劣化と対策 2<br>緩慢、確実に進行する劣化①(温湿度、大気等)     | 復習 温湿度の変化、大気中の粉塵等の影響・対策について確認する。    | 30 分 |
| 8 回  | 博物館資料の材質による劣化と対策 3<br>緩慢、確実に進行する劣化②(汚染物質、薬品類、光等) | 復習 大気中の汚染物質及び薬品類、光等の影響・対策について確認する。  | 30 分 |
| 9 回  | 博物館資料の材質による劣化と対策 4<br>緩慢、確実に進行する劣化③(虫害、黴菌類等)     | 復習 虫害及び黴菌類等の影響・対策について確認する。          | 30 分 |
| 10 回 | 博物館資料の修理と修復                                      | 復習 博物館資料の修理・修復の必要性とその方法について確認する。    | 30 分 |
| 11 回 | 博物館資料の保存環境(収蔵施設・展示施設等)                           | 復習 博物館資料の保管・展示に適した施設の条件について確認する。    | 30 分 |
| 12 回 | 博物館資料保存のための科学技術 1                                | 復習 博物館資料の保存科学技術について確認する。            | 30 分 |
| 13 回 | 博物館資料保存のための科学技術 2                                | 復習 博物館資料の保存科学技術について確認する。            | 30 分 |
| 14 回 | 博物館資料の取扱い 1 (資料取扱い上の留意点等)                        | 復習 博物館活動の様々な局面における資料取扱い上の留意点を再確認する。 | 45 分 |
| 15 回 | 博物館資料の取扱い 2 (展示ほかの活用等)                           | 復習 展示他の活用の局面での資料保存を前提とする取扱い法を確認する。  | 45 分 |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業時間中に小試験を実施し、出題の意図及び模範回答等について解説し、理解・習得の促進をサポートします。

## ■成績評価の方法・基準

|                       |     |                                                                     |
|-----------------------|-----|---------------------------------------------------------------------|
| 授業態度・姿勢               | 30% | 授業への取組みは、出欠状況を中心に受講態度、取組状況等評価します。授業内試験を実施し、講義内容の理解度を測定し、成績判定に活用します。 |
| 授業内試験・課題（プレゼンテーション含む） | 70% |                                                                     |
| 期末試験・課題（プレゼンテーション含む）  | 0%  |                                                                     |
| 外部評価・検定試験結果           | 0%  |                                                                     |

## ■教科書 なし

## ■参考文献

本田光子・森田 稔 『博物館資料保存論』、青木 豊 編 『人文系博物館資料保存論』

## ■オフィスアワー・研究室

土曜日（講義時間 14:55～16:05）第3校舎講師控え室（第3校舎1階）

## ■備考 なし

## VIII. ゼミナール

先生方のご好意により開講されるゼミです。  
単位は出ませんが、積極的に参加して学んで下さい。

---

### 【整理番号】

【 1 】 瀧川ゼミ

## 瀧川ゼミ

瀧川 美佐子

2・3年 前期又は後期 自主ゼミ ( 演習 )

## ■授業の方針・概要

自分の興味や関心からスタートし、例えば「好き（かわいい、かっこいいなど）」を形にするための技術を一緒に研究するゼミです。

二次元と三次元とを行ったり来たりしながら、魅力を感じるディテールやパーツを実際に「つくってみる」「観察する」を繰り返して、イメージする「形」を構成する力を養っていきます。ゼミでは服飾造形基礎Ⅰ、Ⅱで学んだことを発展させると共に、具体的な「形」を客観的、多角的に表現する力を高めていくことを目標とします。履修者の能力、希望に合わせて内容の変更もあります。

## ■到達目標（学修成果）

1. イメージを具現化する発想力、応用力を養う。
2. パターン展開、立体構成の基本的な技術を身に付ける。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

自主ゼミであり、卒業要件科目ではないが、服飾における構成力の習得と応用能力を身につける。

## ■授業計画

| 回数  | 授業内容                                       | 準備学修                                  |      |
|-----|--------------------------------------------|---------------------------------------|------|
|     |                                            | 具体的内容（予習・復習等）                         | 必要時間 |
| 1回  | オリエンテーション<br>・ゼミについて                       | 課題：制作ノートの準備<br>復習：課題案のアイデア収集          | 30分  |
| 2回  | 各自課題の設定<br>個別ディスカッション 製図説明                 | 予習：課題について資料収集                         | 60分  |
| 3回  | ・ディテールのバリエーション①フリル<br>各自製図                 | 予習：フリルのリサーチ<br>PATTERN MAKING などを確認する | 30分  |
| 4回  | 各自製図                                       | 予習：作業を進める                             | 30分  |
| 5回  | ・ディテールのバリエーション②プリーツ、リボン<br>トワルについて（裁断、組立）  | 課題：制作ノート提出<br>予習：プリーツ、リボンのリサーチ        | 60分  |
| 6回  | トワル仮縫いについて（仮縫い、補正、修正）                      | 予習：作業を進める                             | 30分  |
| 7回  | ・ディテールのバリエーション③袖-①<br>型紙作り 実物裁断（印入れ）       | 予習：作業を進める 袖のリサーチ                      | 60分  |
| 8回  | ・ディテールのバリエーション④袖-②<br>縫製手順について（制作マップ） 実物組立 | 予習：作業を進める                             | 30分  |
| 9回  | 実物仮縫い<br>補正、製図修正 型紙修正（生地修正）                | 課題：制作ノート提出<br>予習：作業を進める               | 60分  |
| 10回 | ・ディテールのバリエーション⑤襟-①<br>制作①                  | 予習：作業を進める 襟のリサーチ                      | 60分  |
| 11回 | ・ディテールのバリエーション⑥襟-②<br>制作②                  | 予習：作業を進める                             | 30分  |
| 12回 | 制作③                                        | 予習：作業を進める                             | 30分  |
| 13回 | ・ディテールのバリエーション⑦トリミング<br>制作④                | 予習：トリミングのリサーチ 作業を進める                  | 30分  |
| 14回 | 制作⑤（作品完成）                                  | 課題：制作ノート提出<br>予習：作業を進める               | 60分  |
| 15回 | まとめ プレゼンテーション                              | 予習：プレゼンテーション準備                        | 30分  |

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

ディスカッションと制作ノート、課題の講評によって、随時フィードバックを行う。

## ■成績評価の方法・基準

成績評価はしない

## ■教科書

授業の進行に合わせて必要な場合、提示、プリント配布する

## ■参考文献

授業時に紹介する

## ■オフィスアワー・研究室

オフィスアワー曜日、時間、研究室は授業内で指示する

## ■備考

授業の曜日、時間は未定である。オリエンテーション期間中に履修希望者と相談の上決定する